2025年度

事 業 報 告 書

2025 年 4 月 01 日から

2026 年 3 月 31 日まで

公益財団法人　日本水泳連盟

2026 年 6 月作成

目　　次

所信 …… 2
Ⅰ　競技力向上事業（選手派遣事業）…… 4
1. JOC 派遣事業
2. 本連盟派遣事業（主要大会）
Ⅱ　競技力向上事業（選手強化事業）…… 26
1. 競泳強化事業
2. 飛込強化事業
3. 水球強化事業
4. アーティスティックスイミング強化事業
5. オープンウォータースイミング強化事業
6. 科学事業
7. 医事事業
8. アンチ・ドーピング事業
《合宿関係》 …… 61
Ⅰ.国内合宿　Ⅱ.海外合宿
《国際交流関係》
Ⅰ．AQUA 関係事業　Ⅱ．Asia Aquatics 関係事業
Ⅲ．パンパシフィック関係事業　Ⅳ．派遣および招聘事業
Ⅲ　競技運営推進事業（競技大会開催事業）…… 68
1. 国内競技会開催事業
2. 国際競技会の開催事業
3. 競技委員会事業
(1) 競技会事業　(2) 学生競技会事業
4. 国際関係事業
Ⅳ　競技運営推進事業（競技条件整備事業）…… 72
1. 競技者登録事業
2. 競技規則制定事業
3. 競技役員養成・登録事業
4. 競技記録公認・管理事業
5. 施設用具公認推薦事業
Ⅴ　普及事業 …… 73
1. 指導者養成事業
(1) 地域指導者養成事業　(2) 競技力向上コーチ養成事業
(3)水泳教師養成事業
2. 生涯スポーツ・環境事業
3. オープンウォータースイミング普及事業
4. 日本泳法保存事業
5. 機関誌発行事業
6. 広報事業
7. アスリート委員会事業
8. 国際貢献事業
Ⅵ　組織運営のための共通事業 …… 81
1. 総務関係事業
2. マーケティング事業
3. その他の普及事業

2025 年度　事業報告

＜所信＞

2025 年、日本水泳連盟は創立 100 周年という大きな節目を経て、「水泳ニッポン・新時代構想」ならびに中期計画 2025-2032 の実現に向けた新たな挑戦を本格的に始動させた一年となりました。100 年にわたり築き上げてきた「センターポールに日の丸を」という使命を継承しながら、競技成績のみならず、水泳が持つ社会的価値をさらに広げるべく、水泳を「THE BASIC SPORTS」と再定義し、「水の国を、楽しみ尽くそう。」を新たなスローガンとして掲げ、競技力向上、普及、社会貢献、人材育成、組織基盤強化を柱とする中期戦略を推進いたしました。また、2025 年４月からは新名称・新ロゴによる新たなブランド展開を開始し、「泳ぐ」だけではなく、“水とともに生きる”という幅広い価値を社会へ発信してまいりました。トップアスリート、競技者、指導者、競技役員、ファン、地域社会など、水に関わるすべての仲間を「AQUA CREW」と位置づけ、「する・みる・ささえる」それぞれの立場から水泳界を支える関係人口の拡大に取り組みました。

一方で、競技登録者数の減少、指導者不足、少子高齢化、学習環境の変化など、水泳界を取り巻く環境は大きく変化しております。そのような中においても、水泳は「命を守るスポーツ」であり、人々の健康づくり、生涯スポーツ、防災教育、地域コミュニティ形成など、社会に対して大きな役割を果たす存在であることを改めて認識し、その価値を次世代へ継承するための取り組みを進めてまいりました。

選手派遣および選手強化事業では、シンガポールで開催された世界選手権にて、金１個・銀４個・銅３個を獲得し、競泳、飛込、アーティスティックスイミング（ＡＳ）、オープンウォータースイミング（ＯＷＳ）など各種別において、若手選手の台頭と強化事業の成果が随所に見られました。競泳では、男女 400m 個人メドレーで松下知之選手、成田実生選手が銀メダルを獲得し、男子 200m 自由形では村佐達也選手も日本新記録で銅メダルを獲得するなど、パリオリンピック後の新たな世代の成長も顕著に見られ、ロサンゼルスオリンピックに向けた大きな期待を抱かせる結果となりました。さらに、世界ジュニア選手権では少数精鋭の代表選手団が金４、銀８、銅６の計 18 個のメダルを獲得し、日本の次世代選手層の厚みを世界に示しました。飛込では、Team Event において銅メダルを獲得し、女子３m 飛板飛込では三上紗也可選手が５位入賞を果たすなど、世界トップレベルでの戦いが継続しております。ＡＳでは、チームフリールーティーンで銀メダルを獲得し、日本らしい表現力と完成度の高い演技で世界に存在感を示しました。OWS では、梶本一花選手が女子５km で日本初となる銅メダルを獲得し、さらに３km ノックアウトスプリントでは初代女王に輝く快挙を成し遂げました。水球においても、男女ともに世界の強豪国と互角に渡り合う試合内容を見せ、着実な競技力向上が確認されました。

これらの成果は、各種別における選手強化事業が着実に実を結んでいる証であり、ロサンゼルスオリンピック、そして自国開催となる第 20 回アジア競技大会に向けて、日本水泳界に大きな希望をもたらすものとなりました。引き続き、戦績の分析と評価を重ねながら、競技力向上と世界で戦う組織づくりを推進してまいります。

競技大会開催事業では、世界選手権（福岡）において証明した国際基準の質の高い大会運営ノウハウを継続・発展させるとともに、国内競技会において主管団体と連携し、全国で統一された

高水準の競技会運営を実施しました。

競技条件整備事業では、競技者登録管理システム「WebSWMSYS」および競技会記録速報ツール「超速」の安定運用と機能拡充を推進しました。競技現場の利便性向上を図るとともに、デジタル化を通じた競技運営基盤の強化に取り組みました。

普及・指導者養成事業では、指導者養成３委員会による協議・協働を継続し、スポーツ文化の創造およびスポーツの社会的価値向上に貢献できる指導者の養成に努めました。また、学校体育における水泳授業の民間委託や、学校部活動の地域展開等が加速する中、指導力の向上と平準化、さらには資格取得の推進に向けた施策を進めております。

さらに、「水泳の日」、「泳力検定制度」、「スイムスマイルプロジェクト」を通じて、水泳の楽しさを広く発信するとともに、「する・みる・ささえる」すべての仲間＝AQUA CREW の拡大に努めました。加えて、水泳は「命を守ることができるスポーツ」であるという社会的価値を改めて認識し、水難事故防止や国民皆泳の理念実現に向けた啓発活動を推進しました。

組織運営においては、「スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞」への適合を継続し、ガバナンス強化、コンプライアンス徹底、スポーツ・インテグリティの向上に努めました。また、「水泳ニッポン・新時代構想」の進捗管理を進めるとともに、自主財源の確立、マーケティング活動、広報・PR 活動の強化にも注力しました。

財務面では、物価高騰等による支出増加への対応を図りながら、協賛・スポンサー各社からのご支援、マーケティング活動の推進、各種自主財源確保施策により、本年度事業に必要な財源の確保に努めました。ここに、ご支援ご協力を賜りました加盟団体、関係団体、協賛・スポンサー各社の皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

結びになりますが、日本水泳界は次の 100 年に向け、新たなステージへの挑戦を本格化させています。「センターポールに日の丸を」という強い決意のもと、世界で活躍する選手を継続して輩出し、「水泳ニッポン」の価値をさらに高めてまいります。そのためにも、各加盟団体との情報共有と意思疎通をこれまで以上に密に図り、水泳界が一丸となった「オールジャパン体制」をより強固なものとしてまいります。今後とも、皆様のなお一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026 年６月 28 日

会長　鈴木　大地

Ⅰ　競技力向上事業（選手派遣事業）

本年度は、世界選手権（2025/シンガポール）が開催され、ＯＷＳでは新種目である 3㎞ ノックアウトスプリントにおいて梶本選手が日本初となる金メダルを獲得した。競泳では銀メダル３つ、銅メダル１つ、ＡＳではチームフリーで銀メダル、飛込ではチームイベントで銅メダルを獲得した。水球でも女子は８位、男子は９位となり、それぞれロサンゼルスオリンピック（2028 年）、ブリスベンオリンピック（2032 年）に向けて、課題は有りながらも良いスタートが切れた。また各種目ともジュニア選手の活躍も目立ち、それらの選手をいかにこの３年間で伸ばせるかが課題と言える。派遣事業については、渡航費、滞在費等の高騰が見られるので、より戦略的にひとつひとつの遠征の目的を明確にして次年度も進めていきたい。

１．ＪＯＣ事業

（１）ＦＩＳＵワールドユニバーシティゲームズ

①期間・場所　　2025 年７月 16 日～27 日／ドイツ・ラインルール／ベルリン

②競技種目・日程

（ア）競　泳　　７月 17 日～23 日

（イ）飛　込　　７月 17 日～23 日

（ウ）水　球　　７月 17 日～26 日

③選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
競　泳	12	16	16	32	44
飛　込	3	3	5	8	11
水　球	4	－	13	13	17
合　計	19	19	34	53	72

【競泳】

役　員	団　長	三友　礼人			
	ドクター	奥田　鉄人			
	ヘッドコーチ	佐野　秀匡			
	コーチ	大窪　康治	西条　健二	畑井　宏道	前川　智久
		横山　貴			
	トレーナー	吉沢　剛	前道　俊宏	寒河江　奈央	
	科　学	郡司　拓実			
選　手	男　子	市村　優弥	原　空輝	柳本　幸之介	中山　響
		山本　大地	西村　優雅	佐藤　佑亮	大蔵　礼生
		吉田　悠真	北川　凛生	福田　圭吾	森　拓海
		渡辺　裕太	山口　哩駈	光永　翔音	清水　博斗
	女　子	溝口　歩優	長尾　佳音	竹澤　瑠珂	青木　虹光
		長岡　愛海	伊藤　ななみ	澤　響花	小畠　優々美

楠田　夢乃　野田　佑風　佐藤　梨央　鈴木　彩心
鈴木　莉緒　大嶋　千桜　弘中　花音　澤野　莉子

【飛込】

役　員	ヘッドコーチ	瓶子　勇治郎
	コーチ	野村　孝路　大塚　奈保美
選　手	男　子	山田　周汰　坂田　麗鳳　二羽　倖駕
	女　子	山崎　佳蓮　乗松　飛羽　西沢　明歩　近藤　花菜
		森岡　さくら

【水球女子】

役　員	監　督	大井　恵滋
	コーチ	二宮　奈美枝　飛田　菜七子
	トレーナー	青木　萌
選　手	女　子	宮川　妃奈乃　北村　江梨　後藤　清花　須賀　颯那
		岡田　日和　杉本　華音　西山　百花　山本　はる
		片田　咲良　三田　夢佳　坂東　璃子　城之下　佳歩
		宮岸　七海

④成績

（ア）競　泳　　7月17日～23日

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
市村　優弥	50m自由形	予選	0:22.28	0:22.65	12		
		準決勝		0:22.58	13		
原　空輝	50m自由形	予選	0:22.67	0:22.65	12	○	
		準決勝	0:22.65	0:22.63	14	○	
	100m自由形	予選	0:48.99	0:49.00	3		
		準決勝		0:49.22	11		
柳本 幸之介	200m自由形	予選	1:46.84	1:48.02	4		
		準決勝		1:47.80	6		
		決勝		1:47.99	7		
中山　響	400m自由形	予選	3:48.90	3:50.94	6		
		決勝		3:52.45	8		
	800m自由形	予選	7:59.67	8:02.13	3		
		決勝		8:02.55	7		
	1500m自由形	予選	15:15.83	15:26.70	8		
		決勝		15:27.08	7		
山本　大地	400m自由形	予選	3:50.12	3:51.42	9		
	800m自由形	予選	8:03.65	8:02.33	4	○	
		決勝	8:02.33	8:10.52	8		
	1500m自由形	予選	15:09.08	15:20.70	5		
		決勝		15:31.41	8		

光永　翔音	100m 自由形	予選	0:49.12	0:49.88	25		
	50m バタフライ	予選	0:23.98	0:23.96	11	○	
		準決勝	0:23.96	0:23.73	10	○	
清水　博斗	200m 自由形	予選	1:48.11	1:48.96	9		
		準決勝		1:49.27	14		
西村　優雅	50m 背泳ぎ	予選	0:25.66	0:25.65	13		
		準決勝	0:25.65	0:25.38	10	○	
	100m 背泳ぎ	予選	0:54.66	0:54.69	8		
		準決勝		0:54.57	8	○	
		決勝	0:54.57	0:54.42	6	○	
佐藤　佑亮	50m 背泳ぎ	予選	0:25.34	0:25.61	11		
		準決勝		0:25.69	16		
	100m 背泳ぎ	予選	0:53.96	0:54.41	5		
		準決勝		0:54.67	9		
	200m 背泳ぎ	予選	1:57.81	2:00.64	12		
		準決勝		2:00.41	12		
大蔵　礼生	50m 平泳ぎ	予選	0:27.14	0:27.51	3		
		準決勝		0:27.42	2		
		決勝		0:27.33	2		
	100m 平泳ぎ	予選	0:59.80	1:01.15	10		
		準決勝		1:00.98	10		
吉田　悠真	100m 平泳ぎ	予選	1:01.70	1:01.72	19		
	100m 平泳ぎ	予選	2:10.31	DSQ			
北川　凜生	50m バタフライ	予選	0:23.82	0:24.10	15		
		準決勝		0:23.96	13		
	100m バタフライ	予選	0:52.11	0:52.71	8		
		準決勝		0:53.16	15		
福田　圭吾	100m バタフライ	予選	0:54.76	0:54.60	35	○	
	200m バタフライ	予選	1:57.06	1:58.27	5		
		準決勝		1:57.43	6		
		決勝		1:57.83	8		
森　拓海	200m 個人メドレー	予選	1:57.71	2:00.18	4		
		準決勝		1:59.49	3		
		決勝		1:57.24	1	○	インターC
	400m 個人メドレー	予選	4:16.02	4:17.71	2		
		決勝		4:12.54	1	○	インターC
渡辺　裕太	200m 個人メドレー	予選	1:58.46	2:00.10	3		
		準決勝		1:59.60	4		
		決勝		1:58.54	3		大学生エリート

山口　哩駈	200m 平泳ぎ	予選	2:11.76	2:13.23	6		
		準決勝		2:11.59	5	○	
		決勝	2:11.59	2:12.28	7		
	400m 個人メドレー	予選	4:12.06	4:17.89	3		
		決勝		4:12.66	2		インターC

女子	種目名	予/決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
溝口　歩優	50m 自由形	予選	0:25.38	0:25.70	14		
		準決勝		0:25.51	14		
	100m 自由形	予選	0:55.21	0:56.51	21		
長尾　佳音	200m 自由形	予選	1:59.76	2:01.23	11		
		準決勝		2:00.52	11		
	400m 自由形	予選	4:11.97	4:12.59	4		
		決勝		4:10.36	5	○	
竹澤　瑠珂	400m 自由形	予選	4:09.27	4:12.77	5		
		決勝		4:13.67	7		
	800m 自由形	予選	8:33.55	8:37.90	5		
		決勝		8:30.95	3	○	大学生エリート
青木　虹光	800m 自由形	予選	8:37.04	8:37.52	3		
		決勝		8:36.87	6	○	
	1500m 自由形	予選	16:23.02	16:35.85	5		
		決勝		16:19.81	3	○	
長岡　愛海	50m 背泳ぎ	予選	0:28.70	0:29.17	12		
		準決勝		0:29.04	12		
	100m 背泳ぎ	予選	1:00.62	1:01.59	6		
		準決勝		1:01.08	8		
		決勝		1:01.52	8		
伊藤ななみ	200m 背泳ぎ	予選	2:11.63	2:12.72	14		
		準決勝		2:11.37	10	○	
澤　響花	100m 背泳ぎ	予選	1:00.92	1:01.65	10		
		準決勝		1:01.46	9		
	200m 背泳ぎ	予選	2:11.91	2:11.49	5	○	
		準決勝	2:11.49	2:11.32	9	○	
小畠優々美	50m 平泳ぎ	予選	0:31.36	0:31.17	7	○	
		準決勝	0:31.17	0:31.58	13		
	100m平泳ぎ	予選	1:07.23	1:08.94	6		
		準決勝		1:09.05	8		
		決勝		1:09.29	8		

小畠優々美	200m 平泳ぎ	予選	2:26.91	2:29.32	3		
		準決勝		2:28.90	6		
		決勝		2:28.17	2		
楠田　夢乃	100m平泳ぎ	予選	1:09.37	1:10.23	15		
		準決勝		1:10.10	15		
	200m 平泳ぎ	予選	2:25.02	2:28.37	1		
		準決勝		2:27.35	1		
		決勝		2:26.15	1		
野田　佑風	100m バタフライ	予選	0:58.71	0:59.44	6		
		準決勝		0:59.75	9		
	200m バタフライ	予選	2:10.34	2:14.39	14		
		準決勝		2:13.08	12		
佐藤　梨央	200m 個人メドレー	予選	2:12.78	2:15.60	4		
		準決勝		2:14.71	8		
		決勝		2:15.31	7		
	400m 個人メドレー	予選	4:42.01	4:46.79	5		
		決勝		4:44.05	4		
鈴木　彩心	200m バタフライ	予選	2:11.08	2:13.07	9		
		準決勝		2:11.11	6		
		決勝		2:11.79	8		
	400m 個人メドレー	予選	4:42.17	4:44.12	2		
		決勝		4:40.62	3	○	インターC
鈴木　莉緒	50m自由形	予選	0:25.67	0:26.11	20		
	100m 自由形	予選	0:55.25	0:56.13	17		
		準決勝		0:55.91	14		
弘中　花音	200m 自由形	予選	2:00.06	2:01.79	15		
		準決勝		2:01.83	16		
澤野　莉子	200m 個人メドレー	予選	2:13.75	DNS			

種目名	予/決	出場選手	記録	順位	第一泳者	備考
女子 4×100m フリーリレー	予選	大嶋千桜/溝口歩優/鈴木莉緒/澤野莉子	3:43.20	4	0:56.07	
	決勝	鈴木莉緒/澤野莉子/大嶋千桜/溝口歩優	3:42.55	4	0:55.94	
女子 4×200m フリーリレー	予選	弘中花音/鈴木莉緒/澤野莉子/大嶋千桜	8:11.49	5	2:03.00	
	決勝	竹澤瑠珂/鈴木莉緒/弘中花音/長尾佳音	7:59.99	3	1:58.86	大学生エリート

女子４×100m メドレーリレー	予選	長岡愛海/佐藤梨央/野田佑風/溝口歩優	4:08.29	4	1:02.00	
	決勝	長岡愛海/小畠優々美/野田佑風/鈴木莉緒	DSQ	ー	ー	
男子４×100m フリーリレー	予選	原空輝/光永翔音/渡辺裕太/柳本幸之介	3:15.12	2	0:49.03	学生新
	決勝	森拓海/原空輝/渡辺裕太/柳本幸之介	3:14.19	2	0:49.11	学生新
男子４×200m フリーリレー	予選	清水博斗/渡辺裕太/森拓海/柳本幸之介	7:20.87	6	1:49.06	
	決勝	森拓海/柳本幸之介/原空輝/清水博斗	7:09.47	3	1:47.36	大学生エリート
男子４×100m メドレーリレー	予選	佐藤佑亮/吉田悠真/北川凜生/原空輝	3:38.09	4	0:54.46	
	決勝	西村優雅/大蔵礼生/北川凜生/原空輝	3:34.97	3	0:55.00	
Mix４×100m メドレーリレー	予選	伊藤ななみ/大蔵礼生/北川凜生/大嶋千桜	3:49.64	3	1:01.61	
	決勝	長岡愛海/大蔵礼生/野田佑風/原空輝	3:49.69	5	1:01.81	
Mix４×100m フリーリレー	予選	柳本幸之介/渡辺裕太/大嶋千桜/溝口歩優	3:30.51	2	0:49.23	
	決勝	森拓海/原空輝/溝口歩優/鈴木莉緒	3:26.86	2	0:48.84	学生新

（イ）飛　込　　7月17日～23日

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	決勝順位	得点
男子1m飛板飛込	坂田　麗鳳		17	268.80		
	二羽　倖駕		15	285.50		
男子3m飛板飛込	坂田　麗鳳	24	17	338.70		
	二羽　倖駕		23	277.60		
男子高飛込	山田　周汰	19	13	328.60	12	232.30
	坂田　麗鳳		16	318.80		
	二羽　倖駕		17	311.85		
男子3mシンクロ	坂田・二羽	6			6	321.64
男子高シンクロ	山田・二羽	7			6	361.62
女子1m飛板飛込	森岡さくら	23	20	182.10		
	近藤　花菜		18	197.95		
	西沢　明歩		棄権			

女子3m飛板飛込	森岡さくら	25	5	274.40	12	204.30
	近藤　花菜		20	190.50		
	西沢　明歩		棄権			
女子高飛込	山崎　佳蓮	18	8	253.30	12	195.80
	乗松　飛羽		10	247.05	8	251.70
	西沢　明歩		棄権			
女子3mシンクロ	近藤・乗松	11			5	230.52
女子高シンクロ	山崎・西沢	7			途中棄権	
MIX3mシンクロ	山田・山崎	6			6	238.22
Team Event	山田・二羽・山崎・近藤	6			5	264.05

（ウ）水　球　　7月17日～26日

7/17　予選リーグ第1戦　●日本　(2,3,1,2)　8　－　13　(5,4,2,2)　ニュージーランド○
得点者：片田(2),北村(1),後藤(1),山本(1),岡田(1),三田(1)

7/18　予選リーグ第2戦　○日本　(2,6,2,3)　18　－　17　(2,3,3,5)　フランス●
得点者：三田(4),片田(2),杉本(2),後藤(1),北村(1),西山(1)
坂東(1),城之下(1)

7/20　予選リーグ第3戦　○日本　(1,6,2,4)　13　－　12　(4,3,1,4)　アメリカ●
得点者：北村(3),後藤(2),片田(2),山本(3),西山(1),三田(1)
城之下(1)

7/22　準々決勝　●日本　(5,2,1,3)　11　－　13　(3,4,4,2)　ドイツ○
得点者：杉本(4),北村(2),後藤(2),山本(1),片田(1),城之下(1)

7/23　順位決定トーナメント　○日本　(4,2,4,5)　15　－　14　(3,2,6,3)　ハンガリー●
得点者：北村(3),西山(2),岡田(2),三田(3),坂東(2),片田(1)
後藤(1),城之下(1)

7/25　５位決定戦　○日本　(4,2,5,2)　14　－　13　(6,2,4,2)　オーストラリア●
得点者：北村(3),山本(3),三田(3),片田(2),後藤(1),岡田(1)
坂東(1)

最終順位

１位 ドイツ、２位 アメリカ、３位 ニュージーランド、４位 イタリア、５位 日本、
６位 オーストラリア、７位 トルコ、８位 ハンガリー

※ＪＯＣ団長賞を授与された。

２．本連盟派遣事業（主要大会）

（１）世界選手権

①期間・場所　　2025年7月11日～８月３日／シンガポール

②競技種目・日程

（ア）競　泳　　7月27日～８月 ３日

（イ）飛　込　　7月26日～８月 ３日

（ウ）水　球　　7月11日～24日

（エ）ＡＳ　　7月18日～25日

（オ）ＯＷＳ　　7月15日～20日

③選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本　部	4	－	－	－	4
競　泳	15	19	14	33	48
飛　込	5	6	2	8	13
水　球	8	15	15	30	38
ＡＳ	5	－	11	11	16
ＯＷＳ	3	2	2	4	7
合　計	40	42	44	86	126

【本部】

役　員	団　長	齋藤　由紀				
	総監督	村松　さやか				
	ドクター	岡井　佑	深谷　考平			

【競泳】

役　員	監　督	倉澤　利彰				
	ヘッドコーチ	太田　伸				
	コーチ	飯塚　正雄	海老澤　雄介	佐々木 祐一郎	島村　真悟	
		髙城　直基	平井　伯昌			
	トレーナー	猪股　伸晃	橋本　大毅	森　正一郎	脇本　茉耶	
	科　学	林　勇樹	伊藤　康秀			
	総　務	髙木　琉唯				
選　手	男　子	難波　暉	村佐　達也	今福　和志	由良　柾貴	
		松山　陸	竹原　秀一	西小野　皓大	谷口　卓	
		栁沢　駿成	深沢　大和	渡辺　一平	田中　大寛	
		松元　克央	水沼　尚輝	寺門　弦輝	小方　颯	
		松下　知之	牧野　航介	西川　我咲		
	女　子	池本　凪沙	梶本　一花	難波　実夢	高橋　美紀	
		成田　実生	山本　千晶	鈴木　聡美	青木　玲緒樹	
		加藤　心冨	池江　璃花子	平井　瑞希	藤本　穏	
		松本　信歩	小堀　倭加			

【飛込】

役　員	ヘッドコーチ	安田　千万樹				
	コーチ	馬淵　崇英	松本　行夫	金戸　恵太		
	トレーナー	折笠　佑太				
選　手	男　子	坂井　丞	須山　晴貴	玉井　陸斗	西田　玲雄	
		大久保　柊	伊熊　扇李			
	女　子	三上　紗也可	金戸　凛			

【水球男子】

役　員	監　督	塩田　義法				
	サポートスタッフ	志賀　光明				
	トレーナー	中村　拓成				
	分析スタッフ	村瀬　陽介				
選　手	男　子	西村　永遠	足立　聖弥	渡邉　太陽	前田　隼之	
		鈴木　透生	伊達　清武	髙田　充	新田　一景	
		稲場　悠介	荻原　大地	荒木　健太	佐々野　廉	
		ローリー　隼	森谷　雄輝	浦　縁至		

【水球女子】

役　員	監　督	筈井　翔太				
	サポートスタッフ	森　翼				
	コーチ	泉尾　麻貴子				
	トレーナー	中澤　萌				
選　手	女　子	稲場　晴香	有馬　優美	稲場　朱里	浦　映月	
		河口　華子	設樂　ひかる	砂邊　亜衣	関根　桜彩	
		大坪　莉子	西山　風花	井上　萌々	小林　真穂	
		野田　茉波	福田　星香	蜷川　百音		

【ＡＳ】

役　員	ヘッドコーチ	宮川　美哉				
	コーチ	小野　茜	江口　こころ			
	トレーナー	大辻　裕樹	畠中　柚佳			
選　手	女　子	比嘉　もえ	佐藤　友花	小林　唄	藤井　萌夏	
		川瀬　由華	相高　花帆	白波瀬　菜桜	内田　桜子	
		額田　紗子	熊谷　日奈多	加藤　真帆		

【ＯＷＳ】

役　員	ヘッドコーチ	太田　伸				
	コーチ	谷川　誠				
	トレーナー	及川　広太				
選　手	男　子	辻森　魁人	高木　陸			
	女　子	梶本　一花	蝦名　愛梨			

④成績

（ア）競　泳　　7月 27 日～8月 3日

男子	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
難波　暉	50m 自由形	予選	0:22.02	0:22.41	38		
村佐　達也	200m 自由形	予選	1:45.35	1:45.92	5		インターC
		準決勝		1:45.39	6		インターB
		決勝		1:44.54	3	○	日本新記録/

							インターB
今福　和志	400m 自由形	予選	3:47.77	3:48.69	19		Jr エリート
	1500m 自由形	予選	14:50.18	15:24.98	15		
由良　柾貴	50m 背泳ぎ	予選	0:24.92	0:25.35	36		
松山　陸	50m背泳ぎ	予選	0:24.88	0:25.11	29		
	100m背泳ぎ	予選	0:53.72	0:53.94	21		
竹原　秀一	200m 背泳ぎ	予選	1:56.05	1:57.25	19		インターC
西小野 皓大	200m 背泳ぎ	予選	1:56.28	1:56.55	6		インターC
		準決勝		1:56.04	11	○	インターC
谷口　卓	50m 平泳ぎ	予選	0:26.91	0:26.65	2	○	日本新記録
		準決勝	0:26.65	0:27.07	16		
	100m 平泳ぎ	予選	0:59.30	0:59.75	12		
		準決勝		0:59.59	14		インターC
栁沢　駿成	50m 平泳ぎ	予選	0:26.95	0:27.23	18		
深沢　大和	100m 平泳ぎ	予選	0:59.24	1:00.23	18		
	200m 平泳ぎ	予選	2:07.07	2:10.83	9		
		準決勝		2:08.45	4		インターB
		決勝		2:09.21	6		インターC
渡辺　一平	200m 平泳ぎ	予選	2:06.67	2:08.41	2		インターB
		準決勝		2:08.01	1		インターB
		決勝		2:07.70	2		インターB
田中　大寛	50m バタフライ	予選	0:23.06	0:23.58	31		
松元　克央	50m バタフライ	予選	0:23.32	0:23.34	19		
	100m バタフライ	予選	0:50.96	0:51.30	8		インターC
		準決勝		0:51.20	11		インターC
水沼　尚輝	100m バタフライ	予選	0:50.81	0:51.44	14		インターC
		準決勝		0:50.96	9		インターB
寺門　弦輝	200m バタフライ	予選	1:54.07	1:54.64	6		インターC
		準決勝		1:55.30	11		インターC
小方　颯	200m バタフライ	予選	1:55.34	1:55.37	9		インターC
		準決勝		1:55.42	13		インターC
松下　知之	200m 個人メドレー	予選	1:56.35	1:58.28	10		
		準決勝		1:57.11	4		インターB
		決勝		1:57.52	6		インターC
	400m 個人メドレー	予選	4:08.61	4:10.39	1		インターC
		決勝		4:08.32	2	○	インターB
牧野　航介	200m 個人メドレー	予選	1:56.80	1:57.74	2		インターC
		準決勝		1:57.51	9		インターC
		決勝		1:59.25	8		繰り上げ

西川　我咲	400m 個人メドレー	予選	4:09.63	4:10.41	2		インターC
		決勝		4:10.21	4		インターC

女子	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
池本　凪沙	100m 自由形	予選	0:53.92	0:54.90	25		
	200m 自由形	予選	1:57.77	1:58.61	18		インターC
梶本　一花	400m 自由形	予選	4:07.58	4:08.79	12		
	800m 自由形	予選	8:26.02	8:27.51	8		インターC
		決勝		8:26.85	8		インターC
	1500m 自由型	予選	16:10.37	16:09.65	10	○	インターC
難波　実夢	400m 自由形	予選	4:05.25	4:08.72	11		
蝦名　愛梨	800m 自由形	予選	8:28.68	棄権			
	1500m 自由型	予選	16:07.00	棄権			
高橋　美紀	50m 背泳ぎ	予選	0:27.84	0:28.12	20		
成田　実生	200m 背泳ぎ	予選	2:09.54	2:11.58	20		
	200m 個人メドレー	予選	2:09.68	2:10.87	7		インターC
		準決勝		2:09.16	3	○	インターB
		決勝	2:09.16	2:09.56	5		インターB
	400m 個人メドレー	予選	4:35.40	4:37.12	6		インターB
		決勝		4:33.26	2	○	インターB
山本　千晶	200m 背泳ぎ	予選	2:10.48	2:12.63	25		
鈴木　聡美	50m平泳ぎ	予選	0:30.10	0:30.91	21		
	100m 平泳ぎ	予選	1:05.91	1:06.13	3		インターB
		準決勝		1:06.12	6		インターB
		決勝		1:05.78	4	○	インターB
	200m 平泳ぎ	予選	2:20.72	2:25.26	9		
		準決勝		2:26.44	14		
青木 玲緒樹	100m 平泳ぎ	予選	1:05.19	1:07.19	20		
加藤　心冨	200m 平泳ぎ	予選	2:24.24	2:27.91	22		
池江 璃花子	50m バタフライ	予選	0:25.11	0:25.63	7		
		準決勝		0:25.67	11		
	100m バタフライ	予選	0:56.08	0:57.75	13		インターC
		準決勝		0:57.89	14		インターC
平井　瑞希	50m バタフライ	予選	0:25.77	0:25.64	9	○	
		準決勝	0:25.64	0:25.63	9	○	
	100m バタフライ	予選	0:56.33	0:56.81	4		インターB
		準決勝		0:56.86	7		インターB
		決勝		0:56.83	7		インターB

藤本　穏	200m バタフライ	予選	2:09.10	2:09.70	12		
		準決勝		2:10.20	13		
松本　信歩	200m 個人メドレー	予選	2:09.90	2:10.94	8		インターC
		準決勝		2:11.69	14		インターC
小堀　倭加	200m 自由形	予選	1:58.22	1:59.06	22		
	400m 個人メドレー	予選	4:36.55	4:36.62	4		インターB
		決勝		4:38.05	7		インターC

種目名	予／決	出場者	記録	順位	第一泳者	備考
男子 4×200m フリーリレー	予選	村佐達也/松下知之/小方颯/西川我咲	7:09.17	10	1:45.58	インターB
男子 4×100m メドレーリレー	予選	松山陸/谷口卓/水沼尚輝/松元克央	3:34.36	13	0:54.62	
女子 4×200m フリーリレー	予選	池本凪沙/難波実夢/小堀倭加/梶本一花	7:58.80	8	1:58.90	
	決勝	池本凪沙/難波実夢/小堀倭加/梶本一花	7:58.13	8	1:59.65	
女子 4×100m メドレーリレー	予選	高橋美紀/鈴木聡美/平井瑞希/池本凪沙	3:56.85	5	1:01.01	
	決勝	高橋美紀/鈴木聡美/平井瑞希/池本凪沙	3:57.63	7	1:01.78	
Mix4×100m フリーリレー	予選	村佐達也/田中大寛/池本凪沙/平井瑞希	3:26.77	14	0:48.92	
Mix4×100m メドレーリレー	予選	松山陸/谷口卓/平井瑞希/池本凪沙	3:43.57	6	0:53.95	
	決勝	松山陸/谷口卓/平井瑞希/池本凪沙	3:44.15	7	0:54.01	

（イ）飛　込　　7月 26 日～8月 3日

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子1m飛板飛込	伊熊　扇李	59	棄権					
男子3m飛板飛込	坂井　丞	66	10	396.80	12	395.75	11	406.45
	須山　晴貴		39	343.30				
男子高飛込	西田　玲雄	48	34	335.10				
	玉井　陸斗		3	466.60	3	460.20	6	492.55
男子3m シンクロ	伊熊・須山	26	11	362.91				
男子高シンクロ	玉井・大久保	20	7	373.38			8	369.24
女子3m飛板飛込	三上　紗也可	52	12	283.75	7	300.45	5	320.15
女子高飛込	金戸　凛	37	6	306.25	9	305.70	10	306.20
Team Event	三上・坂井・西田・金戸	21					3	409.65

（ウ）水　球　　7月11日～24日

【男子】　グループB　日本、オーストラリア、セルビア、フランス、ハンガリー、スペイン

予選ラウンド：日本戦の結果

7/12　予選リーグ第　●日本　(3,2,4,7)　16　－　22　(5,6,5,6)　スペイン○
得点者：稲場(5),渡邉(4),鈴木(3),足立(1),荒木(1),荻原(1),髙田(1)

7/14　予選リーグ第　●日本　(5,3,3,7)　18　－　23　(5,5,5,8)　ハンガリー○
得点者：足立(4),渡邉(4),稲場(3),伊達(3),荒木(1),浦(1),鈴木(1) ,髙田(1)

7/16　予選リーグ第　○日本　(3,3,0,6)　12　－　11　(3,2,2,4)　オーストラリア○
得点者：稲場(2),鈴木(2),髙田(2),伊達(2),荒木(1),荻原(1),新田(1), 渡邉(1)

7/18　クロスオーバー　●日本　(2,3,3,6)　14　－　21　(5,4,9,3)　セルビア○
得点者：稲場(3),鈴木(3),渡邉(3),荻原(2),髙田(2),ローリー(1)

7/20　9－12位戦　○日本　(7,7,4,4)　22　－　14　(1,4,3,3)　ブラジル●
得点者：稲場(5),渡邉(4),浦(3),鈴木(3),伊達(3),足立(2),髙田(1),
ローリー(1)

7/22　9－10位戦　○日本　(8,4,2,2,PS4)　20　－　19　(1,3,8,4,PS3)　ルーマニア●
得点者：稲場(5),伊達(4),足立(2),荻原(2),荒木(1),髙田(1),渡邉(1)

最終順位

1位 スペイン、2位 ハンガリー、3位 ドイツ、4位 スロバキア、5位 クロアチア、
6位 モンテネグロ、7位 イタリア、8位 アメリカ、9位 日本、10位 ルーマニア、
11位 カナダ、12位 ブラジル、13位 オーストラリア、14位 中国、15位 シンガポール、
15位 南アフリカ

【女子】　グループC　日本、クロアチア、ハンガリー、ギリシャ、イギリス、アメリカ

予選ラウンド：日本戦の結果

7/11　予選リーグ第1戦　○日本　(8,11,3,3)　25　－　12　(3,3,5,1)　クロアチア●
得点者：有馬(7),浦(4),河口(2),設樂(1),砂邊(1),関根(2),西山(4),
井上(1),小林(2),福田(1)

7/13　予選リーグ第2戦　●日本　(3,2,3,5)　13　－　33　(8,8,9,8)　ハンガリー○
得点者：有馬(4),浦(1),河口(2),砂邊(2),西山(2),小林(1),蜷川(1)

7/15　予選リーグ第3戦　●日本　(3,3,4,5)　15　－　25　(6,6,6,7)　ギリシャ○
得点者：有馬(3),稲場朱里(1),浦(2),河口(5),設樂(2),小林(2)

7/17　クロスオーバー　○日本　(6,5,5,7)　23　－　10　(2,2,1,5)　イギリス●
得点者：有馬(2),稲場朱里(2),浦(4),河口(3),設樂(1),砂邊(3),
大坪(1),西山(3),小林(2),福田(2)

7/19　準々決勝　●日本　(2,1,2,3)　8　－　26　(11,5,5,5)　アメリカ○
得点者：浦(2),砂邊(2),西山(1),井上(1),小林(1),福田(1)

7/21　5－8位戦　●日本　(6,4,3,4)　17　－　21　(7,6,2,6)　オーストラリア○
得点者：有馬(5),浦(1),河口(3),砂邊(1),西山(1),小林(4),福田(2)

7/23　7－8位戦　●日本　(5,2,2,6)　15　－　20　(5,5,6,4)　イタリア○
得点者：有馬(2),稲場朱里(2),浦(2),河口(2),設樂(1) ,砂邊(1),
小林(2),福田(3)

最終順位

1位 ドイツ、2位 ハンガリー、3位 スペイン、4位 アメリカ、5位 オランダ、

6位 オーストラリア、7位 イタリア、8位 日本、9位 中国、10位 ニュージーランド、11位 イギリス、12位 フランス、13位 クロアチア、14位 アルゼンチン、15位 南アフリカ、16位 シンガポール

（エ）Ａ　Ｓ　　7月18日～25日

ソロ　テクニカル決勝（エントリー数：35名）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国	XU Huiyan	34.95	160.3917	112.6000	272.9917
2	NAA （ベラルーシ）	KHANDOSHKA Vasilina	37.40	153.9416	106.6000	260.5416
3	スペイン	TIO CASAS Iris	33.95	152.0917	108.2000	260.2917
4	オーストリア	ALEXANDRI Vasiliki	34.00	149.1917	104.6500	253.8417
5	ドイツ	BLEYER Klara	37.55	152.5892	100.7000	253.2892
6	日本	比嘉　もえ	33.75	148.2184	103.0000	251.2184
7	イタリア	PICCOLI Enrica	33.35	141.6350	98.6500	240.2850
8	フランス	TEMESSEK Romane	32.05	145.1425	94.6500	239.7925

ＤＤ ： 最終の合計難易率

デュエット　テクニカル決勝（エントリー数：39チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	オーストリア	ALEXANDRI Anna-Maria ALEXANDRI Eirini-Marina	36.35	176.4451	130.7000	307.1451
2	中国	LIN Yanhan LIN Yanjun	35.70	173.6557	127.7500	301.4057
3	NAB （ロシア）	DOROSHKO Maiia GAYDAY Tatiana	35.95	172.9683	127.2500	300.2183
4	日本	比嘉もえ 佐藤友花	36.00	171.1240	124.5000	295.6240
5	スペイン	FERRE GASET Txeii LLUIS VALETTE lilou	36.60	165.5398	121.8500	287.3898
6	イタリア	PICCOLI Enrica RUGGIERO Lucrezia	36.95	167.6941	117.3500	285.0441
7	NAA （ベラルーシ）	FEDARUK Daria KHANDOSHKA Vasilina	36.00	166.2267	111.2000	277.4267
8	メキシコ	ARELLANO GERMES Maria F GONZALEZ CUELLARI	35.65	162.5307	114.2000	276.7307

デュエット　フリー決勝（エントリー数：36 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	スペイン	LLUIS VALETTE Lilou TIO CASAS Iris	56.40	149.2587	133.3500	282.6087
2	イタリア	PICCOLI Enrica RUGGIERO Lucrezia	58.60	152.2637	126.4500	278.7137
3	NAB(ロシア)	DOROSHKO Maiia GAYDAY Tatiana	60.05	147.5617	129.5500	277.1117
4	中国	LIN Yanhan LIN Yanjun	56.95	148.8590	125.4500	274.3090
5	フランス	ALAVEZ Laelys LUNEL Romane	56.50	137.1533	120.7500	257.9033
6	ギリシャ	MALKOGEORGOU SE THANOU Vasiliki	58.60	145.3292	111.9500	257.2792
7	日本	佐藤　友花 小林　唄	56.80＊	131.2917	123.7000	254.9917
8	ドイツ	BLEYER Klara BLUMENTHAL HAZ AM	56.80	131.2512	113.9000	245.1512

「＊」は 1 つ以上のベースマークまたはテクニカルルーティンのＴＲＥ（規定要素 1－5）でゼロの判定を受けたことを示す。

チーム　テクニカル決勝（エントリー数：26 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国		48.357	183.4251	124.3750	307.8001
2	NAB(ロシア)		49.075	181.6183	119.0000	300.6183
3	スペイン		45.80	172.7325	122.1250	294.8575
4	日本	比嘉　佐藤　小林　藤井 川瀬　相高　白波瀬　熊谷	45.95	167.4384	114.9750	282.4134
5	イタリア		47.95	166.6441	115.6750	282.3191
6	アメリカ		44.85	161.2650	112.4000	273.6650
7	ウクライナ		43.325	159.1025	113.9500	273.0525
8	フランス		46.25	158.6316	111.7500	270.3816

チーム フリー決勝(エントリー数:20 チーム)

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国		69.9125	198.5779	149.9000	348.4779
2	日本	比嘉　佐藤　小林　藤井 川瀬　相高　白波瀬　内田	70.00	191.8232	142.9000	334.7232
3	スペイン		60.595＊	171.2828	149.8500	321.1328
4	アメリカ		69.95	179.8808	138.2000	318.0808
5	イタリア		69.30	179.4837	133.9500	313.4337
6	メキシコ		69.10	174.3849	135.1500	309.5349
7	カザフスタン		61.725	149.9196	127.9000	277.8196
8	NAA (ベラルーシ)		63.25	151.0779	123.9000	274.9779

アクロバティックルーティン決勝(エントリー数:25 チーム)

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国		24.6625	128.9186	100.1000	229.0186
2	NAB(ロシア)		25.00	128.6291	96.1000	224.7291
3	スペイン		23.750	122.0462	99.0500	221.0962
4	イタリア		24.025	123.3167	94.2500	217.5667
5	メキシコ		24.2250	124.4876	92.3000	216.7876
6	フランス		24.40	121.0087	90.2500	211.2587
7	ウクライナ		24.0125	118.7731	90.4000	209.1731
8	カナダ		23.2125	112.1948	90.6000	202.7948
9	アメリカ		20.45＊	104.5250	94.3500	198.8750
10	日本	比嘉　佐藤　小林　藤井　川瀬 相高　内田　熊谷	20.05＊	100.3367	92.7000	193.0367

（オ）ＯＷＳ　　7月15日～20日

男子種目	出場者名	順位	タイム	1位との差
10km	辻森　魁人	11	2時間01分47秒90	1分52秒40
10km	高木　陸	34	2時間09分18秒80	9分23秒30
５km	辻森　魁人	25	1時間01分00秒20	3分33秒80
５km	高木　陸	39	1時間01分26秒90	4分00秒50
3km ノックアウトスプリント	辻森　魁人	予選13	17分16秒60	15秒70
3km ノックアウトスプリント	高木　陸	予選27	18分46秒60	1分46秒20

女子種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	梶本　一花	８	2時間09分27秒80	1分36秒50
10km	蝦名　愛梨	棄権		
５km	梶本　一花	３	1時間02分28秒90	27秒60
５km	蝦名　愛梨	棄権		
3km ノックアウトスプリント	梶本　一花	予選２位	18分09秒90	0秒20
		準決勝２位	12分09秒70	0秒10
		決勝 優勝	6分19秒90	―
3km ノックアウトスプリント	蝦名　愛梨	棄権		

（２）アジア選手権

①期間・場所　　2025年９月28日～10月11日／インド・アーメダバード

②競技種目・日程

（ア）競　泳　　９月28日～10月1日

（イ）飛　込　　９月28日～10月1日

（ウ）水　球　　10月４日～11日

（エ）Ａ　Ｓ　　10月４日～７日

③選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本　部	2	－	－	－	2
競　泳	3	5	6	11	14
飛　込	2	2	0	2	4
水　球	8	12	12	24	32
ＡＳ	3	1	0	1	4
合　計	18	20	18	38	56

【本部】

役員　団　長　　村松　さやか

　　ドクター　　小宮　枝里子

【競泳】

役　員	ヘッドコーチ	大柳　良弘				
	コーチ	牛久保　聡	小野　淳			
選　手	男　子	安藤　陽	吉田　琉惟	宮崎　緒里	倉塚　遼	
		田中　駿				
	女　子	油井　美波	谷本　美乃	笠原　未咲	中澤　心暖	
		宮本　愛海	石川　真菜			

【飛込】

役　員	ヘッドコーチ	大塚　奈保美				
	審　判	茶木　康寛				
選　手	男　子	二羽　倖駕	坂田　麗鳳			

【水球男子】

役　員	ヘッドコーチ	塩田　義法				
	コーチ	志賀　光明				
	トレーナー	高橋　利一				
	審　判	深谷　周平				
選　手	男　子	髙橋　光	ローリー　隼	前田　隼之	森谷　雄輝	
		浦　縁至	山本　凌太郎	庄山　優	武田　琉大	
		前田　敦也	松野　綾祐	徐　浩智	酒巻　成	

【水球女子】

役　員	監　督	筈井　翔太				
	コーチ	泉尾　麻貴子				
	トレーナー	今村　剛正				
	審　判	西原　明日美				
選　手	女　子	甘庶　乃亜	小林　真穂	山田　果林	福田　星香	
		三田　夢佳	坂東　璃子	城之下　佳歩	江口　セイラ	
		柴田　奏	傍嶋　さくら	ローリー仁愛	本村　栞菜	

【ＡＳ】

役　員	コーチ	鈴木　紗也子				
	審　判	田中　洋子				
	Ｔ　Ｃ	本間　三和子				
選　手	男　子	古内　廉万				

④成績

（ア）競　泳　　9月28日～10月1日

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
安藤　陽	50m 自由形	予選	0:23.62	0:23.37	8	○	
		スイムオフ	0:23.37	0:23.46	2		
	200m 自由形	予選	1:48.32	1:50.39	2		

安藤 陽	200m自由形	決勝		1:48.73	3		Jrエリート
	400m 自由形	予選	3:49.90	3:58.02	7		
		決勝		3:55.09	7		
	1500m 自由形	T 決勝	15:32.65	15:33.94	4		
	200m バタフライ	予選	1:59.06	2:03.02	4		
		決勝		1:59.94	4		
吉田 琉惟	50m 背泳ぎ	予選	0:26.33	0:26.47	6		
		決勝		0:26.10	6	○	
	100m 背泳ぎ	予選	0:55.68	0:56.88	5		
		決勝		0:56.35	5		
	200m 背泳ぎ	予選	2:01.16	2:08.07	3		
		決勝		2:01.66	2		
宮崎 緒里	100m 平泳ぎ	予選	1:01.47	1:02.92	4		ナショナル
		決勝		1:02.29	5		ナショナル
	200m 平泳ぎ	予選	2:11.11	2:15.04	3		ナショナル
		決勝		2:12.47	2		Jrエリート
	400m 個人メドレー	予選	4:18.80	4:26.81	3		
		決勝		4:23.56	5		ナショナル
倉塚 遼	50m バタフライ	予選	0:25.53	0:24.65	6	○	
		決勝	0:24.65	0:24.62	8	○	
	100m バタフライ	予選	0:53.16	0:54.36	7		
		決勝		0:54.17	6		
	200m バタフライ	予選	1:56.57	2:01.57	1		
		決勝		1:57.24	2		Jrエリート
田中 駿	200m 自由形	予選	1:50.63	1:50.42	3	○	ナショナル
		決勝	1:50.42	1:49.92	5	○	ナショナル
	400m 自由形	予選	3:51.31	3:57.68	6		
		決勝		3:54.95	5		
	800m 自由形	T 決勝	8:11.76	8:04.93	4	○	
	400m 個人メドレー	予選	4:17.90	4:26.07	2		
		決勝		4:20.56	3		ナショナル

女子	種目名	予/決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	突破区分
油井 美波	50m 自由形	予選	0:25.94	0:26.87	9		
	100m 自由形	予選	0:55.79	0:57.60	4		
		決勝		0:56.78	5		
	200m 自由形	予選	1:59.89	2:04.38	2		
		決勝		2:03.22	6		

谷本 美乃	200m 自由形	予選	2:00.53	2:04.11	1		
		決勝		2:02.34	4		ナショナル
	400m 自由形	予選	4:11.43	4:23.43	1		
		決勝		4:16.39	1		ナショナル
	800m 自由形	タイム決勝	8:36.79	8:47.48	1		
笠原 未咲	50m 背泳ぎ	予選	0:29.03	0:29.27	3		
		決勝		0:28.96	3	○	
	100m 背泳ぎ	予選	1:01.02	1:04.22	3		
		決勝		1:01.60	2		ナショナル
	200m 背泳ぎ	タイム決勝	2:11.34	2:12.09	1		Jrエリート
中澤 心暖	100m 平泳ぎ	予選	1:09.67	1:11.05	2		
		決勝		1:10.14	3		
	200m 平泳ぎ	予選	2:24.63	2:28.42	1		
		決勝		2:27.51	2		ナショナル
	400m 個人メドレー	予選	4:43.04	4:49.54	1		
		決勝		4:47.40	2		
宮本 愛海	100m バタフライ	予選	1:00.78	1:03.00	6		
		決勝		1:02.20	5		
	200m バタフライ	予選	2:09.20	2:14.31	1		
		決勝		2:11.32	2		ナショナル
石川 真菜	100m 背泳ぎ	予選	1:03.60	DNS			
	200m 平泳ぎ	予選	2:26.03	2:29.05	2		
		決勝		2:26.36	1		ナショナル
	200m 個人メドレー	予選	2:10.50	2:15.22	1		
		決勝		2:12.00	1		Jr エリート
	400m 個人メドレー	予選	4:41.24	DNS			

種目名	予/決	出場選手	記録	順位	第一泳者記録	備考
男子 4×100m メドレーリレー	予選	吉田琉惟/宮崎緒里/倉塚遼/安藤陽	3:43.51	1	57.00	
	決勝	吉田琉惟/宮崎緒里/倉塚遼/安藤陽	3:42.38	5	56.38	
女子 4×100m メドレーリレー	T 決勝	笠原未咲/石川真菜/宮本愛海/油井美波	4:08.54	2	1:01.51	ナショナル（第一泳）
Mix４×100m メドレーリレー	予選	笠原未咲/石川真菜/倉塚遼/安藤陽	3:57.84	1	1:02.51	

	決勝	笠原未咲/石川真菜/ 倉塚遼/安藤陽	3:53.13	2	1:01.43	

（イ）飛　込　　9月28日～10月1日

種目	氏名	参加数	予選	得点	決勝	得点
男子１m飛板飛込	坂田　麗鳳	23			9	266.45
	二羽　倖駕				4	324.90
男子３m飛板飛込	坂田　麗鳳	23	8	311.55	8	313.95
	二羽　倖駕		6	346.45	4	358.70

（ウ）水　球　　10月４日～11日

【男子】　グループB　日本、タイ、カザフスタン、インド、シンガポール、オーストラリア

予選ラウンド：日本戦の結果

10/4　予選リーグ第1　○日本　(7,7,4,6)　24　－　12　(4,3,3,2)　タイ●
得点者：浦(8),ローリー(3),庄山(3),前田隼(2),酒巻(2),森谷(5),山本(1)

10/5　予選リーグ第2　●日本　(2,2,4,4)　12　－　14　(6,1,6,1)　カザフスタン○
得点者：浦(3),ローリー(3),松野(3),森谷(2),山本 (1)

10/7　予選リーグ第3　○日本　(10,9,8,8)　35　－　12　(2,5,2,2)　インド●
得点者：浦(4),ローリー(6),庄山(2),前田隼(3),酒巻(3),徐(3),
武田(2),森谷(4),山本(1),前田敦(4),松野(3)

10/8　予選リーグ第4　○日本　(7,7,5,5)　24　－　16　(3,4,4,5)　シンガポール●
得点者：浦(1),ローリー(3),前田隼(2),徐(1),武田(1),森谷(4),
山本(1),前田敦(5),松野(3)

10/9　準々決勝　○日本　(7,5,10,7)　29　－　12　(2,1,5,4)　香港●
得点者：高橋(2),浦(5),ローリー(8),庄山(1),前田隼(1),酒巻(2),
徐(1),武田(1),森谷(1),山本(1),前田敦(3),松野(3)

10/10　準決勝　●日本　(8,2,4,4)　18　－　19　(5,3,6,5)　イラン○
得点者：浦(4),ローリー(3),前田隼(3),森谷(3),前田敦(3),松野(2)

10/11　３－４位決定戦　●日本　(5,1,5,3)　14　－　16　(3,5,4,4)　カザフスタン○
得点者：浦(4),ローリー(3),前田隼(2),森谷(3),前田敦(1),松野(1)

最終順位

１位 中国、２位 イラン、３位 カザフスタン、４位 日本、５位 シンガポール、
６位 タイ、７位 香港、８位 ウズベキスタン、９位 インド、

※浦縁至選手・ローリー隼選手：大会得点王（29得点）

【女子】　グループA　日本、ウズベキスタン、シンガポール、インド

予選ラウンド：日本戦の結果

10/5　予選リーグ第1　○日本　(6,10,4,7)　27　－　13　(3,0,3,7)　ウズベキスタン●
得点者：福田(4),小林(5),坂東(1),柴田(2),山田(2),ローリー(2),
傍嶋(2),江口(3),三田(2),城之下(4)

10/6　予選リーグ第2　○日本　(5,2,10,9)　26　－　13　(4,5,2,2)　シンガポール●
得点者：福田(3),小林(6),坂東(1),柴田(2),ローリー(3),傍嶋(4),

江口(1),三田(3),城之下(3)

10/8　予選リーグ第3　○日本　(5,4,7,9)　25　－　10　(2,2,2,4)　インド●
得点者：福田(5),小林(4),坂東(2),柴田(3),山田(1),ローリー(4),
傍嶋(1),江口(2),三田(2),城之下(1)

10/9　準々決勝　○日本　(4,4,6,6)　20　－　16　(2,5,6,3)　香港●
得点者：福田(4),小林(2),柴田(5),山田(1),江口(4),三田(3),城之下(1)

10/10　準決勝　○日本　(7,4,6,8)　25　－　21　(5,5,3,8)　タイ●
得点者：福田(2),小林(3),柴田(2),ローリー(9),江口(2),三田(4), 城之下(3)

10/11　決勝　●日本　(5,2,5,5)　17　－　22　(7,5,6,4)　中国○
得点者：福田(4),小林(6),坂東(1),ローリー(2),傍嶋(2),三田(2)

最終順位

1位 中国、2位 日本、3位 カザフスタン、4位 タイ、5位 シンガポール、
6位 ウズベキスタン、7位 香港、8位 インド

※小林真穂 選手：大会ＭＶＰ（26得点 ,大会2位）

（エ）Ａ　Ｓ　　10月4日～7日

男子ソロ　テクニカル（エントリー数：5名　）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	カザフスタン	Viktor DRUZIN	32.75	136.1208	92.0500	228.1708
	カザフスタン	Eduard KIM	30.90	125.2584	98.3000	223.5584
2	日本	古内　廉万	28.15	122.2675	84.6000	206.8675
3	タイ	Kantinan ADISAISIRIBUTR	24.70	113.5666	86.3000	199.8666
4	ウズベキスタン	Ivan MEDVEDEV	18.20＊	65.6917	70.6000	136.2917

男子ソロ　フリー（エントリー数：5名）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	カザフスタン	Viktor DRUZIN	43.10＊	108.0639	90.7000	198.7639
2	日本	古内　廉万	49.65	105.7626	85.2500	191.0126
	カザフスタン	Artur MAIDANOV	41.00＊	86.0101	88.0000	174.0101
3	タイ	Wattikorn KHETHIRANKANOK	30.45	55.3113	76.9500	132.2613

4	ウズベキスタン	Ivan MEDVEDEV	20.85＊	34.4714	70.9500	105.4214

Ⅱ　競技力向上事業（選手強化事業）

ロサンゼルス期の初年度として、選手強化事業には新たな顔ぶれの選手も加わり、世代交代を図りながら強化を推進した。各競技においては、ロサンゼルスオリンピック（2028 年）およびブリスベンオリンピック（2032 年）を見据え、新たな取り組みや課題に挑む事業も展開された。

また、月１回開催した特別強化委員会を通じて、強化５部門間の情報共有と連携を図り、それ各部門の強化計画に基づき、シニアおよびジュニア選手の強化事業を推進した。

１．競泳強化事業

2025 年度は、７月にドイツでワールドユニバーシティゲームズが開催され、32 名の選手を派遣し、金３、銀５、銅７の計 15 個のメダルを獲得した。続いて、シンガポールで開催された世界選手権には競泳から 33 名の代表選手を派遣し、銀３、銅１の計４個のメダルを獲得した。入賞は個人 13（男子７、女子６）、リレー３の計 16 種目となり、本大会で競泳チームが目標としていた①複数のメダリスト輩出、②パリオリンピックを上回る入賞数（14 以上）という２つの目標を、ともに達成することができた。メダリストには、昨年のパリオリンピックに続いて銀メダルを獲得した松下知之選手（男子 400m 個人メドレー）をはじめ、ベテランの渡辺一平選手（男子 200m 平泳ぎ・銀メダル）、若手の成田実生選手（女子 400m 個人メドレー・銀メダル）と村佐達也選手（男子 200m 自由形・銅メダル）が名を連ねた。ロサンゼルスオリンピックに向け、ベテラン選手と若手選手が融合したチームづくりが着実に進んでおり、明るい材料となっている。

８月にルーマニア・オトペニで開催された世界ジュニア選手権には 12 名の選手を派遣し、個人種目では男女各１名が金メダルを獲得した。アメリカやロシアなどが 30 名を超える大規模な選手団を派遣する強豪国がひしめく中、日本チームは少数精鋭ながら、金４、銀８、銅６の計 18 個のメダルと入賞 28 種目という成績を収め、これらの強豪国に迫る活躍を見せた。日本の次世代選手の勢いを世界に強くアピールすることができた。成果を上げることができた要因のひとつとして、５月に実施した世界選手権合宿にこれらの選手とそのコーチたちを参加させ、トップレベルの代表選手と合同で合宿を行ったことが挙げられる。国際大会を想定した高強度のトレーニングやチーム内での相互刺激を通じて、競技力のみならず大会に向けた意識や準備の質が向上し、本番での自信につながった。

（１）国際競技会

①ヨーロッパグランプリサーキット

（ア）スペイン・バルセロナ　　2025 年５月 21 日・22 日

（イ）フランス・カネ　　2025 年５月 24 日・25 日

選手団編成

役　員 コーチ　　橘　里加子
　　科　学　　郡司　拓実
選　手 男　子　　大橋　信
　　女　子　　平井　瑞希　　佐々木　珠南　長岡　海涼

成績（ア）

名前	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
大橋　信	男子 50m 平泳ぎ	予選	27.48	28.13	12		
		B 決勝	27.48	27.94	2		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	1:00.08	1:01.32	4		Jr エリート
		決勝	1:00.08	1:00.55	5		Jr エリート
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:09.35	2:13.47	2		ナショナル
		決勝	2:09.35	2:09.04	2	○	インターC
平井　瑞希	女子 50m バタフライ	予選	25.77	26.49	3		
		決勝	25.77	25.94	2		
	女子 100m バタフライ	予選	56.33	57.35	1		インターC
		決勝	56.33	57.21	1		インターC
佐々木　珠南	女子 200m 自由形	予選	2:04.14	2:06.82	32		
		決勝	－	－	－		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:09.88	1:12.06	28		
		決勝	－	－	－		
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:11.80	2:15.08	6		
		決勝	2:11.80	2:14.26	7		Jr エリート
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:40.58	4:47.52	2		
		決勝	4:40.58	4:45.26	3		ナショナル
長岡　海涼	女子 200m 個人メドレー	予選	2:12.59	2:14.06	4		Jr エリート
		決勝	2:12.59	2:14.15	6		Jr エリート
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:39.10	4:48.12	6		
		決勝	4:39.10	4:49.00	6		

成績（イ）

名前	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
大橋　信	男子 50m 平泳ぎ	予選	27.48	00:27.55	2		
		決勝	27.48	00:27.63	3		

大橋　信	男子 100m 平泳ぎ	予選	1:00.08	01:01.46	3		ナショナル
		決勝	1:00.08	00:59.88	2	○	Jr エリート
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:09.04	02:15.02	3		
		決勝	2:09.04	02:08.89	1	○	インターC
平井　瑞希	女子 50m 自由形	予選	00:25.28	00:26.03	14		
		B 決勝	00:25.28	00:25.88	4		
	女子 100m 自由形	予選	00:54.60	00:55.47	9		
		B 決勝	00:54.60	00:55.47	4		
佐々木 珠南	女子 50m 自由形	予選	00:26.33	00:27.84	41		
		決勝	00:26.33	－	－		
	女子 50m 平泳ぎ	予選	00:32.99	00:34.63	36		
		決勝	00:32.99	－	－		
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:11.80	02:17.65	5		
		決勝	2:11.80	02:17.88	8		
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:40.58	04:57.76	4		
		決勝	4:40.58	失格			
長岡　海涼	女子 100m 自由形	予選	00:56.88	00:58.70	42		
		決勝	00:56.88	－	－		
	女子 200m 自由形	予選	02:01.13	02:05.87	25		
		決勝	02:01.13	－	－		
	女子 100m 背泳ぎ	予選	01:02.35	01:04.46	18		
		B 決勝	01:02.35	01:04.47	8		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	02:13.63	02:18.29	5		
		決勝	02:13.63	02:15.98	6		

②ジュニア世界選手権　　2025 年８月 19 日～24 日／ルーマニア・オトペニ

選手団編成

役　員　監　督　　倉澤　利彰
　　ヘッドコーチ　　村上　二美也
　　コーチ　　橘　里加子　　成田　彩夏　　吉岡　靖泰
　　ドクター　　南條　成輝
　　トレーナー　　松浦　由生子
　　科　学　　酒井　紳
選　手　男　子　　黒田　一瑳　　今福　和志　　大橋　信　　小島　夢貴
　　沼田　頼人　　平田　統也
　　女　子　　平井　瑞希　　福岡　由唯　　山本　千晶　　石塚　宇海
　　佐々木　珠南　　長岡　海涼

成績

選手名	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	突破区分
黒田　一瑳	100m 自由形	予選	0:49.34	O :49.99	15		Jr.エリート
		準決勝		0:49.82	13		Jr.エリート
	200m 自由形	予選	1:47.34	1:48.56	5		Jr.エリート
		決勝		1:47.57	5		Jr.エリート
今福　和志	400m 自由形	予選	3:47.77	3:50.13	3		Jr.エリート
		決勝		3:48.33	6		Jr.エリート
	800m 自由形	T 決勝	7:50.01	7:48.34	2	○	インターC/日本新
	1500m 自由形	T 決勝	14:50.18	14:56.97	2		インターC
大橋　信	50m 平泳ぎ	予選	0:27.33	0:27.41	4		
		準決勝		0:27.34	3		
		決勝		0:27.12	3	○	高校新
	100m 平泳ぎ	予選	0:58.94	0:59.64	1		インターC
		準決勝		0:59.72	2		Jr.エリート
		決勝		0:59.50	2		インターC
	200m 平泳ぎ	予選	2:06.91	2:11.32	3		Jr.エリート
		決勝		2:07.56	2		インターB
小島　夢貴	200m 背泳ぎ	予選	1:58.12	棄権			
	200m個人メドレー	予選	1:57.75	1:59.43	3		Jr.エリート
		決勝		1:57.32	2	○	インターC/高校新
	400m 個人メドレー	予選	4:09.38	4:21.10	5		
		決勝		4:12.99	2		インターC
沼田　頼人	200m 自由形	予選	1:48.21	1:48.10	2	○	Jr.エリート
		決勝	1:48.10	1:46.70	3	○	インターC
	1500m 自由形	T 決勝	15:14.53	15:25.50	11		
	200m 個人メドレー	予選	1:58.87	1:59.33	2		Jr.エリート
		決勝		1:57.98	3	○	インターC
	400m 個人メドレー	予選	4:12.10	4:16.96	1		Jr.エリート
		決勝		4:11.37	1	○	インターC
平田　統也	100m 自由形	予選	0:49.79	0:50.24	23		ナショナル
	50m 背泳ぎ	予選	0:25.46	0:25.79	11		
		準決勝		0:25.71	15		
	100m 背泳ぎ	予選	0:55.05	0:55.82	15		ナショナル
		準決勝		0:55.57	15		ナショナル
平井　瑞希	100m 自由形	予選	0:54.60	0:54.86	5		
		準決勝		0:55.04	8		
		決勝		0:55.01	7		

平井　瑞希	50m バタフライ	予選	0:25.77	0:26.09	1		
		準決勝		0:26.02	2		
		決勝		0:25.66	2	○	
	100m バタフライ	予選	0:56.33	0:57.41	1		インターC
		準決勝		0:57.02	1		インターC
		決勝		0:56.87	1		インターB
福岡　由唯	200m 自由形	予選	1:59.75	1:59.48	6	○	Jr.エリート
		決勝	1:59.48	1:59.69	7		Jr.エリート
	400m 自由形	予選	4:12.82	4:13.69	10		ナショナル
山本　千晶	100m 背泳ぎ	予選	1:00.88	1:01.95	17		
	200m 背泳ぎ	予選	2:10.13	2:13.05	7		
		決勝		2:13.23	8		
石塚　宇海	50m バタフライ	予選	0:27.88	0:27.87	35	○	
	100m バタフライ	予選	0:59.49	0:59.96	15		ナショナル
		準決勝		1:00.10	15		ナショナル
	200m バタフライ	予選	2:08.45	2:09.19	2		インターC
		決勝		2:08.16	3	○	インターC
佐々木珠南	200m 個人メドレー	予選	2:11.80	2:13.41	3		Jr.エリート
		決勝		2:11.84	3		インターC
	400m 個人メドレー	予選	4:40.58	4:43.36	5		Jr.エリート
		決勝		4:38.94	3	○	インターC
長岡　海涼	200m 個人メドレー	予選	2:12.31	2:13.32	2		Jr.エリート
		決勝		2:12.69	6		Jr.エリート
	400m 個人メドレー	予選	4:39.10	4:41.78	3		Jr.エリート
		決勝		4:41.41	6		インターC

③ワールドカップ

（ア）アメリカ・カーメル　　2025 年 10 月 10 日～12 日

（イ）アメリカ・ウエストモント　　2025 年 10 月 17 日～19 日

（ウ）カナダ・トロント　　2025 年 10 月 23 日～25 日

選手団編成

役　員　コーチ　　平井　伯昌　　堀畑　裕也

トレーナー　　杉本　啓

選　手　男　子　　深沢　大和　　渡辺　一平　　大橋　信　　松下　知之

小島　夢貴

女　子　　鈴木　聡美　　成田　実生

成績（ア）

名前	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
牧野　航介	辞退						
深沢　大和	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:27.41	26.97	18	○	
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:57.21	58.40	11		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:01.94	2:06.04	6		
		決勝	2:01.94	2:06.64	8		
渡辺　一平	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.80	棄権			
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:56.88	棄権			
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:01.70	2:06.33	7		
		決勝	2:01.70	2:06.05	7		
大橋　信	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.67	26.81	14		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:56.91	57.90	7		
		決勝	0:56.91	57.91	8		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:03.28	2:05.37	3		
		決勝	2:03.28	2:04.07	3		
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:58.16	2:01.09	19		
	男子 400m 自由形	T 決勝	3:53.18	3:56.25	28		
松下　知之	男子 200m 背泳ぎ	予選	－	1:54.20	8	○	
		決勝	1:54.20	1:53.29	6	○	
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:53.88	1:54.34	3		
		決勝	1:53.88	1:53.28	4	○	
	男子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:00.44	4:01.82	2		
小島　夢貴	男子 200m 背泳ぎ	予選	1:54.98	1:53.38	6	○	
		決勝	1:53.38	1:53.61	7		
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:55.59	1:56.37	9		
	男子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:08.91	4:24.77	20		
瀬戸　大也 招待選手	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:00.35	2:08.21	10		
	男子 100m 個人メドレー	予選	0:51.29	棄権			
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:50.66	棄権			
	男子 400m 個人メドレー	T 決勝	3:54.81	4:14.37	10		
鈴木　聡美	女子 50m 平泳ぎ	予選	0:29.79	30.59	7		
		決勝	0:29.79	30.46	7		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:04.11	1:06.22	13		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:20.95	2:23.89	12		

成田　実生	女子 100m 個人メドレー	予選	1:00.45	1:00.52	14		
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:06.64	2:12.84	15		
	女子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:28.19	4:33.03	5		

成績（イ）

名前	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
牧野　航介	辞退						
深沢　大和	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.97	27.17	16		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:57.21	57.92	8		
		決勝	0:57.21	58.23	7		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:01.94	2:06.20	7		
		決勝	2:01.94	2:05.95	7		
渡辺　一平	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.80	26.88	13		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:56.88	58.47	13		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:01.70	2:05.97	6		
		決勝	2:01.70	2:04.70	5		
大橋　信	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.67	26.32	6	○	高校新
		決勝	0:26.32	26.37	8		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:56.91	57.48	3		
		決勝	0:56.91	56.79	3	○	高校新
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:03.28	2:05.95	5		
		決勝	2:03.28	2:03.62	3		
	男子 100m 個人メドレー	予選	－	56.07	29	○	
	男子 800m 自由形	T 決勝	8:09.39	8:06.69	10	○	
松下　知之	男子 200m 背泳ぎ	予選	1:53.29	1:52.15	6	○	
		決勝	1:52.15	1:52.07	6	○	
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:53.28	1:53.08	1	○	
		決勝	1:53.08	1:53.26	3		
	男子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:00.44	4:02.26	3		
小島　夢貴	男子 100m 背泳ぎ	予選	0:56.53	54.49	28	○	
	男子 100m 個人メドレー	予選	0:55.87	54.09	19	○	
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:55.59	1:55.42	10	○	
瀬戸　大也 招待選手	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:00.35	2:10.51	14		
	男子 200m バタフライ	予選	1:48.24	1:57.80	12		
	男子 100m 個人メドレー	予選	0:51.29	54.15	22		
	男子 400m 個人メドレー	T 決勝	3:54.81	4:10.64	9		

鈴木　聡美	女子 50m 平泳ぎ	予選	0:29.79	30.56	8		
		決勝	0:29.79	30.24	5		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:04.11	1:05.51	6		
		決勝	1:04.11	1:05.63	7		
成田　実生	女子 200m バタフライ	予選	2:08.65	2:11.43	8		
		決勝	2:08.65	2:15.23	8		
	女子 100m 個人メドレー	予選	1:00.45	1:01.84	18		
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:06.64	2:09.00	6		
		決勝	2:06.64	2:12.56	8		
	女子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:28.19	4:33.25	4		

成績（ウ）

名前	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	順位	ベスト	備考
牧野 航介	辞退						
深沢　大和	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.97	27.27	18		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:57.21	58.64	11		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:01.94	2:06.24	5		
		決勝	2:01.94	2:03.82	3		
渡辺　一平	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.80	26.96	10		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:56.88	58.72	12		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:01.70	2:06.04	3		
		決勝	2:01.70	2:03.96	4		
大橋　信	男子 50m 平泳ぎ	予選	0:26.32	26.66	6		
		決勝	0:26.32	26.25	5	○	高校新
	男子 100m 平泳ぎ	予選	0:56.79	57.68	5		
		決勝	0:56.79	57.06	3		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:03.28	2:06.12	4		
		決勝	2:03.28	2:02.03	2	○	高校新/ 世界ジュニア新
松下　知之	男子 200m 背泳ぎ	予選	1:52.07	1:52.34	6		
		決勝	1:52.07	1:50.53	4	○	
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:53.08	1:53.39	2		
		決勝	1:53.08	1:51.43	2	○	
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:00.44	失格			
小島　夢貴	男子 200m 個人メドレー	予選	1:55.42	1:55.16	8	○	
		決勝	1:55.16	1:56.14	8		

小島　夢貴	男子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:08.91	4:11.33	7		
瀬戸　大也 招待選手	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:00.35	2:07.34	7		
		決勝	2:00.35	2:06.20	6		
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:50.66	1:57.23	11		
	男子 100m 個人メドレー	予選	0:51.29	54.16	15		
鈴木　聡美	女子 50m 平泳ぎ	予選	0:29.79	30.31	5		
		決勝	0:29.79	29.90	3		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:04.11	1:04.65	3		
		決勝	1:04.11	1:04.49	4		
成田　実生	女子 100m 個人メドレー	予選	1:00.45	1:00.43	11	○	
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:06.64	2:08.73	9		
	女子 400m 個人メドレー	T 決勝	4:28.19	4:26.43	3	○	

④ジュニアブロックシンガポール遠征　　2026 年 3 月 17 日～22 日／シンガポール

選手団編成

役　員	団　長	田中　良夫			
	ドクター	石垣　佳織			
	ヘッドコーチ	安藤　大吾			
	コーチ	薩摩　将広	廣田　順平	野津　由美子	
選　手	男　子	谷本　喜一	佐藤　陽介	長沼　奏斗	矢野　仁太
		正木　海翔	小澤　晶	大平　るな	榎本　光時
		平井　良尚	秋山　宗史朗	小松　凛太朗	
	女　子	大友　凛音	松浦　優羽	岸上　遥香	門間　椎南
		谷口　漣	歌代　咲彩	前川　春陽	寺本　莉彩
		山室　璃奈	脇　栞那	古屋敷　優有	

成績

男子	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	区分 別順位	ベスト	備考
谷本　喜一 [15-17 歳区分]	50m 平泳ぎ	予選	0:35.71	0:31.06	－	○	
	100m 平泳ぎ	予選	1:06.86	1:06.26	－	○	
	200m 平泳ぎ	予選	2:21.26	2:20.49	－	○	
		決勝	2:20.49	2:20.00	5	○	
佐藤　陽介 [15-17 歳区分]	400m 自由形	予選	4:16.99	4:11.22	－	○	
	200m 背泳ぎ	予選	2:18.22	2:11.00	－	○	
		決勝	2:11.00	2:11.00	4	○	
	100m 平泳ぎ	予選	1:07.08	1:07.71	－		

佐藤　陽介 [15-17 歳区分]	100m バタフライ	予選	0:57.39	0:57.01	－	○	
	200m 個人メドレー	予選	2:06.89	2:06.98	－		
		決勝	2:06.89	2:06.18	2	○	
	400m 個人メドレー	予選	4:29.82	4:37.51	－		
		決勝	4:29.82	4:34.52	2		
長沼　奏斗 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:25.54	0:24.85	－	○	
	50m バタフライ	予選	0:26.59	0:25.11	－	○	
	100m バタフライ	予選	0:55.65	0:54.83	－	○	
		決勝	0:54.83	0:54.29	2	○	ナショナル
	200m バタフライ	予選	2:08.58	2:04.05	－	○	
	200m 個人メドレー	予選	2:10.81	2:12.22	－		
矢野　仁太 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:25.39	0:25.74	－		
	100m 自由形	予選	0:57.56	0:54.96	－	○	
	50m バタフライ	予選	0:26.08	0:25.89	－	○	
	100m バタフライ	予選	0:55.34	0:56.01	－		
	200m バタフライ	予選	2:00.87	2:02.03	－		
		決勝	2:00.87	2:01.42	1		
正木　海翔 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:23.06	0:23.21	－		ナショナル
		決勝	0:23.06	0:23.21	1		ナショナル
	100m 自由形	予選	0:50.63	0:51.63	－		
	200m 自由形	予選	2:06.78	1:55.64	－	○	
	100m 背泳ぎ	予選	1:02.58	1:00.64	－	○	
		決勝	1:00.64	0:59.71	4	○	
	50m バタフライ	予選	0:24.95	0:24.96	－		
	100m バタフライ	予選	0:58.26	0:55.35	－	○	
小澤　晶 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:23.94	0:24.27	－		
	100m 自由形	予選	0:53.11	0:52.91	－	○	
	50m バタフライ	予選	0:25.39	0:25.81	－		
	100m バタフライ	予選	0:55.89	0:56.98	－		
	200m バタフライ	予選	2:02.99	2:03.59	－		
大平　るな [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:24.12	0:24.80	－		
	200m 自由形	予選	1:53.68	1:55.58	－		
	400m 自由形	予選	4:03.72	4:10.26	－		
	50m バタフライ	予選	0:26.24	0:26.54	－		
	200m 個人メドレー	予選	2:16.59	2:13.59	－	○	

榎本　光時 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:23.75	0:24.15	-		
	100m 自由形	予選	0:51.40	0:51.57	-		
		決勝	0:51.40	0:51.10	2	○	ナショナル
	400m 自由形	予選	4:07.11	4:08.32	-		
		決勝	4:07.11	4:11.58	10		
	50m バタフライ	予選	0:24.09	0:24.28	-		
		決勝	0:24.09	0:23.87	1	○	中学新
	100m バタフライ	予選	0:53.40	0:53.47	-		ナショナル
		決勝	0:53.40	0:53.07	1	○	中学新/ナショナル
平井　良尚 [15-17 歳区分]	50m 平泳ぎ	予選	0:29.31	0:29.73	-		
	100m 平泳ぎ	予選	1:02.63	1:03.12	-		
		決勝	1:02.63	1:02.55	1	○	ナショナル
	200m 平泳ぎ	予選	2:11.71	2:12.57	-		ナショナル
		決勝	2:11.71	2:16.31	2		
	200m 個人メドレー	予選	2:28.09	2:09.49	-	○	
		決勝	2:09.49	2:06.98	3	○	
秋山　宗史朗 [15-17 歳区分]	200m 自由形	予選	2:02.55	2:02.05	-	○	
	50m 平泳ぎ	予選	0:31.03	0:30.43	-	○	
	100m 平泳ぎ	予選	1:04.26	1:04.47	-		
		決勝	1:04.26	1:04.34	5		
	200m 平泳ぎ	予選	2:17.43	2:17.49	-		
		決勝	2:17.43	2:17.99	3		
	200m 個人メドレー	予選	2:15.43	2:14.31	-	○	
小松　凜太朗 [15-17 歳区分]	100m 自由形	予選	0:55.68	0:54.50	-	○	
	50m 平泳ぎ	予選	0:29.19	0:29.40	-		
		決勝	0:29.19	0:29.45	3		
	100m 平泳ぎ	予選	1:03.39	1:03.45	-		
		決勝	1:03.39	1:03.44	2		
	200m 平泳ぎ	予選	2:15.92	2:15.69	-	○	ナショナル
		決勝	2:15.69	2:15.40	1	○	ナショナル
	100m バタフライ	予選	0:59.49	0:58.61	-	○	

女子	種目名	予／決	ベスト タイム	記録	区分別 順位	ベスト	備考
大友　凜音	50m 平泳ぎ	予選	0:34.03	0:34.54	-		

大友　凛音 [13-14 歳区分]	50m 平泳ぎ	決勝	0:34.03	0:34.39	2		
	100m 平泳ぎ	予選	1:13.26	1:14.01	-		
		決勝	1:13.26	1:13.75	1		
	200m 平泳ぎ	予選	2:36.29	2:38.51	-		
		決勝	2:36.29	2:38.72	1		
松浦　優羽 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:28.50	0:27.85	-	○	
	100m 自由形	予選	-	1:01.20	-	○	
	200m 自由形	予選	-	2:14.29	-	○	
	50m バタフライ	予選	0:29.96	0:28.60	-	○	
	100m バタフライ	予選	1:01.38	1:02.27	-		
		決勝	1:01.38	1:01.66	2		
	200m バタフライ	予選	2:14.39	2:17.11	-		
		決勝	2:14.39	2:15.91	1		
岸上　遥香 [15-17 歳区分]	400m 自由形	予選	-	4:24.63	-	○	
		決勝	4:24.63	4:20.13	1	○	
	800m 自由形	T 決勝	-	8:54.52	1	○	
	200m 個人メドレー	予選	2:16.54	2:17.62	-		
		決勝	2:16.54	2:16.73	1		ナショナル
	400m 個人メドレー	予選	4:45.14	4:50.61	-		
		決勝	4:45.14	4:47.61	1		ナショナル
門間　椎南 [15-17 歳区分]	50m 背泳ぎ	予選	0:29.74	0:29.60	-	○	
		決勝	0:29.60	0:29.64	2		
	100m 背泳ぎ	予選	1:02.58	1:02.98	-		
		決勝	1:02.58	1:03.40	1		
	200m 背泳ぎ	予選	2:13.78	2:15.35	-		
		決勝	2:13.78	2:15.19	2		ナショナル
谷口　漣 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:27.02	0:27.67	-		
	100m 自由形	予選	-	1:00.11	-	○	
	50m 平泳ぎ	予選	0:34.72	0:33.97	-	○	
	50m バタフライ	予選	0:28.71	0:28.70	-	○	
	200m 個人メドレー	予選	2:17.64	2:18.81	-		
		決勝	2:17.64	2:20.26	4		
	400m 個人メドレー	予選	4:47.25	4:51.14	-		
		決勝	4:47.25	4:50.13	2		
歌代　咲彩	50m 自由形	予選	0:25.81	0:26.57	-		

歌代　咲彩 [15-17 歳区分]	50m 自由形	決勝	0:25.81	0:26.05	1		
	100m 自由形	予選	0:56.33	0:58.10	-		
		決勝	0:56.33	0:57.78	2		
	200m 自由形	予選	2:04.98	2:08.26	-		
		決勝	2:04.98	2:07.86	4		
	50m 平泳ぎ	予選	0:32.18	0:33.44	-		
		決勝	0:32.18	0:33.00	3		
	50m バタフライ	予選	0:27.72	0:28.36	-		
		決勝	0:27.72	0:27.91	2		
前川　春陽 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:28.06	0:27.84	-	○	
	100m 自由形	予選	0:59.10	1:00.79	-		
	800m 自由形	T 決勝	-	9:29.33	9	○	
	200m 背泳ぎ	予選	2:24.20	2:29.52	-		
	50m 平泳ぎ	予選	-	0:36.04	-	○	
	200m 平泳ぎ	予選	-	2:42.51	-	○	
		決勝	2:42.51	2:41.64	4	○	
	50m バタフライ	予選	-	0:30.15	-	○	
	200m バタフライ	予選	2:21.63	2:21.84	-		
		決勝	2:21.63	2:21.77	4		
	200m 個人メドレー	予選	2:17.25	2:20.07	-		
		決勝	2:17.25	2:19.80	3		
	400m 個人メドレー	予選	4:48.61	5:01.34	-		
		決勝	4:48.61	4:58.99	3		
寺本　莉彩 [15-17 歳区分]	100m 自由形	予選	1:03.81	1:00.68	-	○	
	50m 平泳ぎ	予選	0:32.71	0:32.93	-		
		決勝	0:32.71	0:32.77	2		
	100m 平泳ぎ	予選	1:10.30	1:10.31	-		
		決勝	1:10.30	1:09.51	1	○	ナショナル
	200m 平泳ぎ	予選	2:30.01	2:33.35	-		
		決勝	2:30.01	2:30.94	1		
	200m 個人メドレー	予選	2:45.99	2:24.93	-	○	
		決勝	2:24.93	2:24.78	5	○	
山室　璃奈 [13-14 歳区分]	50m 自由形	予選	0:27.39	0:27.84	-		
		決勝	0:27.39	0:27.53	3		
	200m 自由形	予選	2:16.41	2:12.47	-	○	

山室　璃奈 [13-14 歳区分]	200m自由形	決勝	2:12.47	2:09.86	2	○	
	400m 自由形	予選	4:49.80	4:37.75	-	○	
		決勝	4:37.75	4:34.77	2	○	
	800m 自由形	T 決勝	9:34.41	9:30.53	1	○	
	50m バタフライ	予選	0:27.71	0:27.69	-	○	
		決勝	0:27.69	0:27.81	1		
	100m バタフライ	予選	1:01.08	1:01.72	-		
		決勝	1:01.08	1:01.79	1		
	200m バタフライ	予選	2:16.00	2:22.50	-		
		決勝	2:16.00	2:18.25	1		
脇　栞那 [13-14 歳区分]	50m 自由形	予選	0:30.60	0:28.48	-	○	
		決勝	0:28.48	0:28.13	7	○	
	50m 背泳ぎ	予選	0:30.65	0:30.68	-		
		決勝	0:30.65	0:30.78	2		
	100m 背泳ぎ	予選	1:06.78	1:04.74	-	○	
		決勝	1:04.74	1:05.75	1		
	200m 背泳ぎ	予選	2:19.00	2:17.93	-	○	
		決勝	2:17.93	2:17.81	1	○	
	100m 平泳ぎ	予選	1:13.69	1:14.68	-		
		決勝	1:13.69	1:13.75	1		
	200m 個人メドレー	予選	2:20.47	2:22.02	-		
		決勝	2:20.47	2:20.63	1		
古屋敷　優有 [15-17 歳区分]	50m 自由形	予選	0:27.57	0:27.67	-		
	50m 背泳ぎ	予選	0:29.74	0:30.09	-		
		決勝	0:29.74	0:30.10	4		
	100m 背泳ぎ	予選	1:03.53	1:04.59	-		
		決勝	1:03.53	1:04.89	3		
	200m 背泳ぎ	予選	2:18.63	2:21.65	-		
		決勝	2:18.63	2:20.41	3		

日本	男子 4×100m フリーリレー	正木　海翔	3:26.02	0:50.34	1	ベスト/ナショナル
		榎本　光時		0.50.82		
		大平　るな		0.52.53		
		小澤　晶		0.52.33		

日本	男子 4×200m フリーリレー	大平　るな	7:39.80	1:55.31	1	
		榎本　光時		1.51.73		
		小澤　晶		1.57.68		
		正木　海翔		1.55.08		
日本	男子 4×100m メドレーリレー	正木　海翔	3:45.95	0:58.98	1	ベスト
		平井　良尚		1.01.67		
		榎本　光時		0.52.34		
		小澤　晶		0.52.96		
日本	女子 4×100m フリーリレー	歌代　咲彩	3:54.17	0:57.48	2	
		門間　椎南		0.58.56		
		岸上　遥香		0.58.94		
		前川　春陽		0.59.19		
日本	女子 4×200m フリーリレー	歌代咲彩	8:23.65	2:05.44	1	
		門間椎南		2.06.92		
		谷口漣		2.06.89		
		岸上遥香		2.04.40		
日本	女子 4×100m メドレーリレー	門間椎南	4:13.07	1:02.72	1	ナショナル
		寺本莉彩		1.09.76		
		松浦優羽		1.01.77		
		歌代咲彩		0.58.82		
日本	混合 4×100m メドレーリレー	門間椎南	3:53.89	1:02.74	1	ナショナル
		平井良尚		1.01.92		
		榎本光時		0.52.62		
		歌代咲彩		0.56.61		

２．飛込強化事業

2025 年にシンガポールで開催された世界選手権において、７種目にエントリーし、選手８名スタッフ５名からなる選手団を派遣した。結果６種目で決勝進出、４種目で入賞を果たした。中でも、チームイベントに出場した玉井陸斗選手、坂井丞選手、三上紗也可選手、金戸凜選手は銅メダルを獲得した。個人種目およびシンクロ種目における「国際競技力向上」の成果が着実に現れてきたものといえる。

「重点強化」としては、メダルアスリート事業（MA）を実施した。本事業は、日本飛込界全体で支援する体制の構築を基盤とし、長期的な視点で重点強化を推進するものである。パリオリンピックメダリストである玉井陸斗選手を主たるターゲットとし、継続的な強化を実施した。具体的には、オーストラリアにおける強化合宿を実施した。また、メダルポテンシャルアスリート事業（MPA）として、三上紗也可選手に対し国内における強化を推進した。

さらに、「拠点強化」としては、所属先での強化を含め、継続的な国内合宿を円滑に実施するため、練習施設の整備が必要不可欠である。「ＪＯＣ競技別強化拠点事業」として栃木県宇都宮市の日環アリーナ栃木を拠点に指定し、競技に特化した室内練習施設を活用することで効率的なトレーニング環境を確保した。加えて、滋賀県のインフロニア草津アクアティクスセンターを西日本の拠点として位置付け、トップレベルの選手から初心者までを対象とした効果的な強化・普及活動を展開している。これにより、全国的な強化拠点施設の整備が着実に進んでいる。

（１）国際競技会

①ワールドカップ

（ア）メキシコ・グアダラハラ　　2025年４月３日～６日

（イ）カナダ・ウインザー　　2025年４月10日～13日

選手団編成

役　員　ヘッドコーチ　安田　千万樹

コーチ　馬淵　崇英(カナダのみ)

トレーナー　鳥飼　達也

選　手　男　子　坂井　丞　玉井　陸斗(カナダのみ)

女　子　三上　紗也可

審　判　浅田　雅子(メキシコ)　中川　真依(カナダ)

成績（ア）（イ）

2025年ＡＱＵＡワールドカップ第１戦　メキシコ・グアダラハラ

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子3m飛板飛込	坂井　丞	27	25	326.55				
女子3m飛板飛込	三上紗也可	23	9	276.40			9	295.80

2025年ＡＱＵＡワールドカップ第２戦　カナダ・ウィンザー

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子3m飛板飛込	坂井　丞	28	17	363.85				
女子3m飛板飛込	三上紗也可	21	7	300.00			8	293.05
男子高飛込	玉井　陸斗	20	3	432.35			5	465.85

②ワールドカップファイナル　　2025年５月２日～４日／中国・北京

選手団編成

役　員　コーチ　安田　千万樹

トレーナー　成田　崇矢

選　手　女　子　三上　紗也可

成績

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
女子3m飛板飛込	三上紗也可	12	1	201.80	3	308.30	9	

③カナダカップ　　2025年６月５日～８日／カナダ・ガティノー

選手団編成

役　員	ヘッドコーチ	瓶子　勇治郎			
	コーチ	野村　孝路	大塚　奈保美		
	トレーナー	鳥飼　達也			
選　手	男　子	山田　周汰	坂田　麗鳳	二羽　倖駕	
	女　子	山崎　佳蓮	乗松　飛羽	西沢　明歩	近藤　花菜
		森岡　さくら			
審　判		毒島　めぐみ			

成績

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子３m飛板飛込	坂田　麗鳳	15	2	358.20			10	320.00
	二羽　倖駕		7 (10)	323.90			9	329.15
男子高飛込	山田　周汰	13	8	347.80			4	425.50
	坂田　麗鳳		10 (8)	334.20			8	372.65
男子高飛込シンクロ	山田・二羽	7					4	336.30
男子3m飛板飛込シンクロ	坂田・二羽	5					5	339.03
男子3m飛板飛込シンクロ	三上 紗也可	52	12	283.75	7	300.45	5	320.15
女子３m飛板飛込	近藤　花菜	16	12	217.20	9	305.70		
	森岡 さくら		11	220.90				
女子高飛込	乗松　飛羽	16	7 (10)	261.00			9	249.80
	山崎　佳蓮		14	238.30	1	291.00	5	294.75
	西沢　明歩		16	193.60	6	248.00	11	216.15
Team Event	山田・二羽 近藤・山崎						5	366.80

④アメリカンカップ　　2025年6月12日～15日／アメリカ・モーガンタウン

選手団編成

役　員	ヘッドコーチ	松本　行夫			
	コーチ	金戸　恵太			
	トレーナー	杉山　弘樹			
選　手	男　子	須山　晴貴	西田　玲雄	伊熊　扇李	
	女　子	金戸　凛			
審　判		毒島　めぐみ			

成績

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子３m飛板飛込	伊熊　扇李	12	8	308.40			4	372.15
	須山　晴貴		4	346.25			3	388.00
女子高飛込	金戸　凛	8	2	296.80			1	354.45
男子10m高飛込	西田　玲雄	6	4	395.30			4	341.60
男子３mシンクロ	伊熊・須山	3					1	353.28

⑤ワールドカップ

（ア）カナダ・モントリオール　　2026 年２月 26 日～３月１日

（イ）メキシコ・サポパン　　2026 年３月５日～８日(大会中止)

選手団編成

役　員　ヘッドコーチ　安田　千万樹

コーチ　馬淵　崇英

トレーナー　鳥飼　達也

選　手　男　子　玉井　陸斗　須山　晴貴　伊熊　扇李

女　子　金戸　凛

審　判　浅田　雅子(カナダ)　中川　真依(メキシコ)

成績（ア）

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子飛板飛込	須山　晴貴	29	17（15）	296.80				
男子３mシンクロ	須山・伊熊	12					7	379.02
女子高飛込	金戸　凛	20	5（4）	337.10			8	303.90

３．水球強化事業

2025 年にシンガポールで開催された世界選手権において、女子が日本水球史上初となる８位入賞を果たし、男子も過去最高位となる９位となった。世界選手権に先立ち開催された World Aquatics World Cup（以下 W-cup）では、女子が Division２（以下 D2）で優勝、男子も Division１で６位となり、男女ともに W-cup Final へ進出した。Final では女子が７位、男子が８位の成績を収めた。

ロサンゼルスオリンピックを見据えた強化体制として、男子代表監督に塩田義法氏、女子代表監督に筈井翔太氏を据えた体制を継続し、一貫した指導･管理体制を構築している。両監督には、年代別代表の指導体制に関する決定権限を付与し、各種研修会や代表合宿において両監督が直接指導・助言を行う体制を整備した。年代別大会への出場は見送ったものの、10 月に開催されたアジア選手権（アジア大会（愛知／名古屋・2026）予選）には大学生・高校生を中心とした選手団を派遣し、若手選手の強化機会を創出した。

また、欧州で活動する選手が増加している現状を踏まえ、代表選手が所属する海外拠点への欧州視察を両監督が実施し、国内外の強化体制の連携強化を図った。さらに、World Aquatics (AQUA)奨学金制度では男子の佐々野廉選手（ＧＫ）が２年連続で、女子の関根桜彩選手（ＦＰ）が選出され、欧州クラブへの派遣が実現した。

一方で、助成金の縮小を背景に、従来の助成金依存型の運営からの脱却を目指し、各競技会および派遣事業の収支バランスの見直しを進めた。また、U20 世界ジュニア選手権の予選となる U19 アジアエージ選手権への派遣に向けて、クラウドファンディングを実施した。

水球競技全体の課題として、①スタッフの処遇改善、②収入拡大および広報戦略を推進する体制の強化、③競技別強化拠点の確保、④強化に資する国内競技会の見直し、⑤アクアゲーム等を活用した水球ファン層の拡大に取り組んだ。今後も選手･関係者が一丸となって競技改革を推進し、当面の最大目標である 2026 年アジア大会における男女アベック優勝の達成を目指す。

（１）国際競技会

①ワールドカップファイナル（男子）2025年4月11日～13日／モンテネグロ・ポドゴリツァ

選手団編成

役　員	ヘッドコーチ	塩田　義法			
	サポートスタッフ	志賀　光明			
	コーチ	竹田　純			
	トレーナー	片桐　悠介			
選　手	男　子	西村　永遠	足立　聖弥	渡邉　太陽	荻原　大地
		井上　皆	鈴木　透生	伊達　清武	髙田　充
		新田　一景	稲場　悠介	ローリー　隼	荒木　健太
		佐々野　廉	前田　隼之	森谷　雄輝	
審　判		黒崎　千智			

成績

4/11　準々決勝　●日本　(4,3,2,1)　10　－　20　(7,3,4,6)　ギリシャ○
得点者：足立(1),渡邉(5),井上(1),髙田(1),稲場(2)

4/12　順位決定戦　○日本　(2,5,4,4)　18　－　17　(6,3,7,4)　オランダ●
得点者：足立(2),渡邉(1),鈴木(2),伊達(1),稲場(5),荻原(2),
荒木(1),ローリー(1)

4/13　7-8位決定戦　●日本　(2,2,4,3)　11　－　16　(4,5,3,4)　ドイツ○
得点者：足立(1),渡邉(2),伊達(1),髙田(2),稲場(3),森谷(2)

最終順位

１位 スペイン、２位 ギリシャ、３位 ハンガリー、４位 クロアチア、５位 モンテネグロ、
６位 オランダ、７位 イギリス、８位 日本

②ワールドカップファイナル（女子）2025年4月18日～20日／中国・成都

選手団編成

役　員	監　督	筈井　翔太			
	コーチ	泉尾　麻貴子			
	トレーナー	中澤　萌			
選　手	女　子	稲場　晴香	有馬　優美	稲場　朱里	浦　映月
		河口　華子	設樂　ひかる	砂邊　亜衣	関根　桜彩
		大坪　莉子	西山　風花	井上　萌々	小林　真穂
		野田　茉波	福田　星香		
審　判		宇田川　佑里子			

成績

4/18　準々決勝　●日本　(5,5,4,2)　16　－　24　(6,7,5,6)　オランダ○
得点者：有馬(5),浦(3),河口(3),設樂(1),砂邊(1),西山(1),
小林(1),福田(1)

4/19　順位決定戦　●日本　(4,3,3,7)　17　－　26　(5,8,4,9)　イタリア○
得点者：有馬(4),浦(1),河口(3),関根(1),西山(3),小林(2),福田(3)

4/20　7-８位決定戦　　○日本　(3,4,5,6)　18　－　17　(6,5,5,1)　ドイツ●
得点者：有馬(4),稲場(1),浦(1),河口(3),設樂(1),砂邊(1),
西山(2),井上(1),小林(3),福田(1)

最終順位
１位 ギリシャ、２位 ハンガリー、３位 オランダ、４位 スペイン、５位 オーストラリア、
６位 イタリア、７位 日本、８位 中国

４．ＡＳ強化事業

2025 年は、7 月にシンガポールで開催された世界選手権におけるメダル獲得を最優先目標として強化に取り組んできた。パリオリンピック経験者 4 名が継続して代表に選出された一方で、大幅なメンバーの入れ替えにより、全体的な戦力は低下したが、ジュニア代表を含む若手中心の体制で大会に臨んだ。ロシアの参加が認められた中、チームフリーにおいて銀メダルを獲得したことは大きな成果であり、選手の自信にもつながった。一方で、オリンピック種目であるチームテクニカルは４位、アクロバティックルーティンはベースマークとなったことから 10 位、デュエットテクニカルは４位、デュエットフリーはベースマークの影響により７位と総合的には厳しい結果となった。

また、2025 年の世界ユース選手権では、デュエットで銀メダル、ミックスデュエットで銅メダルを獲得したものの、チームで７位・フリーコンビネーションで６位と、チーム種目においては課題が残る結果となった。上位進出に向けては、高難度の脚技およびアクロバティック動作の完遂度向上が必須である。2026 年のルール改定ではアーティスティックインプレッションの係数見直しが行われ、脚技に加えての上半身の動きの複雑性やパワー、演技構成および表現力といった要素の重要性が一層高まることが見込まれる。2026 年度の代表選考会では、パリオリンピック代表選手のうち、負傷により代表活動を辞退していた 1 名が復帰するとともに、新たに男子選手 1 名が選考された。さらに、アクロ特別強化指定選手を加え、アクロバティック動作の強化を優先課題として代表強化を進めている。あわせて、次世代のアクロバティック強化指定選手も選考し、代表チームとの合同トレーニングを定期的に実施した。加えて、イタリアのアクロバティックコーチの指導を導入し、アクロバティックにおける改善の成果も現れ始めている。2026 年度は、日本で行われるアジア大会において中国との差を縮めることを目標とし、2027 年の世界選手権におけるオリンピック出場枠の獲得を目指す。また、世界ジュニア選手権でのメダル獲得を目標に、次世代の強化を引き続き推進していく。

（１）国際競技会

①ワールドカップ　　2025 年4月 11 日～13 日／エジプト・ソマベイ

選手団編成

役　員	ヘッドコーチ	宮川　美哉			
	コーチ	小野　茜	江口　こころ		
	トレーナー	地神　裕史			
選　手	女　子	比嘉　もえ	佐藤　友花	小林　唄	藤井　萌夏

川瀬　由華　　相高　花帆　　白波瀬　菜桜　内田　桜子
額田　紗子　　熊谷　日奈多　加藤　真帆

審　判　　田中　洋子

Ｔ　Ｃ　　本間　三和子

成績

デュエット　テクニカル（エントリー数：29 チーム　）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	NAB	DOROSHKO Mayya GAYDAY Tatiana	33.00	161.0051	107.0500	268.0551
2	ウクライナ	MOSHYHSKA Daria SHMONINA Anastasiia	30.60	146.2125	115.4000	261.6125
3	カナダ	LAMOTHE Audrey ORTIZ MONTANO Ximena	30.15	142.7400	113.5500	256.2900
4	ドイツ	BLEYER Klara / BLUMENTHAL HAZ Amelie	32.65	143.2892	112.4500	255.7392
5	ＮＡＡ	FFEDARUK Daria KHANDOSHKA Vasilina	34.95	147.1975	108.1000	255.2975
6	日本	比嘉もえ 藤井萌夏	30.75*	134.7068	117.7500	252.4568
7	スペイン	FERRE GASET Txeii LLUIS VALETTE lilou	17.20*	135.1057	117.3000	252.4057
8	ＮＡＡ	DABRAVOLSKAYA Anastasiya MIRONCHYK Aliaksandra	27.55*	138.0975	110.8500	248.9475

デュエット　フリー（エントリー数：23 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	ＮＡＢ	SIDORINA Anastasiia SOKOLOVA Veronika	59.05	141.7388	114.3000	256.0388
2	日本	佐藤　友花 小林　唄	52.25	128.4671	119.6000	248.0671
3	スペイン	LLUIS VALETTE Lilou TIO CASAS Ilis	46.05	110.3830	125.7000	236.0830
4	NAA	FFEDARUK Daria KHANDOSHKA Vasilina	55.45	123.1988	106.2000	229.3988
5	フランス	ALAVEZ Laelys LUNEL Romane	49.75	116.2450	111.5000	227.7450
6	ギリシャ	MALKOGEORGOU Sofia E THANOU Vasiliki	49.05	114.3664	110.7500	225.1164

7	ウクライナ	HRYNISHYNA Mariia HRYNISHYNA Uliana	53.30	115.2408	108.5000	223.7408
8	イタリア	ESEGIO Beatrice VERNICE Flaminia	48.15	110.9301	111.2000	222.1301

チーム　テクニカル（エントリー数：13 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	スペイン		41.95	161.2418	114.9750		276.2168
2	ＮＡＢ		47.12	163.3399	103.1500		266.4899
3	日本	比嘉　佐藤　小林　藤井 川瀬 相高 白波瀬 熊谷	42.90	153.6767	106.8500		260.5267
4	カナダ		39.77	148.3716	108.8000		257.1716
5	ＮＡＡ		42.80	144.5151	99.6000		244.1151
6	イタリア		39.30*	135.8767	105.2500		241.1267
7	カザフスタン		38.82	131.2125	90.0250		221.2375
8	ウクライナ		16.97*	104.2967	108.2500		212.5467

チーム　フリー（エントリー数：10 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	スペイン		61.18	173.2093	144.6000		317.8093
2	日本	比嘉　佐藤　小林　藤井 川瀬 相高 白波瀬 内田	62.53	154.9332	130.5000		285.4332
3	ＮＡＢ		58.70*	149.2447	129.6000	-8	278.8447
4	ＮＡＡ		61.37	143.7051	111.4000		255.1051
5	カザフスタン		37.37*	84.9901	117.9000		202.8901
6	タイ		46.32	90.1413	108.4000		198.5413
7	エジプト		37.60*	82.1702	113.2000		195.3702
8	トルコ		45.02	83.1951	101.4000		184.5951

アクロバティックルーティン（エントリー数：14チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	ウクライナ		22.81	111.5411	88.5500		200.0911
2	イタリア		22.12	102.3763	84.6500		187.0263
3	中国		22.42	99.0288	87.8000		186.8288
4	スペイン		19.52*	91.0588	90.6500		181.7088
5	日本	比嘉　佐藤　藤井　川瀬 相高　額田　熊谷　加藤	18.96*	89.0252	89.6000		178.6252
6	ＮＡＡ		20.01	88.5028	80.5500		169.0528
7	エジプト		18.45	86.2039	79.2500		165.4539
8	スロバキア		18.95	85.3539	71.6000		156.9539

②ワールドカップ　　2025年5月1日～3日／カナダ・マーカム

選手団編成

役　員	ヘッドコーチ	宮川　美哉				
	コーチ	小野　茜	江口　こころ			
	トレーナー	河村　美波				
	スタッフ	松下　広敬				
選　手	女　子	比嘉　もえ	佐藤　友花	小林　唄	藤井　萌夏	
		川瀬　由華	相高　花帆	白波瀬　菜桜	内田　桜子	
		額田　紗子	熊谷　日奈多	加藤　真帆		
審　判		鷲見　朗子				
Ｔ　Ｃ		吉見　萌				

成績

ソロ　テクニカル（エントリー数：22名）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国	XU Huiyan	33.25	147.7116	104.6000	252.3116
2	スペイン	TIO CASAS Iris	30.40	142.9350	103.5500	246.4850
3	オーストリア	ALEXANDRI Vasiliki	33.10	142.9716	101.0000	243.9716
4	日本	比嘉　もえ	32.35	141.6050	97.9000	239.5050
5	ウクライナ	MOSHYNSKA Daria	29.30	132.0533	98.6000	230.6533

6	アルバ	HOEVERTSZ Kyra	33.00	129.3801	93.7000	223.0801
7	カナダ	LAMOTHE Audrey	31.65	127.0384	95.0000	222.0384
8	フランス	TEMESSEK Romane	30.75	130.3142	91.3000	221.6142

チーム　テクニカル（エントリー数：10 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	スペイン		42.95	165.2390	114.2250		279.4640
2	日本	比嘉　佐藤　小林 藤井　川瀬　相高 白波瀬　熊谷	42.85	161.5525	109.8750		271.4275
3	アメリカ		42.50	155.2849	111.3750		266.6599
4	イタリア		43.22	157.0692	108.5250		265.5942
5	フランス		43.30	154.6724	107.4000		262.0724
6	ウクライナ		42.32	152.7324	105.8250		258.5574
7	カナダ		41.30	145.6451	106.2750		251.9201
8	カザフスタン		41.52	141.0233	99.9750		240.9983

チーム　フリー（エントリー数：6 チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	スペイン		61.33	168.7863	144.1500		312.9363
2	日本	比嘉　佐藤　小林 藤井　川瀬　相高 白波瀬　内田	62.43	159.7916	135.2000		294.9916
3	アメリカ		61.62	153.3363	137.8000		291.1363
4	メキシコ		55.07＊	110.3376	130.4000		240.7376
5	カザフスタン		43.42＊	103.0763	126.5500		229.6263
6	チリ		50.72	109.6783	116.6000		226.2783

③ワールドカップファイナル　　2025 年6月 13 日～15 日／中国・西安

選手団編成

役　員 ヘッドコーチ　宮川　美哉

	コーチ	小野　茜	江口　こころ		
	トレーナー	畠中　柚佳			
選　手	女　子	比嘉　もえ	佐藤　友花	小林　唄	藤井　萌夏
		川瀬　由華	相高　花帆	白波瀬　菜桜	内田　桜子
		額田　紗子	熊谷　日奈多	加藤　真帆	
審　判		山田　智子			
Ｔ　Ｃ		本間　三和子			

成績

ソロ　テクニカル（エントリー数：12チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国	XU Huiyan	33.35	149.5933	109.2000	258.7933
2	スペイン	TIO CASAS Iris	31,40	142.4550	106.9000	249.3550
3	NAA	KHANDOSHKA Vasilina	37.40	144.9900	103.3000	248.2900
4	ドイツ	BLEYER Klara	33.90	143.3301	102.7500	246.0801
5	日本	比嘉　もえ	32.35	138.6950	100.6500	239.3450
6	カザフスタン	MAGRUPOVA Karina	32.75	134.5917	94.2000	228.7917
7	アルバ	HOEVERTSZ Kyra	33.00	132.4550	95.0500	227.5050
8	ギリシャ	KARANGELOU Zoe	34.10	133.6867	90.7000	224.3867

デュエット　テクニカル（エントリー数：11チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国	LIN Yanhan LIN Yanjun	34.80	167.2650	122.3500	289.6150
2	日本	比嘉もえ 佐藤友花	35.35	161.4809	119.9500	281.4309
3	スペイン	FERRE GASET Txeii LLUIS VALETTE lilou	33.00	157.4575	120.3500	277.8075
4	メキシコ	ARELLANO GERMES Maria F GONZALEZ CUELLARI	34.70	155.4032	111.8500	267.2532
5	ＮＡＡ	FFEDARUK Daria KHANDOSHKA Vasilina	34.95	152.5967	111.1500	263.7467
6	カザフスタン	PUSHKINA Arina TUYAKOVA Dayana	32.60	129.6233	107.0000	236.6233
7	ウズベキスタン	MAKHMUDOVA Sabina TOSHKHJAEVA Ziyodakhon	28.85	131.5308	98.5000	230.0308

8	シンガポール	CHONG Yvette Ann SOH Debbie	17.00＊	120.4350	103.6500	224.0850

デュエット　フリー（エントリー数：11チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	中国	LIN Yanhan LIN Yanjun	53.17	140.7442	125.4000	266.1442
2	スペイン	LLUIS VALETTE Lilou TIO CASAS Ilis	52.05	133.2825	127.6500	260.9325
3	日本	佐藤　友花 小林　唄	55.60	136.1638	122.6000	258.7638
4	メキシコ	ARELLANO GERMES Maria F GONZALEZ CUELLARI	59.60	137.3647	108.4500	245.8147
5	ギリシャ	MALKOGEORGOU Sofia E THANOU Vasiliki	54.10	129.9933	110.5000	240.4933
6	ＮＡＡ	FFEDARUK Daria KHANDOSHKA Vasilina	43.3＊	101.5075	113.8500	215.3575
7	ジョージア	ALAVIDZE Maria NATOBADZE Nita	48.75	100.9743	105.1000	206.0743
8	シンガポール	LEE Kiera SOH Debbie	40.65	83.9818	99.7000	183.6818

チーム　テクニカル（エントリー数：９チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	中国		44.3＊	156.4508	120.7750		277.2258
2	スペイン		43.00	159.3908	116.7500		276.1408
3	日本	比嘉　佐藤　小林 藤井　川瀬　相高 白波瀬　熊谷	43.60	154.6916	107.8250		262.5166
4	NAA		44.25	145.4524	99.9750		245.4274
5	ギリシャ		41.72	141.7283	100.6250		242.3533
6	オーストラリア		39.65	130.5219	97.4000		227.9219
7	ハンガリー		37.42	121.7701	89.4500		211.2201
8	シンガポール		32.57	118.8667	92.1250		210.9917

チーム　フリー（エントリー数：７チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	中国		67.40	176.5538	147.8000		324.3538
2	日本	比嘉　佐藤　小林 藤井　川瀬　相高 白波瀬　内田	67.45	171.7788	138.3000		310.0788
3	スペイン		61.68	162.5859	145.9000		308.4859
4	メキシコ		64.20	159.1725	131.2500	-8	282.4225
5	NAA		61.67	144.8951	123.5500		268.4451
6	カザフスタン		54.17＊	119.8913	123.9000		243.7913
7	ハンガリー		32.77＊	56.5876	107.9000		164.4876

アクロバティックルーティン（エントリー数：９チーム）

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	得点
1	中国		24.33	132.9430	100.1000		233.0430
2	スペイン		23.50	121.6074	97.6500		219.2574
3	メキシコ		23.42	118.0038	91.2000		209.2038
4	日本	比嘉　佐藤　藤井 川瀬　相高　内田 熊谷　加藤	22.27	107.9476	91.2000		199.1476
5	カザフスタン		19.4＊	93.8501	86.1500		180.0001
6	ＮＡＡ		17.36＊	84.2685	85.5000		169.7685
7	ギリシャ		18.15＊	80.6826	85.0000		165.6826
8	シンガポール		16.80	69.3251	74.9000		144.2251

④ユース世界選手権　　2025年8月26日～30日／ギリシャ・アテネ

選手団編成

役　員　ヘッドコーチ　川合　真与
　　コーチ　　水品　眞佐代　石山　加壽美
　　総　務　　小野　祥子
　　ドクター　　石垣　佳織
選　手　男　子　　相高　平蔵

女　子	宮崎　華歩	榊　眞理	福田　汐理	藤田　夏帆
	渥美　結依子	井手　琴菜	深井　菜瑠美	田所　新菜
	松田　莉歩			
審　判	本間　三和子			
Ｔ　Ｃ	吉見　萌			

成績

ソロ（エントリー数:35 チーム）

順位	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	RT 得点	決勝順位	予選順位	FIGURE	最終得点
10	日本	福田 汐理	35.35＊	104.4517	92.7500		197.2017	＊11	3	127.2218	324.4235

男子ソロ　（エントリー数：15 チーム）

8	日本	相高 平蔵	38.15＊	106.9266	91.4000		198.3266	＊7	5	110.1382	308.4648

デュエット　（エントリー数：34 チーム）

2	日本	宮崎 華歩 榊　眞理	46.65	112.5712	82.0000		194.5712	2	4	108.0323	302.6035

ミックスデュエット　（エントリー数：16 チーム）

3	日本	渥美結依子 相高平蔵	36.33	111.5426	125.8000		237.3426	3	＊6	118.3165	355.6591

チーム　（エントリー数：22 チーム）

7	日本	宮崎 榊 福田 藤田 相高 深井 田所 松田	43.05	135.9409	94.4000		230.3409	＊7	5	135.6739	366.0148

フリーコンビネーション　（エントリー数：20 チーム）

6	日本	宮崎 榊 福田 藤田 渥美 相高 井手　深 井　田所	55.125＊	169.3732	127.0000	-0.5	295.8732	＊6	3

⑤スロバキアシンクロ　　2025年11月28日～30日／スロバキア・ブラチスラバ

選手団編成

役　員　コーチ	川合　真与	石山　加壽美	
選　手　女　子	吉田　梨央	山本　薫	冨島　ひかり
審　判	小野　祥子		

成績

ソロ　（エントリー数：32名　）YOUTH15 and Under

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	RT得点	FIGURE	最終得点
1	日本	山本　薫	42.25	112.8633	88.6500		201.5133	119.0109	320.5242
2	カザフスタン	MATVEYEVA VALERIYA	35.45	103.4300	83.7000		187.1300	114.2400	301.3700
3	日本	吉田　梨央	27.35＊	76.0800	89.2000		165.2800	122.4242	287.7042
4	ポーランド	Szulc Adrianna	33.25＊	93.6600	80.8500		174.5100	112.7758	287.2858
5	ドイツ	Krochmal Ellada	32.00	85.6467	82.5000		168.1467	113.5805	281.7272
6	クロアチア	Petrovic Helena	26.95＊	74.4150	88.3500		162.7650	117.2946	280.0596

デュエット　（エントリー数：30チーム）YOUTH15 and Under

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	Pen	RT得点	FIGURE	最終得点
1	ポーランド	KASPRZYK ŁUCJA KASPRZYK MATYLDA	45.65	103.4412	72.9000		176.3413	114.1169	290.4582
2	日本	山本　薫 冨島ひかり	41.40	90.9504	72.9000		163.8504	102.5987	266.4491
3	カザフスタン	SAIM AIYM SAIM NAZYM	33.75	71.3762	75.0500		146.4263	102.9721	249.3984
4	エジプト	Dawood Gamila Farid Hanah	33.55＊	70.0750	69.5000		139.5750	103.3964	242.9714
5	ポーランド	KARDAŚ HANNA MIANOWSKA AMELIA	31.00	63.4113	69.2000		132.6113	98.9968	231.6081
6	チェコ	Čarvašová Petra Plachá Daniela	33.30	65.2533	62.9000		128.1533	88.4800	216.6333

５．ＯＷＳ強化事業

2025 年度はシンガポールにおいて世界選手権が開催され、10km における目標は「女子 13 位以内、男子 20 位以内」としていたが、これを大きく上回る「女子８位、男子 11 位」という結果を収めた。女子は、世界選手権初入賞、男子も過去最高タイの順位となった。さらに、同大会において女子選手が５km で銅メダル、３km ノックアウトスプリントで金メダルを獲得するなど、顕著な成果を挙げた。これらの結果は競泳委員会との連携強化事業および暑熱対策が実を結んだと考える。一方で、スタッフが設定した目標と結果に乖離が生じていることから、現状分析が十分でなかった可能性が示唆される。想定を上回る結果であった点は評価できるが、この差異を真摯に受け止め、客観的データに基づく現状分析と適切な目標設定を行う体制の強化が必要であると感じる。

今後は、強化現場で得られる情報を体系的に整理し、世界選手権においてメダルを獲得するために必要な競技力の要素をまとめ、次世代へと継承していく必要がある。また、ここから先、オリンピックにおいてメダルを獲得するにはどの程度の力が必要であるかも情報収集と分析を進める必要がある。ＯＷＳのトップ選手は、強豪国の選手や国籍を越えて共にトレーニングを行う選手、いわゆる「ＯＷＳファミリー」に属する選手が多い。ＯＷＳファミリーに入るために海外のコーチおよび選手との積極的なコミュニケーションを通じて国際的なネットワークを構築し、10km でメダルを獲得するために必要な条件を整理することが急務である。

ジュニア強化事業については、これまで２年に１度開催される世界ジュニア選手権に派遣していたが、今年度より毎年国際大会へ派遣できる体制へと見直した。今年度はパンパシフィック諸国による合同合宿および大会への派遣を実施した。ジュニア期から海外のＯＷＳ選手と交流を持つことで、ＯＷＳファミリーに入りやすくすることを狙いとした。その結果、その後に派遣した全豪選手権においてもジュニア選手が好成績を収めており、世界で戦うためには海外コミュニティーへの参画が重要であることが改めて示された。

（１）国際競技会

①ワールドカップ　2025 年４月 25 日・26 日／スペイン・イビザ（27 日スペイン選手権）

選手団編成

役　員	ヘッドコーチ	太田　伸		
	コーチ	谷川　誠		
選　手	男　子	辻森　魁人	高木　陸	
	女　子	梶本　一花	蝦名　愛梨	

成績

【男子】

種目	氏名	順位	タイム	1 位との差
10km	辻森　魁人	36 位	1 時間 52 分 22 秒 80	1 分 51 秒 80
	高木　陸	－	DNF	－
５ｋｍ	辻森　魁人	６位	52 分 42 秒 4	8 秒 20
	高木　陸	14 位	53 分 27 秒 50	53 秒 30
3km ノックアウトスプリント	辻森　魁人	予選 17 位	16 分 15 秒 20	7 秒 80
	高木　陸	予選 20 位	16 分 20 秒 70	13 秒 20

【女子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	梶本　一花	14位	1時間59分03秒60	12秒10
	蝦名　愛梨	29位	2時間03分01秒20	4分19秒80
５ｋｍ	梶本　一花	1位	58分39秒10	―
	蝦名　愛梨	14位	59分27秒30	48秒20
3km ノックアウトスプリント	梶本　一花	予選1位	17分40秒50	―
		準決勝３位	11分13秒80	1秒00
		決勝３位	5分22秒20	3秒70
	蝦名　愛梨	予選３位	19分02秒20	13秒20
		準決勝20位	13分08秒10	17秒80

②ワールドカップ　　2025年６月14日・15日／ポルトガル・セチュバル

選手団編成

役　員　ヘッドコーチ　太田　伸
　　コーチ　谷川　誠
選　手　男　子　辻森　魁人　高木　陸
　　女　子　梶本　一花　蝦名　愛梨

成績

【男子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	辻森　魁人	26位	1時間56分05秒7	2分37秒60
	高木　陸	－	DNF	－
3km ノックアウトスプリント	辻森　魁人	予選８位	17分56秒80	4秒80
		準決勝16位	11分54秒10	18秒00
	高木　陸	予選10位	17分57秒30	5秒40
		準決勝14位	11分47秒70	11秒60

【女子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	梶本　一花	19位	1時間56分35秒90	2分56秒20
	蝦名　愛梨	21位	1時間59分04秒40	5分24秒70
3km ノックアウトスプリント	梶本　一花	予選1位	18分59秒90	―
		準決勝1位	13分06秒30	―
		決勝1位	6分41秒60	―
	蝦名　愛梨	予選4位	19分02秒20	2秒20
		準決勝4位	13分08秒10	1秒70
		決勝8位	6分53秒90	12秒30

③ジュニア強化遠征　　2025年10月25日／オーストラリア・サンシャインコースト

選手団編成

役　員　ヘッドコーチ　太田　伸
　　コーチ　　馬場　康博
選　手　男　子　　中川　太芯　　内村　弥路
　　女　子　　奥園　心咲　　谷　清美

成績

【男子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	内村　弥路	４位	1時55分18秒80	4分22秒80
7.5km	中川　太芯	1位	1時23分49秒80	―

【女子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	奥園　心咲	２位	2時間 00分50秒60	9秒50
	谷　清美	５位	2時間04分43秒10	3分 57秒00

④全豪選手権　　2026年1月22日～25日／オーストラリア・クーンバナ・ベイ

選手団編成

役　員　コーチ　　太田　伸　　馬場　康博
選　手　男　子　　中川　太芯　　内村　弥路
　　女　子　　梶本　幸花　　谷　清美

成績

【男子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	中川　太芯	７位	1時間54分22秒80	2分41秒30
	内村　弥路	14位	1時間57分59秒00	6分17秒50
５km	中川　太芯	11位	59分00秒80	2分11秒80
	内村　弥路	11位	59分00秒80	2分11秒80
3kmノックアウトスプリント	中川　太芯	予選14位	17分39秒50	13秒60
		準決勝14位	11分54秒90	25秒00
	内村　弥路	予選２位	17分26秒60	0秒70
		準決勝13位	11分51秒50	21秒60

【女子】

種目	氏名	順位	タイム	1位との差
10km	梶本　幸花	３位	1時間59分56秒80	4分57秒50
	谷　清美	５位	2時間01分19秒70	6分20秒40
５km	梶本　幸花	２位	58分49秒70	6秒10
	谷　清美	５位	1時間01分03秒10	2分19秒50

３km ノックアウトスプリント	梶本　幸花	予選３位	18 分 12 秒 60	7 秒 10
		準決勝３位	12 分 22 秒 60	8 秒 10
		決勝４位	6 分 16 秒 80	13 秒 60
	谷　清美	予選５位	18 分 48 秒 80	43 秒 30
		準決勝 10 位	12 分 51 秒 60	37 秒 10
		決勝８位	6 分 24 秒 30	21 秒 1

【リレー】

氏名	順位	タイム	1 位との差
梶本・谷・内村・中川	３位	1 時間 01 分 14 秒 10	1 分 7 秒 70

６．科学事業

競泳の国内主要大会において、競泳委員会および日本スポーツ振興センターと連携し、科学サポートとしてレース分析ならびにレース映像の提供を実施した。分析結果のネット公開に加え、競技会において LINE を活用した映像およびデータ配信を行い、競技力向上を目的としたデータの普及・啓発を推進した。また、競泳委員会と連携した合宿サポートとして、エリート小学生合宿およびナショナル合宿における科学サポートを実施した。さらに、レース分析の全国普及を図る取り組みの一環として、「わた SHIGA 輝く国スポ」会場において、固定カメラ映像の撮影およびパンニング映像の自動撮影に関するテストトライアルを実施した。撮影映像は各都道府県の科学委員に向けて配信を行った。

飛込、水球、AS、OWS の各競技については、各委員会と連携し、日本選手権などの全国大会や合宿・研修会におけるサポートを実施した（飛込：日本選手権および翼ジャパン、水球：各種国際競技会、AS：日本選手権、OWS：日本選手権ほか）。

会議活動として、2025年日本水泳・水中運動学会年次大会（10月24～26日、日本水泳水中運動学会主催・中京大学共催・本連盟後援、対面開催）において運営協力を行った。また、広報活動として、同学会大会において学会賞を受賞した研究の情報を「月刊水泳」に掲載したほか、各競技における科学サポートや関連トピックスについても寄稿し、掲載した。

専門委員会の会議活動としては、年間10回、オンライン会議を開催し、部門別の小会議も適宜開催した。重点実施項目の確認や各事業の実施経過報告に関する情報共有に加え、サポート事業に関する意見交換を行い、内容の充実を図った。

７．医事事業

（１）競技会救護活動：国内主要大会へ救護医師の派遣および医薬品の配備を行った。

（２）国際大会における医事運営への協力：世界選手権、ワールドユニバーシティゲームズ、世界ジュニア選手権（競泳）、世界ユース選手権（ＡＳ）、アジア選手権、ジュニアブロック遠征に帯同医師、トレーナーの派遣を行った。
愛知・名古屋アジア大会に向けた医事運営の準備作業を開始した。

（３）会議活動：2025 年５月 31 日に日本水泳ドクター会議総会・水と健康医学研究会（品川インターシティ貸会議室）、11 月８日に水泳競技メディカルサポート研究会（NTC EAST 研修室）をどちらもオンライン形式併用で開催した。

（4）教育啓発活動：各種研修会への講師派遣、（公財）日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツドクター、JSPO 公認スポーツデンティスト、AT 養成講習会への受講者推薦を行った。
（5）アンチ・ドーピング活動：アンチ・ドーピング委員会と協力して、アンチ・ドーピング活動を推進した。
（6）脳振盪ワーキンググループ：動画資材を制作し、地域指導者委員会の協力を得て各加盟団体に周知を行った。
（7）WHP（Woman's Health Project for Japanese Swimmers）：アスリート委員会および競技力向上コーチ委員会と連携して講習会プログラムを作成するとともに、地域指導者委員会の研修会に講師を派遣した。日本水泳連盟ホームページに動画教材、教育用資材を掲載した。
（8）暑熱問題対策：近年の温暖化に伴う水泳環境への影響を踏まえ、競技会運営および練習環境における安全対策の構築に向け、情報収集および研究活動に着手した。

8．アンチ・ドーピング事業

（1）主催・主管大会でのドーピング検査事業

（公財）日本アンチ・ドーピング機構（JADA)と連携し、以下の主催大会においてドーピング検査（競技会検査）を実施した。スムーズな検査を実施するため、国内競技団体（NF）代表役員を競技会場に派遣した。なお、検査対象者は JADA および日本スポーツフェアネス推進機構の計画に沿って決定された。

・第101回日本選手権水泳競技大会（競泳、飛込、水球、AS、OWS 競技）
・第67回日本選手権(25m)水泳競技大会
・第101回日本学生選手権水泳競技大会（競泳競技）
・第79回国民スポーツ大会 滋賀（競泳競技）

（2）世界記録・世界ジュニア記録認定のためのドーピング検査実施

今年度は国内において、多くの世界ジュニア新記録が樹立された。新記録認定には競技成立後24時間以内のドーピング検査が必要であることから、地方大会における新記録発生時には事前準備が重要となる。JADA と連携し、新記録発生時にスムーズな検査が実施できるよう事前準備を行った。

（3）その他の事業

①ホームページ掲載資料作成および治療使用特例（TUE）書類審査

・本連盟ホームページおよび競技会掲載用のアンチ・ドーピング資料を作成した
・全国大会出場選手から国際大会出場選手を対象とした内容とした
・JADA からの通達事項を本連盟ホームページに掲載し、注意喚起を行った
・TUE 申請に際し、選手およびサポートスタッフからの相談に対応し、アドバイスを行った

②強化合宿・研修会などへの講師派遣

・連盟強化合宿およびコーチ研修会等において、アンチ・ドーピング講習会を行った

・派遣講師は原則として JADA 承認クリーンスポーツ Educator 資格保有者とした

４月３日	ブルボンウォーターポロクラブ柏崎
４月12日	春季強化コーチ会議（競泳競技）
４月27日	春季エリート小学生オンライン研修会（競泳競技）
４月30日	世界水泳・WUG・世界 Jr 代表向け研修会（競泳，飛込，水球，ＯＷＳ競技）
６月22日	世界水泳代表向け研修会（AS 競技）
７月９日	世界水泳代表向け研修会（OWS 競技）
８月９日	学生選手権シード校（中京大学）
11月１日	コーチ4養成講習会
11月13日	水球代表向け（AQUA RTP/TP）
12月17日	ナショナル合宿（中学生）
12月17日	ナショナル合宿（高校生）
12月23日	強化指定選手および対象選手のサポートスタッフ
１月30日	インターナショナル・ジュニアエリート突破選手・コーチ（競泳競技）
２月18日	学連選抜合宿参加者
３月23日	水球 U17研修合宿

③競技会へのスポーツファーマシストの派遣

以下の競技会にスポーツファーマシストを派遣し、出場選手およびコーチを対象としたアンチ・ドーピングのアウトリーチ活動ならびに薬の使用についての相談対応を目的としたブースを設置した。

・第101回日本選手権水泳競技大会（競泳、水球、AS 競技）
・ジャパンオープン2025
・第101回日本学生選手権水泳競技大会（競泳競技）
・AS チャレンジカップ
・第48回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 （競泳、AS 競技）
・第48回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 （競泳、水球競技）
・第79回国民スポーツ大会 滋賀（競泳競技）

④JADA 会議への NF 代表役員としての参加

・年数回開催される JADA の連絡会議等に参加し、最新情報の収集に努めた

⑤JSPO 公認水泳コーチ研修会への講師派遣

・コーチ４養成講習会において、アンチ・ドーピングに関する講義を実施した

⑥スポーツファーマシストによる医薬品相談・ホットライン体制

・本連盟ホームージ上に医薬品使用可否に関する相談窓口を設置し、年間約200件の問い合わせに対応した

⑦JADA 承認クリーンスポーツ Educator の養成

・NF 主催のアンチ・ドーピング講習の担当講師は JADA 承認クリーンスポーツ Educator であることが求められている。アンチ・ドーピング委員から選抜し、JADA の研修会に参加し、複数名のクリーンスポーツ Educator を登録した

⑧学術活動

・第27回水と健康医学研究会にて上記活動③を検討し、演題「薬物相談事例の分析に基づ

く効果的なアンチ・ドーピング活動の検討」と「ジュニアオリンピック出場選手と日本選手権出場選手における目標意識の違い」を発表した

≪合宿関係≫

Ⅰ 国内合宿

（1）競　泳

① ジュニア研修合宿 （ブロック別合宿）

ブロック	期間	場所	スタッフ(名)	選手(名)	計(名)
北海道	12/23～28	函館市民プール	5	35	40
東北	12/16～21	新青森県総合運動公園：マエダアリーナ	16	57	73
北関東	12/16～21	栃木県立温水プール館	11	45	56
南関東	12/17～22	千葉県国際総合水泳場	6	40	46
東京	12/21～26	東京アクアティクスセンター	10	53	63
北信越	12/17～22	ダイエープロビスフェニックスプール	6	30	36
東海	12/20～25	静岡県立水泳場	11	48	59
近畿	12/24～29	秋葉山公園県民水泳場	7	23	30
中国	12/19～24	山口きらら博記念公園水泳プール	8	25	33
四国	12/22～27	くろしおアリーナ	5	27	32
九州	12/20～25	パーソルアクアパーク宮崎	9	32	41
		（計）	94	415	509

② エリート小学生合宿

春季	4/27	オンライン	35	38	73
秋季	9/19～22	ナショナルトレーニングセンター	31	30	61

③ ジュニア世界選手権合宿

第 1 回	5/3～6	ナショナルトレーニングセンター	6	8	14
第 2 回	7/25～8/2	ナショナルトレーニングセンター	9	10	19

④ ナショナル強化合宿

中学生	12/12～21	三重県営鈴鹿スポーツガーデン	33	68	101
高校生	12/13～21	ナショナルトレーニングセンター	22	40	62

⑤ 世界選手権合宿

第 1 回	4/25～5/6	ナショナルトレーニングセンター 東京アクアティクスセンター／	20	33	53
第 2 回	6/4～10	海の森水上競技場	14	33	47
第 3 回	7/21～23	ナショナルトレーニングセンター	15	32	47

⑥ ワールドユニバーシティゲームズ合宿

第　1　回	4/19～24	ナショナルトレーニングセンター	17	32	49
第　2　回	6/26～7/1	東京アクアティクスセンター／海の森水上競技場	13	32	45
第　3　回	7/7～12	国立スポーツ科学センター／ナショナルトレーニングセンター	14	32	46

⑦　自由形リレー強化合宿

	11/8～16	ナショナルトレーニングセンター	15	25	40

⑧　インターナショナル強化合宿

第　1　回	11/8～16	ナショナルトレーニングセンター	19	42	61
第　2　回	11/30～12/21	GMO アスリーツパーク湯の丸／ナショナルトレーニングセンター	18	21	39
第　3　回	12/12～20	ナショナルトレーニングセンター	21	40	61

⑨　パンパシフィック・アジア大会合宿

	3/22～27	ナショナルトレーニングセンター	24	36	60

（2）飛　込

①　ジュニア強化合宿

第　1　回	12/24～26	インフロニア草津アクアティクスセンター	10	10	20
第　2　回	2/20～23	インフロニア草津アクアティクスセンター	4	5	9

②　ワールドユニバーシティゲームズ合宿

	6/30～7/3	インフロニア草津アクアティクスセンター	4	8	12

③　世界選手権合宿

	6/30～7/3	インフロニア草津アクアティクスセンター	5	8	13

④　ナショナル強化合宿

	2/20～3/2	インフロニア草津アクアティクスセンター	5	6	11

（3）水　球

①　男女U16 研修合宿

	12/27～29	倉敷市屋内水泳センター	10	47	57

②　男女U17 研修合宿

	3/22～25	新潟県立柏崎アクアパーク	8	47	55

③　男子国内強化合宿

第　1　回	6/18～7/3	国立スポーツ科学センター	10	18	28

第 2 回	9/25～10/2	国立スポーツ科学センター	7	14	21

④ 女子ワールドユニバーシティゲームズ合宿

第 1 回	6/28・6/29	国士舘大学	6	13	19
第 2 回	7/9～13	日本体育大学健志台プール	7	13	20

⑤ 女子国内強化合宿

第 1 回	6/19～25	国立スポーツ科学センター	8	22	30
第 2 回	6/30～7/5	インフロニア草津アクアティクスセンター	6	20	26
第 3 回	9/28～10/2	国立スポーツ科学センター	7	15	22
第 4 回	2/10～16	国立スポーツ科学センター／国士舘大学／秀明大学	7	21	28

（4）アーティスティックスイミング

① ユース世界選手権合宿

第 1 回	5/9～12	国立スポーツ科学センター	8	10	18
第 2 回	5/27～6/1	国立スポーツ科学センター	11	10	21
第 3 回	6/20～23	国立スポーツ科学センター	8	10	18
第 4 回	7/4～6	国立スポーツ科学センター	6	10	16
第 5 回	7/20～26	国立スポーツ科学センター	12	10	22
第 6 回	7/29～8/3	国立スポーツ科学センター	16	10	26
第 7 回	8/6～11	国立スポーツ科学センター／宮城県総合運動公園	11	10	21
第 8 回	8/16～22	国立スポーツ科学センター	15	10	25

② ユース世界選手権デュエット・ミックスデュエット合宿

第 1 回	5/19～20・5/25	国立スポーツ科学センター	1	2	3
第 2 回	6/11～13・6/25	国立スポーツ科学センター	3	4	7
第 3 回	6/15	横浜国際プール	2	3	5
第 4 回	7/9・7/11・7/17	筑波大学	1	2	3
第 5 回	7/12～15	国立スポーツ科学センター	1	2	3
第 6 回	8/5・8/14	国立スポーツ科学センター	1	2	3

③ アジア選手権合宿

	9/4～30の間延11日	日本ガイシアリーナ	1	1	2

④ ユース有望選手強化合宿

	9/13～15	国立スポーツ科学センター	27	28	55

⑤ ユースエリート選手強化合宿

第 1 回	10/11～13	国立スポーツ科学センター	24	12	36

第　2　回	11/1～3	国立スポーツ科学センター	24	12	36
第　3　回	12/19～21	国立スポーツ科学センター	30	12	42

⑥　世界選手権合宿

第　1　回	4/1～6	国立スポーツ科学センター	14	11	25
第　2　回	4/15～16	国立スポーツ科学センター	7	10	17
第　3　回	4/20～28	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	17	11	28
第　4　回	5/4～5	国立スポーツ科学センター／東京アクアティクスセンター	6	11	17
第　5　回	5/11～27	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	16	11	27
第　6　回	5/31～6/9	国立スポーツ科学センター／東京アクアティクスセンター	14	11	25
第　7　回	6/19～7/1	国立スポーツ科学センター	30	11	41
第　8　回	7/4～12	国立スポーツ科学センター	13	11	24

⑦　ナショナル強化合宿

	8/12～14	国立スポーツ科学センター	13	8	21

⑧　最終選考合宿

	10/4～13	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	14	20	34

⑨　ワールドカップ強化合宿

第　1　回	10/25～31	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	10	12	22
第　2　回	11/9～20	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	15	12	27
第　3　回 第1組	11/28～29	インフロニア草津アクアティクスセンター	2	6	8
第　3　回 第2組	11/29～30	国立スポーツ科学センター	2	6	8
第　4　回 第1組	12/6～7	インフロニア草津アクアティクスセンター	2	6	8
第　4　回 第2組	12/6～7	国立スポーツ科学センター	2	6	8
第　5　回	12/13～24	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	13	12	25
第　6　回	1/4～21	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	19	12	31
第　7　回	1/26～2/3	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	16	12	28

第　8　回	2/9～24	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	19	12	31
第　9　回	3/4～15	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	18	12	30
第　10　回	3/21～31	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	20	12	32

⑩　アクロバティック強化合宿

第　1　回	10/25～28・10/31・11/9・11/5・11/19	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	3	3	6
第　2　回	12/21～22	国立スポーツ科学センター	3	4	7
第　3　回	1/4～7	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	3	2	5
第　4　回	1/12～13・1/15	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	3	4	7
第　5　回	1/26～28	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	4	4	8
第　6　回	2/14～15	国立スポーツ科学センター／野沢バズーカ	9	9	18

⑪　男子特別強化合宿

第　1　回	12/19～22	国立スポーツ科学センター	4	1	5
第　2　回	1/26～27	国立スポーツ科学センター	3	1	4

（5）オープンウォータースイミング

①　世界選手権暑熱順化合宿

6/23～7/7	日本体育大学／日本大学	3	3	6

②　世界選手権合宿

7/7～10	ナショナルトレーニングセンター	4	3	7

③　ナショナルチーム合宿

第　1　回	12/1～24	GMO アスリーツパーク湯の丸／館山市北条海岸	9	10	19
第　2　回	12/1～11	ナショナルトレーニングセンター	1	1	2

④　全豪選手権合宿

1/15～19	ナショナルトレーニングセンター	4	4	8

⑤　大学生合宿

1/31～2/4	ナショナルトレーニングセンター	5	8	13

≪日本スポーツ振興センター業務委託事業≫

（1） 競　泳

①　課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム

Ⅱ 海外合宿

（1）競　泳	役員	選手	計
①　世界選手権海外高地合宿			
6/10～7/6　スペイン・シエラネバタ	5	12	17
②　五輪候補個別合宿			
2/3～3/4　スペイン・シエラネバタ	3	2	5
（2）飛　込			
①　MA個別合宿			
1/23～2/14　オーストラリア・ブリスベン	1	1	2

≪国際交流関係≫

Ⅰ．AQUA 関係事業

（1）コングレス　（7/29：シンガポール）	鈴木　大地	齋藤　由紀
	村松　さやか	
（2）競　技　会		
世界選手権　（7/11～8/3：シンガポール）	鈴木　大地	金戸　幸
	黒田　克己	朝原　史子
	市川　伊興	
水球女子ワールドカップ　ファイナル		
（4/18～20：中国・成都）	黒田　克己	
水球女子 U20 世界選手権		
（8/10～16：ﾌﾞﾗｼﾞﾙ･ｻﾙﾊﾞﾄﾞｰﾙ）	黒田　克己	
OWS ワールドカップ		
（10/10・11：ｲﾀﾘｱ・ｺﾞﾙﾌｫｱﾗﾝﾁ）	市川　伊興	

Ⅱ．Asia Aquatics（アジア水泳連盟）関係事業

（1）コングレス　（7/27：シンガポール）	鈴木　大地	齋藤　由紀
	村松　さやか	
（2）理　事　会　（5/11：クウェート）	鈴木　大地	
（3）競　技　会		
アジア選手権　（9/28～10/11：ｲﾝﾄﾞ･ｱｰﾒﾀﾞﾊﾞｰﾄﾞ）	鈴木　大地	金戸　幸
	黒田　克己	朝原　史子
水球 U18 アジア選手権		
（3/9～15：ﾏﾚｰｼｱ・ｸｱﾗﾙﾝﾌﾟｰﾙ）	黒田　克己	

Ⅲ．パンパシフィック関係事業

（1）チャーターネーション会議			
（4/17・9/19：オンライン）	村松　さやか	緒方　茂生	原　怜来
（11/4・20：オンライン）	村松　さやか	緒方　茂生	

Ⅳ．派遣および招聘事業

（１）総合大会

世界選手権　（７/11～８/３：シンガポール）

競泳	鈴木　渓介	
水球	黒崎　千智	
ＡＳ	山田　智子	
ＯＷＳ	原　怜来	

FISU ワールドユニバーシティゲームズ　（７/17～26：ドイツ・ラインルール）

水球	宇田川　佑里子	

アジアユースゲームス　（10/27～30：バーレーン）

競泳	市川　伊興	緒方　茂生

SEA Games　（12/９～20：タイ・バンコク）

水球	黒田　克己	宇田川　佑里子
ＡＳ	本間　三和子	鷲見　朗子

（２）競技大会

・水球

女子 U20 世界選手権　（８/10～16：ブラジル・サルバドール）　宇田川　佑里

・ＡＳ

カザフスタン選手権　（５/7～11：カザフスタン・アルマトイ）　本間　三和子

（３）その他

世界選手権視察　（７/11～８/３：シンガポール）

八塚　明憲　内田　孝太郎　鈴木　寿啓　能町　悠嗣

鈴木　紗也子

韓国審判クリニック講師　（12/６・７・13・14：韓国・ソウル）

高橋　聖一　金戸　恵太　川原山　由香　西原　明日美

競泳アメリカ視察

（10/９～16：アメリカ各地）　倉澤　利彰

飛込コーチクリニック

（10/２～４：インド・アーメダバード）　茶木　康寛

水球コーチクリニック講師

（10/12～14：インド・アーメダバード）　塩田　義法

水球欧州視察

（１/21～２/10：欧州各地）　塩田　義法

（２/23～３/10：欧州各地）　筈井　翔太

ＡＳアクロバティックコーチ招聘

（11/16・12/20・１/８・２/20：オンライン）　Pantaleoni Aldo

（３/９～14：日本・東京）　Pantaleoni Aldo

ＡＳワールドカップ プラクティスジャッジ派遣

（３/27～29：フランス・パリ）　滝田　理絵子

OWS 海外コーチ講習会

（７/２：オンライン）　Fabrizio　Antonelli

Ⅲ　競技運営推進事業（競技大会開催事業）

2025 年度は、日本水泳連盟創立 100 周年を迎えて示された新たなアクションプランを踏まえて、更なる競技大会の充実を目指した。「する」・選手が最高のパフォーマンスができる環境づくりを最優先に、「みる」・魅力ある競技会を行うことで、水泳ファンを拡大し、会場に来てくれる子どもたちを含めた観客を増やすために「ささえる」・関係者、競技役員が一丸となって AQUA CREW として高いレベルの競技大会を目指して取り組んだ。競泳・飛込・水球・AS・OWS それぞれが総力を挙げて、全ての競技大会を計画に沿って実施した。

また、それぞれの競技において、全国規模の競技会を本連盟本部役員・派遣競技役員、開催地の実行委員会、加盟団体競技役員が連携して競技運営に当たり、成功に導くことができた。参加された全ての選手の健闘をたたえるとともに、関係各位のご協力に心から感謝申し上げたい。

１．国内競技開催事業

2025 年度、第 101 回日本選手権水泳競技大会競泳競技は、東京アクティクスセンター（TAC）を会場として３月 19 日からアジア大会代表選考会・パンパシフィック代表選考会を兼ねて４日間実施された。今回も翼ジャパンダイビングカップとの共催とした。世界ジュニア記録４，日本新記録５，学生新記録５，高校新記録 10 という大変すばらしい結果を生み出すことができた。また、未来を担う子どもたちに将来の夢や目標を持つきっかけとしてもらいたいという願いのもと、Challenge Swim Ceremony を３月 20 日・22 日の２日間実施した。小学生各日６人が、決勝競技前にオリンピアンやパラリンピアン等と同じ舞台で泳ぎ、「挑戦することの大切さ」を体験することができた。入場チケットも完売して久しぶりに観客席が賑わう大会となった。

主催・公認競技大会の開催にはあたっては、主管・共催団体との連絡調整を緊密に行い、企画・立案・運営・予算管理を徹底し、準備から大会終了までを統括した。その結果、各選手が持てる力を最大限に発揮できる競技会を実現することができた。

大 会 名	開催日程	会　場	参加者数
第101回日本選手権水泳競技大会 （ＡＳ競技）	5月3日(土) ～5日(月)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　19 男子7/女子145
日本選手権最終予選会 （水球競技）	5月24日(土) ～26(月)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 男子10/女子11 男子138/ 女子147
第101回日本選手権水泳競技大会 （水球競技）	6月5日(土) ～8日(月)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 男子8 /女子8 男子118/女子117
ＯＷＳオーシャンズカップ2025 （ＯＷＳカレッジカップ2025）	6月15日(日)	千葉県 館山市北条海岸	参加団体　67 男子100/女子48
第70回日本大学・中央大学対抗水泳競技大会	6月28日(土)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　８ 男子146/女子42

第97回早慶対抗水上競技大会	6月29日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　16 男子101/女子35
第72回全国国公立大学選手権水泳競技大会	8月7日(土)・ 8日(日)	高知県 くろしおアリーナ	参加団体 98 男子641/女子326
日本ＡＳチャレンジカップ2025	8月8日(水) ～10日(金)	宮城県 セントラルスポーツ宮城G21プール	参加団体 28 男子７/女子185
第93回日本高等学校選手権水泳競技大会 （競泳競技）	8月17日(日) ～20日(水)	広島県 ひろしんビックウェーブ	参加団体　359 男子895/女子743
（飛込競技）	8月17日(日) ～20日(水)	広島県 福山通運ローズアリーナ	参加団体　32 男子18/女子18
（水球競技）	8月17日(日) ～20日(水)	山口県 山口きらら博記念公園水泳プール	参加団体 男子20/女子2 男子244/女子19
第65回全国中学校水泳競技大会 （競泳競技）	8月17日(日) ～19日(火)	鹿児島県 鴨池公園水泳プール	参加団体　449 男子474/女子403
（飛込競技）	8月17日(日) ～19日(火)	鹿児島県 鴨池公園水泳プール	参加団体　39 男子16/女子26
第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（競泳競技）	8月22日(金) ～26日(火)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　776 男子1,593 女子1,474
（飛込競技）	8月22日(金) ～25日(月)	大阪府 Asue大阪プール	参加団体　47 男子46/女子80
（水球競技）	8月22日(金) ～26日(火)	京都府 京都アクアリーナ	参加団体 80 男子557/女子446
（ＡＳ競技）	8月21日(木) ～24日(日)	滋賀県 インフロニア草津AC	参加団体　31 男子12/女子287
第101回日本選手権水泳競技大会 （飛込競技）	8月29日(金) ～31日(日)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体　38 男子31/女子31
第101回日本学生選手権水泳競技大会 （競泳競技）	9月4日(木) ～7日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　108 男子851/女子516
（飛込競技）	9月6日(土)・ 7日(日)	大阪府 Asue大阪プール	参加団体　22 男子16/女子19
（水球競技）	8月28日(木) ～31日(土)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 男子 16 /女子 7 男子210/女子80
（ＡＳ競技）第13回マーメイドカップ	8月31日(日)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体　16 男子6/女子37
（ＯＷＳ競技）	10月11(土)・ 12日(日)	千葉県 館山市北条海岸	参加団体　42 男子120/女子53

日本スポーツマスターズ2025	9月6日(土)・ 7日(日)	愛媛県 アクアパレットまつやま	参加団体　42 男子564/女子364
第79回国民スポーツ大会水泳競技大会 （競泳競技）	9月13日(土) ～15日(月)	滋賀県 インフロニア草津AC	参加団体　47 男子563/女子426
（飛込競技）	9月13日(土) ～15日(月)	滋賀県 インフロニア草津AC	参加団体　35 男子37／女子29
（水球競技）	9月8日(月) ～11日(木)	滋賀県 インフロニア草津AC	参加団体 男子12 /女子10 男子130/女子105
（ＡＳ競技）	9月6日(土)	滋賀県 インフロニア草津AC	参加団体　18 女子36
（ＯＷＳ競技）	9月10日(水)	滋賀県 長浜	参加団体　47 男子35／女子29
第40回日本マスターズ水泳選手権大会	9月17日(水) ～21日(日)	北海道 平岸プール	参加団体　1001 男子1,481 女子1,419
第101回日本選手権水泳競技大会 （ＯＷＳ競技）	9月27日(土)・ 28日(日)	千葉県 館山市北条海岸	参加団体　92 男子154 /女子 75
第67回日本選手権水泳競技大会（25m）	10月18(土)・ 19日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　195 男子263/女子208
第８回日本社会人選手権水泳競技大会	11月1日(土)・ 2日(日)	三重県 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿	参加団体 267 男子690/女子240
ジャパンオープン2025（50m）	11月28日(金) ～30日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　272 海外　6か国 男子470/女352
第18回全日本ユース（U16） 水球選手権大会（桃太郎カップ）	12月24日(水) ～27日(土)	岡山県 倉敷市屋内水泳センター 児島マリンプール	参加団体 男子16/女子16 男子230/女子190
第29回ユースソロ・デュエット大会	1月17(土)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　17 男子8／女子64
ＡＳナショナルトライアル2026	1月18(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体 18 男子2／女子89
第101回日本選手権水泳競技大会 （競泳競技）	3月19日(木) ～22日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　297 男子435/女子301
2025年度 翼ジャパンダイビングカップ	3月19日(木) ～22日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　27 男子23/女子22
第12回全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会（かしわざき潮風カップ）	3月19日(木) ～22日(日)	新潟県 県立柏崎アクアパーク	参加団体 男子16　女子12 男子198/女子135

第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会（競泳競技））	3月27日(金) ～30日(月)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体　841 男子1,882 女子1,566
（飛込競技）	3月28日(土)・ 29日(日)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体　18 男子13/女子37
（水球競技）	3月26日(木) ～30日(月)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	A:団体24選手312 B:団体24選手321 C:団体16選手179

２．国際競技開催事業

2025 年度は本連盟主催の国際競技会の開催はなかったが、11 月 20 日から 25 日の期間で第 25 回夏季デフリンピック競技大会が本連盟の協力のもと TAC を会場として開催された。ジャパンオープン 2025 を 11 月 28 日から４日間の日程で開催し、海外からは６か国 108 名の参加があった。

３．競技委員会事業

（１）競技事業

全国競技委員長会議を４月にリモート会議形式で開催した。今回も競泳に加え、飛込、水球、AS、OWS の各競技から最新情報の提供が行われた。

各競技の競技会においては、それぞれの委員会が主体的に競技会運営を担った。競技会開催費用の削減が課題となる中、各所で工夫して取り組んだ。また、全国大会の開催にあたっては、各大会の開催地や加盟団体、JSPO、（公財）全国高等学校体育連盟、（公財）日本中学校体育連盟などと連絡・調整を図った。特に地方開催となる全国大会では、１年前から開催地への競技会指導を実施し、会場レイアウトや選手動線、競技役員の動きに至るまで実地で指導を行った。

（２）学生競技会事業

第 72 回全国国公立大学選手権水泳競技大会を、13 年ぶりに高知県・くろしおアリーナにて開催した。大会運営においては、１校１種目３名の参加制限枠の撤廃、開催県の特例出場を開催支部へ拡充し、各支部の輪番開催を活かし、学生水泳の活性化を図った。また（一社）大学スポーツ協会（UNIVAS）による安心安全保障制度（UNIVAS SSC）の認証を取得し、医療従事者の派遣費用の助成を受けた。

第101回日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）は、競泳はＴＡＣ、飛込はＡｓｕｅ大阪プール、水球およびＡＳは横浜国際プール、ＯＷＳは館山市・北条海岸にてそれぞれ開催した。

競泳では、昨年の全国国公立大学選手権で試行した電光表示板でＰＢ（自己ベスト)、ＴＢ（チームベスト）の表示を本大会でも実施した。アンチ・ドーピング委員会によるアウトリーチ活動および広報委員会による学生新聞 Award については、前年に引き続き実施した。2020年の東京オリンピック開催決定に伴い、一時休止していた全国学生選抜合同合宿を７年ぶりに滋賀県・インフロニア草津アクアティクスセンターにて開催した。久々の開催となり、課題もあったが、参加した学生からは好評を得ており、次回開催に向けてしっ

かりと準備をしていく。
アンチ・ドーピング規則違反の再発防止を目的として「アンチ・ドーピング講習会」を実施した。本講習会では、JADA のｅラーニングシステムを活用し、学生に受講させた。また、飲酒や暴力、ハラスメント等、学生のみならず指導者も対象とした啓発活動を行った。
さらに、学生の競技役員養成を継続し、日本選手権等へ派遣することで、本連盟主催競技会の運営支援を行った。

４．国際関係事業

（１）世界水泳連盟（ＡＱＵＡ）およびアジア水泳連盟との情報収集および共有
ＡＱＵＡ審判資格 Pathway 習得プログラムの立ち上げおよびテスト受講を促進し国際審判スキルアップを図った。

（２）国際競技会の招致
第 20 回アジア大会（2026/愛知・名古屋）の開催準備および各種目の国際審判セミナー招致による国際審判スキルアップ対策を行なった。

（３）外国役員の接遇
国際会議や主要国際競技大会等の諸行事における世界水泳連盟およびアジア水泳連盟幹部の接遇、通訳を行った。

Ⅳ　競技運営推進事業（競技条件整備事業）

１．競技者登録事業

水泳競技大会への参加者および記録を管理するため、競技者（選手、団体）の登録管理の安定化を図る事業を推進した。WebSWMSYS については、機能の改修を行った。

２．競技規則制定事業

2026 年２月 18 日に AQUA が、Competition Regulations を改定し即日施行した。本連盟では各競技で改正点を確認し、その周知を図った。国内での改定された規則の適用は、各競技の実情に応じて行った。全国競技委員長会議において各加盟団体に説明した。今後も競技役員講習会や研修会などを活用して規則の周知を図っていく。

３．競技役員養成・登録事業

公認競技役員・審判員養成のためのブロック研修会ならびに加盟団体主催の講習会は、全て予定どおり実施できた。また、本連盟の主催大会における加盟団体の実技研修も予定通りに実施できた。競泳では、日本選手権（25m）、ジャパンオープン、日本選手権の３大会に全国各都道府県から合計 58 名が競技役員として参加した。参加者が最新の運営方法について研修し、各加盟団体に持ち帰ることで、全国で共通した競技会運営が浸透する一助となった。今後も、競技役員資格取得者数を維持して、本連盟の方針や競技会運営の方法を全国各地に浸透させるための取り組みを継続する。

４．競技記録公認・管理事業

（１）競技結果公認報告

競技者の公認記録に関する結果管理事業を実施した。加盟団体の協力により、公認記録の結果報告は概ね３日以内に行われる体制が定着した。

（２）記録管理

記録報告サイトを活用し、公認大会競技結果の記録管理および記録報告システムの安定化を推進した。

（３）記録開示（RJS）

報告された公認大会競技結果の公開、ランキングの作成、個人記録の公開を行った。

（４）速報システム（LRS）

新システムの運用を開始するとともに、全国での利用促進および安定運用に向けた対応を行った。あわせて、運用実施率の向上に取り組み、半数以上の加盟団体において導入・運用が実施された。

５．施設用具公認事業

（１）競技場であるプールおよび競技に係る施設用具に関して、公認規則に基づき検査を行い、公認する事業を行った。

公認プール	50m	25m	飛込	水球	標準
新　　規	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件
再 公 認	39 件	57 件	11 件	1 件	1 件

（２）「水泳および水泳競技に使用される用器具類やシステム等の公認・推薦規程」に基づく推薦商品認定を行った。

新規公認企業	0　企業	0　商品
新規推薦企業	1　企業	1　商品

Ⅴ　普及事業

１．指導者養成事業

指導者の普及・拡大に向け、各指導者資格の目的・意義の再確認および周知を図り、養成講習会参加者数の増加と更新率の向上を目指した。

地域指導者委員会では、基礎水泳指導員の単年度登録者数は 1,037 名であった（前年比 109 名増）。水泳コーチ２の新規養成講習会は日本水泳連盟地域指導者委員会にて開催され、４名が修了し、再検定により３名が修了した。水泳コーチ１・２の登録者数は 2026 年３月現在 8,118 名（2025 年 8,467 名：前年比 349 名減）であった。６月に開催した全国地域指導者（普及）委員長会議では、基礎水泳指導員および水泳コーチ１・２の更新研修の充実、新規養成の活性化および諸問題の解決を目的として、加盟団体相互の意見交換の場を設け、好事例の共有化を図っ

た。引き続き加盟団体の協力のもと、事業を推進する。

競技力向上コーチ委員会では、新規養成講習会を開催し、229名（コーチ３：213名、コーチ４：16名）が修了した。また、免除適応校によるコーチ３の新規取得者数は、85名（前年比４名増）であった。資格保有者向けの更新研修会は、対面、オンライン、オンデマンド形式で実施し、コーチ登録者数は、2026年３月現在3,833名（前年3,885名対比52名減）となった。さらに、業務量の適正化（委員・スタッフ・講師の負担軽減）および養成講習・更新研修の質の向上を目的として、2025年度より養成講習および更新研修の設計について随時検討を行った。

水泳教師委員会では、（一社）日本スイミングクラブ協会（SC協）と連携し、養成・研修事業を実施した。資格保有者数は減少傾向にあり、JSPOおよびSC協との組織連携や新システムの導入等が急務である。なお、スキルアップセミナーについては参加者の増員が難しい状況にあり、セミナー自体を資格更新の義務研修化は継続的に検討する。

教師登録者数は、2025年10月現在2,129（対前年比87名減）と減少傾向が続いている。

引き続き課題である運動部活動の地域展開や小・中学校における水泳授業の民間連携の動向も踏まえ、水泳の安全性確保および指導者の資質向上を目指し、公的資格保有の義務化を視野に入れ、JSPOの施策と連携しながら指導者養成事業を展開していく。

（１）地域指導者養成事業

① 指導者養成事業

(a) JSPO公認水泳コーチ１・２（以下コーチ１・２）に関する事業

（ア）コーチ２（マスター称号）：169名　コーチ２：1,097名　コーチ１：7,022名

（イ）47都道府県加盟団体を通じたコーチ１・２養成事業

（ウ）コーチ２養成事業：日本水泳連盟地域指導者委員会（９、11月）

６名修了（11名受講）

再検定（2025年10月）　１名修了（７名受験）

再検定（2026年３月）　３名修了（12名受験）

(b) 加盟団体を通じた本連盟公認基礎水泳指導員（以下基礎水泳指導員）の新規養成

基礎水泳指導員1,037名（単年度登録者数）

(c) 競技実績を有するアスリート・指導者の基礎水泳指導員資格免除認定審議

アスリート免除審査　2025年４月～2026年３月　17名

(d) 免除適応校（大学）の養成事業に対する助言・指導

大学：５名　（順天堂３、大阪体育大１、中京大１）

(e) 免除適応校（専門学校）の養成事業に対する助言・専門科目の検定

北海道会場：１名　東京会場：１名　大阪会場：２名

② 指導者研修事業

(a) コーチ１・２ならびに基礎水泳指導員の更新研修に対する督励・助言・指導

受講者アンケートの実施及び各加盟団体へのフィードバック

(b) 指導者に対するコンプライアンス・インテグリティ教育の展開

研修資料の共有及び講師の派遣

(c) 学校水泳指導者に対する研修事業

一部地域における学校水泳指導者に対する研修会の実施

６月 11 日（水）　千葉県教育研修会体育部会松戸支部研修会
題目　「小学生対象水泳指導について」
会場　松戸市立貝の花小学校

③ 指導者登録事業

（a）コーチ１・２の新規・更新登録

（b）基礎水泳指導員の新規・更新登録・管理のシステム化

④ 加盟団体との連携

（a）全国地域指導者（普及）委員長会議（2025 年６月７日（土）・８日（日）東京ガーデンパレスにて開催）を通じた指導者養成事業の共通理解と厳格・公正・均質化

（b）地区別委員長会議などへの派遣を通じた地域における指導者養成事業の課題の把握と督励

・北海道・東北ブロック（山形県）：2025 年 10 月 25 日
・関東ブロック（東京都）：2025 年 11 月８日
・北信越ブロック（新潟県）：2025 年 11 月８日　派遣なし
・東海ブロック（愛知県）：2026 年 1 月 17 日　派遣なし
・近畿ブロック（和歌山県）：2025 年 11 月 22 日
・中国ブロック　（岡山県）：2025 年 11 月 24 日　派遣なし
・四国ブロック（愛媛県）：2025 年 11 月 1 日
・九州ブロック（佐賀県）：2026 年２月 14 日

⑤ 水泳の普及に関する事業

（a）指導者養成事業の広報（競技会等での水泳愛好者への広報活動）

・日本スポーツマスターズ 2025 水泳競技愛媛大会（９月６日～７日）にて指導者養成事業 PR（フライヤー配布等）

（b）水泳の安全に関する研究と普及

（２）競技力向上コーチ養成事業

①コーチ資格審査（コーチ４昇格）の実施

競泳８名、飛込 1 名、水球 1 名、OWS５名、合計 15 名がコーチ４の昇格候補者となった。

②コーチ研修会事業

本年度は、対面講習と Zoom によるオンライン、オンデマンドの３形式で実施した。対面 121 名、オンライン 101 名、オンデマンド 2,673 名、免除申請者 450 名を含め受講完了者数は 3,245 名で、現在は未受講者への確認作業等を進めている。例年通り研修会講義録を作成し、未受講者で資格更新を希望する者へは、講義録精読とレポート提出を義務付けることとして対応している。

③養成事業の推進（修了者）

コーチ３：78 名（競泳 56 名、飛込４名、水球７名、AS５名、OWS６名）および
コーチ４：21 名（競泳 13 名、飛込 1 名、水球５名、OWS２名）

④免除適応コース実施校の開拓

現在 20 校・21 学部学科（2025 年度追加はなし）
修了者数 85 名（競泳 73 名、飛込５名、水球５名、AS２名、OWS０名）

⑤水泳コーチ教本第４版発刊準備

水泳コーチ教本（養成講習の教本）第４版の発刊に向け、編集・校正等の制作作業を実施した。

⑥2026 年度コーチ３・４養成講習会開催準備

2026 年度コーチ３・４養成講習会について、対面方式で実施に向けた準備を進めた。

⑦2026 年度コーチ３・４更新研修会開催準備

2026 年度コーチ３・４更新研修会について、対面方式およびオンデマンド方式により実施する方針を決定し、開催に向けた準備を進めた。

（３）水泳教師養成事業

①水泳教師新規養成事業の推進（SC 協と合同推進）

（ア）適応コース講習検定会の実施（本連盟が担当）

・東京 YMCA 社会体育専門学校　2026 年 1 月 21 日開催

・大阪社体スポーツ専門学校　2026 年 1 月 26 日開催

（イ）新規養成コース講習検定会の実施（SC 協が担当）

・専門科目講習会：49 科目開催

（ウ）適応コース認定校の新規開拓（本連盟が担当）

②スキルアップ講習会の開催　（本連盟が担当）

・スキルアップセミナー横浜会場　12 月７日(日)　かながわ労働プラザにて実施

・スキルアップセミナー東京会場　実施せず

③水泳教師資格の新規・更新登録事業（SC 協と合同推進）

・2025 年４月、10 月「本連盟・SC 協合同検定委員会」の開催

④水泳教師資格取得・更新研修会事業（SC 協と合同推進）

・SC 協　全国 10 支部の各会場にて開催
　資格取得・更新研修会：24 会場にて開催

・５月更新研修会受講通知発送（本連盟が担当）

・JSPO「再登録」制度への対応（本連盟が担当）
　　水泳教師在籍施設証明事業の推進（SC 協と合同推進）

・４月・10 月認定　認定施設の新規・更新登録事業

・９月・２月在籍施設証明事業パンフレット封入

・本連盟および JSPO ホームページの「水泳するならこの施設」ページの定時更新

２．生涯スポーツ事業

（１）日本スポーツマスターズ大会

本大会は、生涯スポーツのより一層の普及と振興を目的とした、JSPO との共催による、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象とした大会である。本年度は、42 都道府県から 942 名が参加し、10 年連続出場者 22 名、20 回出場者７名の方々の表彰式も実施された。競技ではマスターズ世界新記録 1 個、日本新記録５個、大会新記録 98 個が樹立され、大いに盛り上がった。

大会名	開催日程	会場	参加者数
日本スポーツマスターズ 2025 愛媛大会	９月６日(土)～ ７日(日)	アクアパレットまつやま	942 名

（２）水泳の日 2025

10 月 26 日に宮崎県宮崎市のパーソルアクアパーク宮崎において、「水泳の日 2025・宮崎」を開催した。このイベントは、本連盟の掲げる使命の１つ「国民皆泳」を目指した事業であり、世代を超えて、「命を守ることができるスポーツ」水泳のさらなる普及発展、競技力向上、競技人口の裾野を広げるきっかけとして実施されている。なお、2025 年度は、主催が本連盟、（一社）日本スイミングクラブ協会、（一社）日本マスターズ水泳協会、（一社）日本パラ水泳連盟（ＪＰＣ）の水泳４団体と、（一社）宮崎県水泳連盟、宮崎市水泳協会、後援に宮崎県、宮崎市を迎えて開催した。加盟団体主催では、東京会場、郡山会場、愛知・名古屋会場、高知会場、広島、石川、北海道会場の７会場にて開催された。

① エキシビション（公開型イベント）

始泳式では、地元宮崎県出身で、水球日本代表の野田茉波さん、佐賀県出身で、2020 年東京オリンピック代表の柳本幸之介さん、同じく代表の池本凪沙さんをはじめ、大橋悠依さん、パリオリンピック・OWS 代表の貴田裕美さんらが登場し、会場からは大きな拍手が湧き上がった。

② アクアティクス体験（参加型イベント）

メインプールでは、競技イベントとして子どもから大人までが参加した「ふれあいリレー」や「チャレンジリレー」、「泳力検定」、「ターゲットタイム」などを実施した。また、体験教室では、「TOBIUO クリニック（競泳）」や「みんなで楽しむアーティスティックスイミング（ＡＳ）」、「アクアゲーム（水球）」、「日本泳法」の体験教室と、「ブラインドスイミング体験会」、「水中動画撮影会」、「ＯＷＳクリニック」の体験教室を実施した。

競技イベント、体験教室ともに多数のオリンピアンの協力により、大いに盛り上がった。

（３）泳力検定

本事業は、生涯スポーツとしての水泳の普及を目的に 1998 年から実施している。トビウオジャパンの活躍もあり、日本水泳界が一段と盛り上がりを見みせている中で、泳力検定会も全国各地で開催され、泳力検定事業が水泳愛好者に浸透してきたことを示している。本年度もオリンピアンをゲストに招き「ニチレイチャレンジ特別泳力検定会」を東京・愛知・福島・高知・岡山・青森・栃木など全国 23 ヶ所で開催した。また、さらなる泳力検定の普及のため、泳力検定システムの運用促進や HP および公式 SNS を活用した広範な情報発信に努めた。

（４）環境活動「Wear to Fashion」

スポーツによる社会貢献活動の一環として、衣類の循環で「捨てない選択肢」を提供し、未来へつなげるプロジェクト「Wear to Fashion」を実施し、水着やチームウェア等を回収してリサイクル・リユースに繋げる取り組みを競泳競技のみならず、主要競技会複数の大会にて実施した。

３．ＯＷＳ普及事業

ＯＷＳの安全な普及に必要な事業を、以下のとおり実施した。

（１）ＯＷＳスイムクリニック、ＯＷＳ検定事業の開催

①スイムクリニック参加者合計 282 名

②検定参加者合計　112 名

（２）ＯＷＳ審判員養成

①審判講習会開催 （５月 18 日・１月 25 日　リモート・対面開催）　参加者合計 114 名

（３）ＯＷＳ指導員養成

①指導者講習会　０名

（４）ＯＷＳ公認コーチ養成

①ＯＷＳ公認コーチ３養成講習会　８名

②ＯＷＳ公認コーチ４養成講習会　１名

（５）認定ＯＷＳ大会の標準化と拡大

①認定ＯＷＳ大会支援（2025 年６月～11 月）

〔静岡お茶・南紀田辺・中海・阿久根・三重尾鷲・佐渡・館山・琵琶湖・屈斜路湖・青森あさむし・愛知りんくう・湘南・せとうち・泉南・須崎・徳之島〕計 16 大会（合計 5,798 名参加）への審判員・安全管理員派遣

②認定ＯＷＳ大会・全国担当者会議の開催（2025 年 12 月 13 日・JAPAN SPORTS OLYMPIC SQUARE・対面／リモート会議開催）

（６）認定ＯＷＳ大会サーキットシリーズ年間優秀選手表彰

①全 16 大会ポイントランキング男女各総合１位に優勝楯を進呈、年代別男女各上位３位までに表彰状とスイムタオルを進呈

４．日本泳法保存事業

（１）第 70 回日本泳法大会

本大会は、わが国近代水泳史の礎となった日本泳法の後継者育成と、技能の保存と普及を目的として、1956 年より開催され、現在は、現存 13 流派のジュニア（中学生以下）からシニア層まで幅広く参加できるよう、12 種目の競技と７資格の審査から成っている。本年度は、８月 23 日・24 日の日程で千葉県国際総合水泳場において開催した。全国から役員、選手併せて 482 名の参加があり、予定した各競技と資格審査をすべて実施することができた。第 70 回記念大会として 22 日には記念式典を 24 日には各流派演技披露を実施した。

（２）第 73 回日本泳法研究会（課題：神伝流）

今回は、３月 21 日・22 日の日程で岡山県倉敷市において、岡山・東京・広島・兵庫・千葉・新潟・長野・青森等、各地で継承される「神伝流」を課題として開催したところ、全国からおよそ 300 名の参加があった。初日は、主馬神伝流からつながる歴史とその後の岡山県における川泳ぎ、東京における海泳ぎの発展伝承についての研究発表があり、２日目には児島マリンプールにおいて、神伝流泳者により前日の研究発表内容を分かりやすく実技披露され、多くの参加者が神伝流の歴史と泳ぎについて理解を深めた。なお、初日夜には懇親会を開催し、全国の日本泳法の仲間と実際に顔を合わせ、それぞれの泳法について語り合うことができた。

（３）游士資格審査会、日本泳法研鑽会

３月 22 日に、児島マリンプールに於いて、游士審査会（岡山会場）と第 22 回日本泳法研鑽会を実施した。

游士審査会（岡山会場）　　参加１名、合格１名

第 22 回日本泳法研鑽会　　参加５名

（４）日本泳法広報活動

日本泳法の認知度を国内外において高めるための広報施策として、2022 年度に制作した日本泳法プロモーションビデオが、2025 大阪･関西万博において、EXPO アリーナ「Matsuri」の EXPO VISION で上映された。

また、各種行事での上映に加え、テレビメディアへも映像データの提供を行い、日本泳法についての正しい知識紹介に活用した。

（５）水泳の日 2025・宮崎への協力

10 月 26 日に開催された『水泳の日 2025・宮崎』において、大分県臼杵市の臼杵山内流游泳所の演技披露と日本泳法クリニック（Samurai swimming）を実施した。

（６）その他

第 70 回日本泳法大会と第 73 回日本泳法研究会の開催に併せ、「流派連絡会議」「資格審査専門委員会」を開催した。

また、第 70 回日本泳法大会の１日目終了後と、第 73 回日本泳法研究会２日目終了後に「審判研修会（実技）」を実施した。

５．機関誌「月刊水泳」発行事業

公益財団法人日本水泳連盟の「次の 100 年に向けてのアクションプラン」に基づき、本連盟の事業内容を掲載した。競技会の報告については、シンガポールで開催された世界選手権をはじめとする各種競技会の結果の振り返りおよび各種総括を掲載し、組織の歴史書として位置付けを確立した。また、2026 年度からの紙媒体による月刊発行から Web への移行に向け、スポンサー対応を含む各種準備を進めた。2026 年４月１日より連盟公式ホームページ上のトピックスを「JAPAN AQUATICS MAGAZINE」と刷新し、タイムリーな情報発信が可能な体制を構築した。

６．広報事業

（１）公式ホームページ（HP）

①HP 管理体制を一新し、各競技の最新情報や大会リポートを迅速に掲載した。

②大会リポートに加え連盟の各種事業内容を詳細に掲載し、活動の周知を図った。

③SNS（Facebook、Instagram、X（旧 Twitter））での情報発信を継続し、大会情報にとどまらず、選手紹介や本連盟の事業等、幅広い広報活動を展開した。特に世界選手権（シンガポール）におけるタイムリーな情報発信、日本選手権における競技後の選手がサインをする様子などの発信は大きな反響を得た。また、各種別アカウントと連盟公式アカウントとの連携を強化し、相乗効果によりフォロワー数の増加につなげた。さらに、SNS の特性に応じて投稿内容を区分することで、効果的な情報発信を実施した。

④HP 更新情報を円滑に通知する仕組みの構築を進めた。

⑤過去に発行した機関誌（月刊水泳）の PDF 版を順次公開し、３月末時点で 1965 年までのバックナンバーの閲覧を可能とした。今後も継続的に公開作業を進めていく。

⑥機関誌「月刊水泳」の記事を Web 向けに最適化し、2026 年４月１日より「JAPAN AQUATICS MAGAZINE」としてタイムリーな情報発信体制を構築した。

（２）報道対応

目標として掲げていた各競技（各専門委員会）の競技会開催時における報道対応の人員確保については、ボランティアに依存する側面があり、協力人数の変動により各種手配において競技委員会との連携に課題が残った。

一方で、プレスに対して公平かつ正確な情報発信を心がけ、プレスも水泳を支える AQUA CREW の一員であるとの意識の醸成を図り、その浸透が一定程度見られた。また、開催地との連携が重要となる国民スポーツ大会やインターハイなどの競技会に対応するため、報道対応マニュアルの作成を完了した。

（３）記念誌発行事業

既往 10 年間の連盟の事業を掲載するために 10 年ごとに発行している「周年記念誌（100 周年記念誌）」について年度内発行を目標に取り組んできたが、年度内での発行には至らなかった。

一方で、「日本水泳連盟 100 年史」の骨子となる写真集の制作と並行し、掲載コンテンツの精査を進めた。100 年の歴史にふさわしい歴史書として後世に残るものとするため、引き続き継続して取り組む。

７．アスリート委員会関係

（１）現役アスリートへのサポートと啓発

アスリートのパフォーマンス維持と将来のキャリア形成を多角的に支援した。「WHP 研修会」を継続開催し、女子選手の月経等のコンディショニングに関する啓発を実施した。また、「キャリアトランジション支援」として、現役時代から準備すべきマインドセットに関する研修を実施した。併せて、現役選手の意見を集約し、本連盟の施策へ反映させるための提言活動を継続した。

（２）ジュニアへの動機づけと競技普及活動

次世代育成を目的として、トップアスリートとジュニア選手が交流する機会を創出した。「Challenge Swim Ceremony」として、競泳日本選手権でのジュニアスイマーのレース開催や、水球日本選手権におけるエスコートキッズ事業を実施した。オリンピアン・パラリンピアンをゲストとして招へいし、大舞台での体験を共有することで、競技の魅力と挑戦の尊さを直接伝える機会を創出した。

（３）水泳界全体の連帯とファン獲得

「水泳の日」をはじめとする連盟の普及事業に参画した。「スイムスマイルプロジェクト」では、全国の小学校等へオリンピアンを派遣し、着衣水泳指導や講演を通じて水難事故防止および水泳の魅力発信に努めた。また、オンライン交流会や SNS 用動画の制作・発信を通じて、場所の制約を超えた選手間ネットワークの構築を推進し、水泳界全体の連帯感の醸成およびファン層の拡大を図った。

（4）外部団体との連携およびネットワーク強化

JOC、JPC および愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（AINAGOC）との合同委員会に参画し、パラアスリートとの相互理解を深めるとともに、国際大会に向けた選手目線での提言を行った。また、オリンピアン OBOG 会のネットワークを強化し、総会・懇親会の開催を通じて世代を超えた協力体制を構築した。

以上のとおり、本年度は普及・教育から外部連携に至るまで、アスリートが主体的に社会へ貢献する体制を具現化した。

8．国際貢献事業

（1）要請に応じた水泳指導者の海外派遣制度について検討を行った。

（2）指導力および語学力を兼ね備えた水泳指導者の海外派遣制度について検討を行った。

Ⅵ　組織運営のための共通事業

1．総務関係事業

本連盟各会議および地域会議の準備・開催を通じ、内外の関係者・関係団体との情報共有および意思疎通の充実を図り、業務の円滑な遂行に努めた。あわせて、「水泳ニッポン・中期計画 2017－2024」の最終年度における進捗報告および総括を実施するとともに、新たに策定した「水泳ニッポン・新時代構想」の進捗管理を行った。さらに、「スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞」に係る自己説明の公表に対応するとともに、内容に準拠した各種規程の改廃および新規策定を継続的に実施した。加えて、本連盟事務局の労務環境の適正な管理のもと、業務効率化に資する各種取り組みを推進した。

（1）地域会議の開催

10 月から 12 月にかけて全国９ブロックにおいて地域会議を開催し、本連盟の事業方針および重点施策に関する説明を行うとともに、質疑応答および情報交換を実施した。

（2）中期計画の進捗管理・公表

「水泳ニッポン・中期計画 2017－2024（2024 年度進捗報告）」を本連盟公式ウェブサイトに掲載し、最終年度における目標達成状況および全体総括を公表した。

（3）ガバナンスコードへの対応

「スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞」に基づき、年 1 回の自己説明の作成と公表を行った。また、ガバナンスコードへの適合を図るため、関連規程の改廃および新規策定を継続的に実施した。

2．マーケティング事業

各競技会における支出の適正化を図り、予算に即した効率的な大会運営を実施した。協賛各社からは、現行の協賛内容の継続をはじめ多大なる支援を受けており、ここに深く謝意を表する。

また、管理本部内に新たにマーケティング委員会を設置し、本連盟独自のネットワークを活用したスポンサーの新規開拓に取り組んだ。

≪競技条件整備事業関係≫

1.競技者・競技役員登録数

2026年3月31日現在

		競技者	団体	会員	競技役員
1	北海道	2,003	184	1	125
2	青森	769	50	0	46
3	岩手	1,047	59	1	60
4	宮城	2,581	84	0	104
5	秋田	768	47	0	72
6	山形	1,052	51	0	5
7	福島	1,354	68	9	93
8	茨城	2,111	123	3	123
9	栃木	1,220	68	1	54
10	群馬	1,376	84	1	52
11	埼玉	5,270	171	2	128
12	千葉	3,718	163	0	115
13	東京	10,936	623	0	414
14	神奈川	6,729	240	6	254
15	山梨	581	33	0	21
16	長野	1,460	109	15	89
17	新潟	1,964	94	0	90
18	富山	791	56	25	58
19	石川	943	59	0	64
20	福井	513	39	1	2
21	静岡	3,244	162	12	105
22	愛知	6,047	275	46	222
23	三重	1,302	80	2	96
24	岐阜	1,508	76	0	41
25	滋賀	1,174	57	0	63
26	京都	2,078	84	0	64
27	大阪	6,308	291	0	296

		競技者	団体	会員	競技役員
28	兵庫	5,508	279	0	139
29	奈良	1,052	51	0	77
30	和歌山	976	53	0	73
31	鳥取	605	47	0	13
32	島根	655	51	0	45
33	岡山	1,198	82	1	68
34	広島	1,770	115	31	88
35	山口	1,101	60	0	58
36	香川	1,076	72	0	25
37	徳島	377	25	3	43
38	愛媛	1,403	75	2	46
39	高知	692	42	0	51
40	福岡	4,127	194	0	77
41	佐賀	700	42	0	11
42	長崎	1,484	89	0	47
43	熊本	2,053	91	0	85
44	大分	884	62	0	10
45	宮崎	693	55	0	45
46	鹿児島	1,502	90	0	48
47	沖縄	979	57	1	15
学生委員会	関東	3,280	85		
	中部	1,036	39		
	関西	1,040	53		
	中四国	592	40		
	九州	527	28		
	北部	426	27		
合計		104,583	5,334	163	3,920

※競技者数は実数で表示

２．各種審判員登録数

2026年3月31日現在

		競泳審判			飛込審判			水球審判					ＡＳ審判 ※			ＯＷＳ審判		
		A	B	C	A	B	C	上級	1級	2級	3級	4級	A	B	C	A	B	C
1	北海道	0	24	104	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2	青森	1	4	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3	岩手	1	6	49	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
4	宮城	1	15	75	2	1	4	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0
5	秋田	0	15	54	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	山形	0	1	3	1	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	福島	1	33	57	4	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	茨城	0	31	77	4	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	栃木	2	21	31	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	群馬	4	9	30	3	2	7	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1
11	埼玉	2	34	67	5	0	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
12	千葉	1	20	41	1	2	0	0	1	1	6	12	0	0	0	0	0	1
13	東京	5	44	273	7	5	4	0	0	2	0	5	0	0	0	2	1	11
14	神奈川	3	42	171	2	0	2	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	1
15	山梨	0	9	11	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
16	長野	2	36	44	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
17	新潟	1	31	53	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	富山	2	11	31	2	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	石川	2	27	23	5	8	7	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0
20	福井	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	静岡	4	41	57	6	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
22	愛知	3	21	186	1	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
23	三重	1	12	56	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
24	岐阜	0	10	27	0	0	2	1	0	0	6	5	0	0	0	0	0	0
25	滋賀	0	4	41	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
26	京都	4	17	31	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
27	大阪	4	53	221	4	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
28	兵庫	1	39	89	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
29	奈良	0	22	51	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
30	和歌山	0	22	43	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
31	鳥取	0	6	6	3	1	3	0	0	0	4	15	0	0	0	0	0	0
32	島根	1	6	38	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
33	岡山	1	15	42	2	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	広島	1	10	63	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
35	山口	1	15	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	香川	2	11	10	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	徳島	4	23	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	愛媛	0	16	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	高知	1	13	24	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
40	福岡	1	15	51	2	2	9	1	4	1	0	2	0	0	0	0	3	1
41	佐賀	0	5	5	2	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
42	長崎	0	23	17	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0
43	熊本	4	24	50	0	0	0	0	1	3	5	5	0	0	0	0	0	5
44	大分	1	3	0	1	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
45	宮崎	2	13	32	0	1	0	0	1	1	1	5	0	0	0	0	0	17
46	鹿児島	3	39	4	0	2	3	0	1	0	2	9	0	0	0	0	1	1
47	沖縄	0	3	3	0	1	1	0	0	1	7	6	0	0	0	0	0	0
学生委員会	関東																	
	中部																	
	関西																	
	中国																	
	九州																	
	合計	69	896	2,449	80	71	144	5	9	11	45	79	0	0	0	2	7	109

※ AS審判員については、登録更新年度移行措置対応中

３．指導･講習・研修

（１）競泳：競技役員・審判研修会、競技会指導　　競技委員会

	開催種別	開催県	開催会場	形態	開催期日	派遣講師名	参加予定人数	参加人数	備考	研修	報告
競技役員・審判研修会	九州ブロック	宮崎	パーソルアクアパーク宮崎	招聘	2025年 4月 13日（日）	高橋 ・ 藤森	名	58 名	A: 8 B: 20 C: 19 新規: 11 他種別:	済	済
	加盟団体	静岡	静岡県総合社会福祉会館 シズウェル	招聘	2025年 4月 20日（日）	藤森 ・ 佐藤	名	94 名	A: 17 B: 22 C: 32 新規: 17 他種別: 6	済	済
	四国ブロック	香川	香川県立総合水泳プール	ﾘﾓｰﾄ	2025年 4月 20日（日）	岡安 ・ 内野	名	39 名	A: 5 B: 22 C: 11 新規: 1 他種別:	済	済
	加盟団体	大阪	関西大学100周年記念会館	ﾘﾓｰﾄ&招聘	2025年 4月 27日（日）	佐藤 ・ 粟井	名	336 名	A: 12 B: 71 C: 51 新規: 202 他種別:	済	済
	東海ブロック	三重	四日市市地場産業振興センター	招聘	2025年 4月 29日（火）	後藤 ・ 内野	名	126 名	A: 3 B: 30 C: 66 新規: 27 他種別:	済	済
	加盟団体	福島	郡山ユラックス	招聘	2025年 5月 11日（日）	高橋 ・ 菅谷	名	125 名	A: 7 B: 40 C: 47 新規: 29 他種別: 2	済	済
	加盟団体	富山	富山県高岡総合プール会議室	招聘	2025年 5月 17日（土）	菅原 ・ 菅谷	名	56 名	A: 5 B: 10 C: 17 新規: 22 他種別: 2	済	済
	加盟団体	群馬	前橋市総合福祉会館	招聘	2025年 5月 18日（日）	三友 ・ 田畑	名	88 名	A: 7 B: 32 C: 45 新規: 4 他種別:	済	済
	加盟団体	新潟	長岡市	招聘	2025年 5月 25日（日）	佐藤 ・ 宇佐見	名	48 名	A: 4 B: 11 C: 11 新規: 22 他種別:	済	済
	東北ブロック	青森	青森大学	招聘	2025年 5月 25日（日）	高橋 ・ 後藤	名	65 名	A: 3 B: 28 C: 27 新規: 7 他種別:	済	済
	北海道ブロック	北海道	北海道総合体育センター	ﾘﾓｰﾄ&招聘	2025年 6月 15日（日）	後藤 ・ 岡安	名	103 名	A: 4 B: 32 C: 67 新規: 0 他種別:	済	済
	加盟団体	兵庫	こうべ市民福祉交流センター	招聘	2025年 10月 4日（土）	高橋 ・ 粟井	名	80 名	A: 5 B: 35 C: 22 新規: 18 他種別:	済	済
	加盟団体	大分	アイネス(消費生活･男女共同参画プラザ)大会議室	招聘	2025年 10月 26日（日）	高橋 ・ 後藤	名	55 名	A: 2 B: 25 C: 13 新規: 15 他種別:	済	済
	加盟団体	神奈川	カルッツかわさき	招聘	2025年 11月 2日（日）	佐藤 ・ 田畑	名	81 名	A: 3 B: 17 C: 26 新規: 35 他種別:	済	済
	加盟団体	学生委員会		ﾘﾓｰﾄ	2025年 11月 16日（日）	後藤 ・	名	0 名	A: B: C: 新規: 他種別:	済	済
	加盟団体	新潟	上越	招聘	2025年 11月 23日（日）	菅谷 ・ 菅原	名	38 名	A: 2 B: 9 C: 6 新規: 21 他種別:	済	済
	加盟団体	愛知	日本ガイシフォーラム	招聘	2026年 2月 22日（日）	内野 ・ 三友	名	250 名	A: 3 B: 50 C: 77 新規: 120 他種別:	済	
	加盟団体	ﾏｽﾀｰｽﾞ水泳協会	東和薬品RACTABドーム大会議室	招聘	2026年 2月 22日（日）	高橋順 ・ 鈴木渓	32 名	35 名	A: 4 B: 8 C: 11 新規: 12 他種別:	済	
	加盟団体	千葉	ホテルグリーンタワー幕張	招聘	2026年 2月 23日（月）	二見 ・ 内野	名	63 名	A: 0 B: 16 C: 15 新規: 32 他種別:	済	
	加盟団体	神奈川	秦野市保健福祉センター	招聘	2026年 2月 23日（月）	藤森 ・ 佐藤	名	140 名	A: 4 B: 16 C: 51 新規: 65 他種別: 4	済	
	加盟団体	埼玉	立教新座中学校・高等学校	招聘	2026年 3月 1日（日）	高橋 ・ 粟井	名	122 名	A: 4 B: 59 C: 22 新規: 37 他種別:	済	
	近畿ブロック	大阪	上宮学園中学・高等学校講堂	招聘	2026年 3月 15日（日）	後藤 ・ 岡安	名	287 名	A: 11 B: 48 C: 78 新規: 150 他種別:	済	
	~~近畿ブロック~~	~~滋賀~~		~~ﾘﾓｰﾄ~~	~~2026年 3月 22日（日）~~	~~内野 ・ 田畑~~	~~名~~	~~名~~	~~A: B: C: 新規: 他種別:~~	中止	
	加盟団体	東京	成蹊大学	招聘	2026年 3月 15日（日）	二見 ・	名	251 名	A: B: C: 新規: 他種別:	済	
：	静岡		富士水泳場		2026年 1月 31日（土日）	小野 ・	通告指導			済	

（２）飛込：審判員研修会　　飛込委員会

ブロック	会場	実施日	講師	A	B	C	新規	計
東　北	米沢市置賜総合文化センター	5 月 25 日	金戸	6	7	5	1	19
東　海	静岡県立水泳場	5 月 25 日	大久保	7	3	15	0	25
九　州	福岡県立総合プール	6 月 14 日	金戸	4	4	13	2	23
中　国	福山通運ローズアリーナ	6 月 21 日	金戸	3	7	4	4	18
近畿	大阪プール	6 月 28 日	金戸	3	8	2	2	15
関東Ａ	相模原グリーンプール	7 月 11 日	金戸	1	3	3	0	7
関東Ｂ	相模原グリーンプール	7 月 12 日	金戸	4	15	3	0	22
北信越Ａ	小松屋内水泳プール	7 月 19 日	金戸	5	9	0	0	14
北信越Ｂ	小松屋内水泳プール	7 月 20 日	金戸	0	2	0	1	3
				33	58	45	10	146

（3）水球：審判員・指導者講習会、審判員派遣　　水球委員会

ブロック名	審判講習会日程	場所	参加人数
東北ブロック	4 月 19 日（土）	黒沢尻工業高校	39名
北信越ブロック	4 月 19 日（土）	金沢市立工業高校	24名
関東ブロック	4 月 12 日（土）	成蹊大学	99名
東海ブロック	4 月 13 日（日）	名古屋高校	56名
近畿ブロック	4 月 19 日（土）	リモート	62名
中国ブロック	4 月 19 日（土）	鳥取県立鳥取中央育英高等学校	52名
四国ブロック	4 月 12 日（土）	オンライン（関東合同）	21名
九州ブロック	4 月 12 日（土）	長崎工業高校＆リモート	86名
			439名

Development School	4 月　5 日（土）	幕張総合高等学校	53名
千葉県(独自)　※	4 月 27 日（日）	千葉県国際総合水泳場	82名
神奈川県(独自) ※	4 月 27 日（日）	Online	25名

※競技役員資格講習会

（4）ＡＳ：審判長派遣、審判員研修会・講習会　　ＡＳ委員会

①審判長派遣事業

	期　　日	派遣先	大　　会	派　遣
1	6 月 22 日（日）	石川	チャレンジカップ予選会	山田 智子
2	6 月 28 日（土） 29 日（日）	青森	チャレンジカップ予選会	田中 洋子
3	7 月 12 日（土） 13 日（日）	長崎	国スポブロック大会＆JOC ジュニアオリンピック予選会	萩野 希代子
4	7 月 19 日（土） 20 日（日）	宮城	東北総体＆JOC ジュニアオリンピック予選会	滝田 理絵子
5	7 月 19 日（土） 20 日（日）	島根	国スポブロック大会＆JOC ジュニアオリンピック予選会	大月 弓子
6	2026 年 3 月 29 日(日)	富山	第 102 回日本選手権 AS 競技 北信越ブロック予選会	鷲見 朗子
7	2026 年 3 月 29 日(日)	広島	第 102 回日本選手権 AS 競技 広島県予選会	大月 弓子

②公認ＡＳ審判研修会

	期　　日	主 催	講　師	備　　考
1	5 月 18 日（日）	東京都	滝田理絵子	【公認 AS BC 級審判研修会】 東京都・東京アクアティクスセンター 参加者数：27 名（B 級 6 名・C 級 19 名　※A 級その他 2 名）

2	6 月 22 日（日）	北信越	山田 智子	【公認 AS BC 級審判研修会】 石川県・金沢プール 参加者数：10 名（B 級 1 名・C 級 7 名 ※A級その他 2 名）
3	6 月 22 日（日）	北海道	滝田理絵子	【公認 AS BC 級審判研修会】 北海道・野幌総合運動公園総合体育館 参加者数：6 名（C 級 5 名　※A 級その他 1 名）
4	7 月 19 日（土）	東北	滝田理絵子	【公認 AS BC 級審判研修会】 宮城県総合運動公園プール 参加者数：11 名（C 級 10 名　※A 級その他 1 名）
5	8 月 20 日（水）	日水連	審 判 部	【公認 AS ABC 級審判研修会】 JOC ジュニアオリンピックカップ開催時（インフロニア草津ＡＣ） 参加者数：11 名（B 級 3 名・C 級 8 名）
6	10 月 18 日（土） 19 日（日）	日水連	審 判 部	【アーティスティックスイミングコーチキャンプ 2025】 味の素ナショナルトレーニングセンター 国立スポーツ科学センター
7	2026 年 2 月 22 日(日)	日水連	審 判 部	【公認 AS ABC 級審判研修会】 国立スポーツ科学センター 参加者数：70 名（A 級 33 名・B 級 15 名・C 級 22 名）
8	2026 年 3 月 8 日(日)	大阪府	鷲見 朗子	【公認 AS BC 級審判研修会】 大阪府・東和薬品ラクタブドーム
9	2026 年 3 月 8 日(日)	長野県	滝田理絵子	【公認 AS BC 級審判研修会】 長野県・アクアウイング
10	2026 年 3 月 29 日(日)	富山県	鷲見 朗子	【公認 AS BC 級審判研修会】 富山県・富山県総合体育センター

③公認ＡＳ審判養成講習会および検定試験審判研修会

	期　日	主　催	講　師	備　考
1	11 月 16 日（日）	日水連	審 判 部	大阪・東和薬品ラクタブドーム 受検者数:A 級 1 名 B 級 7 名 C 級８名 養成講習会のみ受講　1 名

（5）OWS：審判員講習会　　OWS 委員会

主催	開催地	開催会場	開催期日	派遣講師名	参加人数
本連盟	東京	東京都渋谷区＆Zoom 配信	2025 年 5 月 18 日	山下・石井・藤澤	25 名
本連盟	東京	東京都新宿区＆Zoom 配信	2026 年 1 月 25 日	亀田・石井・藤澤	89 名

（６）医事　　医事委員会

≪日本水泳ドクター会議・日本水泳トレーナー会議≫

事業名	日程	会場	参加者総数
第 37 回日本水泳ドクター会議総会	2025/5/31	インターシティ品川貸会議室	ドクター41 名 委任状 57 名
第 27 回水と健康医学研究会			ドクター　52 名 トレーナー34 名 招待演者 3 名 一般参加 3 名
第 13 回水泳競技メディカルサポート研究会	2025/11/8	NTC WEST	ドクター12 名 トレーナー20 名
トレーナー会議【夏季研修会】	2025/6/1	NTC WEST	トレーナー40 名
トレーナー会議【BLS 研修会】	2025/11/9	NTC WEST	トレーナー15 名
トレーナー会議【基礎研修会】	2026/2/28-3/1	スポーツ健康医療専門学校	トレーナー25 名
九州・沖縄ブロック合同研修会	2026/1/31	福岡医療専門学校	トレーナー12 名 非会員 3 名
北海道・東北ブロック合同研修会	2026/1/31	オンライン	ドクター3 名 トレーナー14 名
近畿ブロック合同研修会	2026/2/7	六甲アイランド甲南病院	ドクター2 名 トレーナー18 名

地域指導者講習会

≪脳振盪講習会≫

研修会日程	加盟団体	場所	医事委員会	参加者数
2025/8/17	新潟県水泳連盟	アクシー新潟中央	中村拓成	約 30 名
2025/10/12	埼玉県水泳連盟	埼玉県立スポーツ総合センター	大内洋	約 100 名
2025/11/2	愛媛県水泳連盟	今治市菊間公民館	大辻裕樹	約 50 名
2025/12/7	岡山県水泳連盟	倉敷市児島地区公園水泳場（児島マリンプール）	中澤萌	約 40 名
2026/1/25	沖縄県水泳連盟	国際電子ビジネス専門学校	上原任	24 名
2026/2/11	茨城県水泳連盟	笠松運動公園山新スイミングアリーナ	杉山弘樹	約 70 名
2026/2/15	宮城県水泳連盟	エスポールみやぎ	内田卓郎	42 名
2026/2/15	佐賀県水泳連盟	佐賀県立生涯学習センター	奥田鉄人	約 20 名

《WHP 講習会》

研修会日程	加盟団体	医事委員会	アスリート委員会	競技力向上コーチ委員会	参加者
2025/9/28	山梨県水連	辰村正紀	―	―	17 名
2025/11/9	山形県水連	能瀬さやか	貴田裕美	―	16 名
2025/12/7	岐阜県水連	辰村正紀	金藤理絵	―	40 名
2026/3/1	東京都水泳協会	能瀬さやか	金藤理絵	森山慎一郎	124 名

（7）科学　　科学委員会

事業名	開催日程	開催会場	参加人数
2025 年日本水泳・水中運動学会年次大会 主催：日本水泳・水中運動学会 共催：中京大学 後援：公益財団法人 日本水泳連盟	10 月 24 日(金) ～26 日(日)	中京大学 (愛知県・ 豊田市)	約 100 名

４．日本新記録および学生・高校・中学・学童記録の公認

		5/1			7/23			8/3			8/26			1-/13		
長水路	日本記録	1	男子	1	3	男子	2	3	男子	3	1	男子	1		男子	
			女子			女子	1		女子			女子			女子	
			混合			混合			混合			混合			混合	
	学生記録		男子		4	男子	3	1	男子	1		男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
			混合			混合	1		混合			混合			混合	
	高校記録		男子		3	男子	3		男子		6	男子	6		男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
	中学記録	1	男子	1		男子			男子			男子		2	男子	2
			女子			女子			女子			女子			女子	
	学童記録		男子			男子			男子			男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
短水路	日本記録	1	男子	1	1	男子	1		男子			男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
			混合			混合			混合			混合			混合	
	学生記録	4	男子	3		男子			男子			男子			男子	
			女子	1		女子			女子			女子			女子	
			混合			混合			混合			混合			混合	
	高校記録	6	男子	5	1	男子	1		男子			男子			男子	
			女子	1		女子			女子			女子			女子	
	中学記録	7	男子	7	1	男子	1		男子			男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
	学童記録	3	男子			男子			男子			男子			男子	
			女子	3		女子			女子			女子			女子	

		10/19			11/24			11/30			3/1			3/15		
長水路	日本記録		男子			男子			男子			男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
			混合			混合			混合			混合			混合	
	学生記録		男子			男子			男子			男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
			混合			混合			混合			混合			混合	
	高校記録	2	男子	2		男子		2	男子	2		男子			男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
	中学記録		男子			男子			男子		5	男子	5		男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
	学童記録		男子			男子			男子		2	男子	1	1	男子	1
			女子			女子			女子			女子	1		女子	
短水路	日本記録	2	男子	1		男子			男子		2	男子	2		男子	
			女子	1		女子			女子			女子			女子	
			混合			混合			混合			混合			混合	
	学生記録		男子		1	男子			男子		2	男子	2		男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
			混合			混合	1		混合			混合			混合	
	高校記録	2	男子	2	2	男子	2		男子		2	男子	2		男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
	中学記録	1	男子	1		男子			男子		6	男子	6		男子	
			女子			女子			女子			女子			女子	
	学童記録		男子			男子			男子		2	男子			男子	
			女子			女子			女子			女子	2		女子	

		3/22			3/30			合計		
長水路	日本記録	9	男子	5		男子		17	男子	12
			女子	4		女子			女子	5
			混合			混合			混合	0
	学生記録	4	男子	2		男子		7	男子	6
			女子	2		女子			女子	2
			混合			混合			混合	1
	高校記録	11	男子	10		男子		24	男子	23
			女子	1		女子			女子	1
	中学記録	2	男子	2		男子		10	男子	10
			女子			女子			女子	0
	学童記録	1	男子	1		男子		4	男子	3
			女子			女子			女子	1
短水路	日本記録		男子			男子		6	男子	5
			女子			女子			女子	1
			混合			混合			混合	0
	学生記録		男子			男子		7	男子	5
			女子			女子			女子	1
			混合			混合			混合	1
	高校記録		男子		9	男子	9	22	男子	21
			女子			女子			女子	1
	中学記録		男子		4	男子	2	19	男子	17
			女子			女子	2		女子	2
	学童記録		男子			男子		8	男子	0
			女子			女子	3		女子	8

長水路 合計 62
短水路 合計 62
新記録 合計 124

５．プール公認

50m（新 0･再 39）

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
50m	再　5653	奥武山水泳プール 50m プール	沖縄県	2030/3/31	RC	外
50m	再　5453	松山大学御幸プール	愛媛県	2030/3/31	RC	外
50m	再　5641	すわっこランド	長野県	2030/4/30	SS	外
50m	再　5623	栃木県立温水プール館	栃木県	2030/6/30	SS	内
50m	再　5588	宮城県総合プール(国際)	宮城県	2030/8/31	RC	内
50m	再　5582	福岡市立総合西市民プール(25m 併用)	福岡県	2030/6/30	RC	内
50m	再　5517	米沢市営プール	山形県	2030/6/30	PC	外
50m	再　5519	香川県立総合水泳プール	香川県	2030/7/31	RC	外
50m	再　5642	松山中央公園プール	愛媛県	2030/5/31	RC	内
50m	再　5581	東大阪市立総合体育館屋内プール	大阪府	2030/5/31	RC	内
50m	再　5643	福岡県営筑豊緑地 50m 公認プール	福岡県	2030/6/30	SS	外
50m	再　5014	愛知県一宮総合運動場	愛知県	2030/7/31	RC	外
50m	再　5579	世田谷区立総合運動場水泳場	東京都	2030/5/31	RC	内
50m	再　5250	長野東高等学校プール	長野県	2030/5/31	RC	外
50m	再　5585	飯田運動公園 50m 競泳プール	長野県	2030/6/30	SS	外
50m	再　5378	平田愛宕山プール	島根県	2030/9/30	RC	外
50m	再　1137	杉並区和田堀公園プール	東京都	2030/6/30	RC	外
50m	再　5500	前橋市民プール	群馬県	2030/6/30	RC	外
50m	再　5462	今治市営波方公園プール	愛媛県	2030/7/31	S	外
50m	再　5624	川崎市立橘高等学校プール	神奈川県	2030/10/31	FRP	外
50m	再　5524	鳥取市河原市民プール	鳥取県	2030/9/30	RC	外
50m	再　5520	福井運動公園水泳場	福井県	2030/7/31	RC	外
50m	再　5464	松任総合運動公園水泳プール	石川県	2030/9/30	PS	外
50m	再　5644	豊橋市屋内プール･アイスアリーナ	愛知県	2030/11/30	RC	内
50m	再　5521	長田いこいの広場プール	長崎県	2030/8/31	SS	外
50m	再　5210	三条市民プール	新潟県	2030/1/31	RC	外
50m	再　5654	山口きらら博記念公園水泳プール	山口県	2031/1/31	RC	内
50m	再　5646	尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設 50mプール	兵庫県	2031/4/30	RC	内
50m	再　5526	静岡県立水泳場	静岡県	2030/10/31	RC	内
50m	再　5528	長良川スイミングプラザ	岐阜県	2030/12/31	RC	外
50m	再　5525	広島大学(西条)プール	広島県	2030/10/31	AL	外
50m	再　5678	栃木県総合運動公園屋内水泳場 50m プール	栃木県	2030/11/30	RC	内
50m	再　96	千葉公園水泳プール	千葉県	2030/12/31	RC	外
50m	再　5679	福岡大学プール	福岡県	2031/3/31	RC	内
50m	再　5593	千葉県国際総合水泳場(メインプール)	千葉県	2031/3/31	RC	内
50m	再　5594	千葉県国際総合水泳場(サブプール)	千葉県	2031/3/31	RC	内

50m	再　5655	鴨池公園水泳プール	鹿児島県	2031/1/31	FRP	内
50m	再　5625	秋田県立総合プール	秋田県	2031/3/31	RC	内
50m	再　5530	平塚総合体育館温水プール(併用)	神奈川県	2031/3/31	RC	内

25m（新 2･再 57） 標準再1

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
25m	2941	福山市緑町公園屋内競技場 25m プール	広島県	2030/6/30	SS	内
25m	2942	島原市温水プール	長崎県	2030/9/30	SR	内
25m	再　2887	奥武山水泳プール 25mプール	沖縄県	2030/3/31	RC	外
25m	再　2634	出水市温水プール	鹿児島県	2030/4/30	RC	内
25m	再　2904	阿久根市B＆G海洋センタープール	鹿児島県	2030/3/31	S	内
25m	再　2869	姫路市立総合スポーツ会館プール	兵庫県	2030/5/31	SS	内
25m	再　2747	東海大学湘南校舎 15 号館ﾌﾟｰﾙ	神奈川県	2030/3/31	RC	内
25m	再　2444	マコトスイミングクラブ双葉	愛媛県	2029/7/31	RC	内
25m	再　2888	江戸川区スポーツセンター	東京都	2030/5/31	RC	内
25m	再　2927	戸田市スポーツセンター屋内プール	埼玉県	2030/5/31	SS	内
25m	再　2477	学校法人佐藤栄学園　花咲徳栄高等学校プール	埼玉県	2030/3/31	S	内
25m	再　2641	アブロス日新温水プール	北海道	2030/8/31	RC	内
25m	再　2836	栃木県立温水プール館	栃木県	2030/6/30	SS	内
25m	再　2757	宮城県総合プール(国際･併用)	宮城県	2030/8/31	RC	内
25m	再　2758	宮城県総合プール･サブプール	宮城県	2030/8/31	RC	内
25m	再　2754	吉川市屋内温水プール	埼玉県	2030/6/30	SS	内
25m	再　2751	福岡市立総合西市民プール(東西両面)	福岡県	2030/6/30	RC	内
25m	再　2638	香川県立総合水泳プール	香川県	2030/7/31	RC	内
25m	再　2870	松山中央公園プール(併用)	愛媛県	2030/5/31	RC	内
25m	再　2838	エス･パティオスポーツクラブ	兵庫県	2030/7/31	SS	内
25m	再　2279	ヤクルト八戸スイミングスクール	青森県	2030/7/31	AL	内
25m	再　2871	松本歯科大学体育館屋内プール	長野県	2030/6/30	RC	内
25m	再　2834	深川市温水プール	北海道	2030/5/31	SS	内
25m	再　2833	広島県立みよし公園温水プール	広島県	2030/5/31	SS	内
25m	再　2644	滋賀県立障害者福祉センター	滋賀県	2030/8/31	FRP	内
25m	再　2837	マリンスパあたみ 25m プール	静岡県	2030/7/31	SS	内
25m	再　2760	愛知学院大学スポーツセンタープール	愛知県	2030/9/30	RC	内
25m	再　2761	大分市営温水プール	大分県	2030/10/31	SS	内
25m	再　2891	山口きらら博記念公園水泳プール	山口県	2031/1/31	RC	内
25m	再　2875	尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設 25m プール	兵庫県	2031/4/30	FRP	内
25m	再　2857	静岡県立水泳場	静岡県	2030/10/31	RC	内
25m	再　2650	長良川スイミングプラザ	岐阜県	2030/12/31	RC	内
25m	再　2658	ピュアスポーツ柏原	兵庫県	2031/3/31	FRP	内
25m	再　2281	東京ドルフィンクラブ桜台SS	東京都	2030/7/31	RC	内

25m	再　2841	安城市スポーツセンター	愛知県	2030/12/31	SS	内
25m	再　2239	東京ドルフィンクラブ駒沢	東京都	2029/7/31	RC	内
25m	再　2609	黒部市総合体育センター温水プール	富山県	2029/8/31	RC	内
25m	再　2648	大教スイミングスクールいわき	福島県	2030/11/30	RC	内
25m	再　2928	栃木県総合運動公園屋内水泳場併用 25m プール	栃木県	2030/11/30	RC	内
25m	再　2892	川崎市多摩スポーツセンター	神奈川県	2031/1/31	RC	内
25m	再　2199	高島平スイミングスクール	東京都	2030/12/31	AL	内
25m	再　2486	エリエールスポーツクラブ	愛媛県	2030/6/30	SS	内
25m	再　2907	福井県営水泳場屋内プール	福井県	2030/11/30	FRP	内
25m	再　2932	福岡大学プール	福岡県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2762	千葉県国際総合水泳場(メインプール短水路)	千葉県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2931	フィットネスクラブ FLAT	長野県	2031/3/31	FRP	内
25m	再　2909	葛飾区水元総合スポーツセンター温水プール	東京都	2031/3/31	FRP	内
25m	再　2894	鴨池公園水泳プール	鹿児島県	2031/1/31	FRP	内
25m	再　2662	山口市小郡屋内プール	山口県	2031/4/30	FRP	内
25m	再　2652	紋別市健康プール	北海道	2031/1/31	RC	内
25m	再　2764	鰺ヶ沢町室内温水プール	青森県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2843	秋田県立総合プール	秋田県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2655	氷見市民プール・トレーニングセンター	富山県	2031/1/31	RC	内
25m	再　2659	平塚総合体育館温水プール(併用)	神奈川県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2872	SAGA アクア 25mプール	佐賀県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2842	宇都宮市河内総合運動公園屋内プール	栃木県	2031/3/31	RC	内
25m	再　2929	栃木県総合運動公園屋内水泳場併用 25m プール(飛込)	栃木県	2030/11/30	RC	内
25m	再　1950	中央大学屋内プール	東京都	2030/12/31	RC	内

飛込(新 0・再 11)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
飛込	再　飛 78	奥武山水泳プール飛込プール	沖縄県	2030/3/31	RC	外
飛込	再　飛 57	宮城県総合プール	宮城県	2030/8/31	RC	内
飛込	再　飛 44	郡山カルチャーパークプール	福島県	2030/6/30	RC	外
飛込	再　飛 43	米沢市営プール	山形県	2030/6/30	PC	外
飛込	再　飛 45	香川県立総合水泳プール飛込	香川県	2030/7/31	RC	外
飛込	再　飛 47	静岡県立水泳場	静岡県	2030/10/31	RC	内
飛込	再　飛 48	長良川スイミングプラザ	岐阜県	2030/12/31	RC	外
飛込	再　飛 82	栃木県総合運動公園屋内水泳場飛込プール	栃木県	2030/11/30	RC	内
飛込	再　飛 58	千葉県国際総合水泳場(飛込プール)	千葉県	2031/3/31	RC	内
飛込	再　飛 79	鴨池公園水泳プール	鹿児島県	2031/1/31	RC	内
飛込	再　飛 67	秋田県総合プール	秋田県	2031/3/31	RC	内

水球(新 0・再 1)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外

水球	再　WP001	秀明大学屋内プール	千葉県	2030/3/31	FRP	内

≪普及事業≫

１．指導者養成関係

①地域指導者研修会・講習会　　地域指導者委員会

2025 年度 地域指導者委員会に関する主な事業		
水泳コーチ養成に関する事業		
コーチ２ 養成講習会 日本水泳連盟地域指導者委員会：6 名修了（11 名受講）　再検定：4 名修了（19 名受験）		
基礎水泳指導員・公認水泳コーチ１ 養成講習会 47 都道府県加盟団体で実施 コーチ２（マスター称号）：169 名　コーチ２：1,097 名　コーチ１：7,022 名 基礎水泳指導員　1,037 名（単年度登録者数）		
免除適応校専門科目検定（合格者数） 北海道会場：１名 東京会場　：１名 大阪会場　：２名 大学　　：５名		
アスリート免除審査　2025 年４月～2026 年３月　　17 名		
研修に関する事業		
基礎水泳指導員・公認水泳コーチ１・２ 更新研修会 47 都道府県加盟団体で実施（集合）		
小中学校教員対象水泳指導研修会講師派遣 千葉県教育研修会体育部会松戸支部研修会	6 月 11 日（水）	千葉県松戸市立貝の花小学校
会議に関する事業		
第 49 回全国地域指導者（普及）委員長会議 6 月 7 日（土）～8 日（日）　東京ガーデンパレス		

地区別委員長会議派遣		
北海道・東北地区委員長会議	10 月 25 日	山形県
関東地区委員長会議	11 月 8 日	東京都
北信越地区委員長会議	11 月 8 日	派遣なし
東海地区委員長会議	1 月 17 日	派遣なし
近畿地区委員長会議	11 月 22 日	和歌山県
中国地区委員長会議	11 月 24 日	派遣なし
四国地区委員長会議	11 月 1 日	愛媛県
九州地区委員長会議	2 月 14 日	佐賀県

②コーチ研修会・講習会　　競技力向上コーチ委員会

（1）コーチ３・４研修会　　10 月 5 日（日）日本大学文理学部（対面・ライブ）

（2）コーチ３・４研修会　　10 月 21 日（火）～ 1 月 19 日（月）（オンデマンド）

（3）コーチ養成講習会

種別	日程・形態	競泳	飛込	水球	ＡＳ	OWS	合計
コーチ３	11 月 7,8,9 日　日本大学文理学部	73 名	5 名	8 名	6 名	10 名	102 名

種別	日程・形態	競泳	飛込	水球	ＡＳ	OWS	合計
コーチ４	11 月 1 日,2 日　日本大学文理学部	13 名	1 名	5 名	0 名	2 名	21 名

*過年度生を含む

③水泳教師研修会　　水泳教師委員会

(ア)水泳教師資格更新研修会 全国 23 会場 受講者数 294 人　　SC 協にて実施

管轄	場所	研修会名	開催日	教師更新者人数
全国	関東	ストレス予防改善水泳指導者研修会	4 月 26 日・27 日	8 名
全国	関東	全国水泳指導者特別研修会	6 月 15 日	21 名
全国	近畿	内科的疾患予防改善水泳指導者研修会	6 月 28 日・29 日	7 名
全国	関東	アクア全国研修会	7 月 6 日	13 名
全国	関東	循環器系疾患予防改善水泳指導者研修	9 月 13 日・14 日	12 名
全国	近畿	整形外科的疾患予防改善水泳指導者研	11 月 15 日・16 日	8 名
全国	関東	転倒・寝たきり予防改善水泳指導者研	2 月 7 日・8 日	22 名
全国	近畿	肥満予防改善水泳指導者研修会	3 月 14 日・15 日	22 名
北海道	北海道	水泳指導者研修会	2 月 15 日	8 名
東北	東北	第 1 回水泳指導者研修会	7 月 13 日	15 名

関東	関東	第1回指導力向上セミナー	9月7日	14名
関東	関東	第2回指導力向上セミナー	12月21日	20名
関東	関東	身体障害者水泳指導研修会	2月1日	13名
信越	信越	指導力向上セミナー	11月23日	14名
北陸	北陸	水泳指導者研修会	11月2日	8名
東海	東海	妊婦水泳研修会	12月14日	2名
	東海	第３５回競泳研修会	1月18日	13名
	東海	令和7年度ベビースイミング研修会	2月15日	10名
近畿	近畿	水泳指導者研修会	5月18日	7名
	近畿	水泳指導者研修会	12月 7日	12名
中国	中国	水泳教師更新研修会	10月14日	4名
四国	四国	指導者研修会	11月24日	7名
九州	九州	九州指導者研修会	2月15日	15名
合計				294名

（イ）水泳教師養成講習会(受講者)

【新規養成コース】　　ＳＣ協担当　専門科目受講者　延べ　259名

支部	科目	開催日	受講者数	合格者数	不合格数	（欠席）	（不合格）
北海道	基本	10月4日	2	2	0	0	0
	学童	10月5日	2	2	0	0	0
	成人	11月8日	2	2	0	0	0
	幼児	11月9日	2	2	0	0	0
	競技	2月14日	2	2	0	0	0
東北	幼児	8月3日	13	13	0	0	0
	学童	9月7日	10	10	0	0	0
	成人	9月28日	13	11	2	1	1
	競技	11月14日	10	10	0	0	0
	基本	1月25日	7	7	0	0	0
関東	基本	8月11日	12	10	2	0	2
	学童	8月12日	15	15	0	0	0
	成人	8月13日	13	13	0	0	0
	幼児	8月14日	14	13	1	0	1
	競技	8月15日	10	10	0	0	0
	高齢者	8月15日	3	3	0	0	0
	安全	8月16日	9	7	2	0	2
信越	基本	5月18日	3	3	0	0	0
	成人	5月18日	5	5	0	0	0
	競技	5月18日	2	2	0	0	0
	基本	6月8日	4	4	0	0	0
	幼児	6月8日	1	1	0	0	0

	学童	8月17日	2	2	0	0	0
	学童	9月7日	1	1	0	0	0
	成人	9月7日	1	1	0	0	0
	競技	9月7日	1	3	0	0	0
北陸	幼児	6月15日	5	5	0	0	0
	学童	9月21日	7	7	0	0	0
	基本	10月5日	中止				
	競技	3月8日	中止				
東海	ベビー	3月23日	4	4	0	0	0
	基本	5月25日	10	10	0	0	0
	施設	5月25日	3	3	0	0	0
	学童	6月22日	13	13	0	0	0
	幼児	7月13日	16	16	0	0	0
	成人	9月28日	8	8	0	0	0
	競技	10月26日	5	5	0	0	0
	高齢者	11月30日	2	2	0	0	0
	妊婦	12月14日	4	4	0	0	0
	ベビー	2月15日	4	4	0	0	0
近畿	基本	3月16日	3	2	1	0	1
	ベビー	3月16日	8	8	0	0	0
	学童	10月12日	4	4	0	0	0
	妊婦	10月12日	3	3	0	0	0
	幼児	10月13日	6	6	0	0	0
	ベビー	10月13日	1	1	0	0	0
	成人	12月14日	中止				
	施設	12月14日	中止				
	競技	1月18日	3	3	0	0	0
	基本	3月22日	4	4	0	0	0
中国	幼児	5月27日	3	2	1	0	1
	学童	7月6日	3	2	1	0	1
	成人	11月4日	3	3	0	0	0
	競技	1月20日	5	5	0	0	0
	安全	2月10日	8	8	0	0	0
四国	基本	9月29日	6	6	0	0	0
	幼児	10月31日	3	3	0	0	0
	競技	10月31日	5	5	0	0	0
九州	基本	5月29日	13	10	3	0	3
	学童	5月30日	16	16	0	0	0
	基本	10月18日	8	7	1	0	1
	幼児	10月19日	12	11	1	0	1
	学童	11月29日	11	11	0	0	0
	競技	11月30日	9	9	0	0	0

計			379	360	15	1	14

【適応認定コース】　（本連盟 担当）

適応コース	開催日	開催地	合格	不合格
東京 YMCA 社会体育・保育専門学校	1 月 21 日	東京都	9	0
大阪社体スポーツ専門学校	1 月 26 日	大阪府	2	0
計			11	0

(ウ)水泳教師在籍施設証明事業（JSPO 共同事業）

	新　規	更　新	総　数
2025 年　4 月認定	3	18	21
2025 年 10 月認定	2	17	19
計	5	35	40
2025 年度末　認定施設数			158

(エ)スキルアップセミナー

開　催　場　所	開催日	開催地	参加者数
かながわ労働プラザ	12 月 7 日	神奈川県横浜市	40
東京都	開催せず	東京都	―

2.各種指導員登録数

2026年3月31日現在

	有効期間内JSPO公認指導者総数（有効期間：2022～2025年度）						本連盟公認指導者数（2025年度）
	コーチ1	コーチ2	コーチ3	コーチ4	教師	上級教師	基礎水泳指導員
北海道	659	61	102	11	91	12	39
青森	72	25	18	4	5		0
岩手	96	15	27	1	6		14
宮城	89	26	40	11	32	14	30
秋田	83	8	15	7	2		10
山形	74	13	28	10	12	6	11
福島	175	48	33	4	27	9	0
茨城	168	20	66	26	37	7	42
栃木	133	20	38	13	19	1	31
群馬	113	22	61	13	27	5	7
埼玉	443	43	211	52	130	12	85
千葉	156	10	151	32	60	9	52
東京	1,090	168	576	141	260	60	127
神奈川	334	49	235	81	149	29	68
山梨	27	7	22	5	4	1	5
長野	35	6	41	11	77	16	3
新潟	319	51	80	18	39	6	0
富山	96	36	57	19	25	7	17
石川	44	10	38	7	19	2	10
福井	22	3	18	4	37	3	0
静岡	265	18	85	28	57	6	41
愛知	341	65	151	49	109	36	29
三重	146	23	53	14	34	6	20
岐阜	173	12	32	7	23	6	0
滋賀	102	10	38	13	16	4	0
京都	82	25	52	21	32	6	34
大阪	133	35	175	54	112	18	36
兵庫	171	27	102	35	46	8	36
奈良	51	4	20	6	17	1	26
和歌山	20	10	23	8	13	5	12
鳥取	36	11	19	6	7		14
島根	65	4	24	7	16	4	10
岡山	94	7	31	11	27	4	32
広島	139	16	56	13	26	9	26
山口	88	7	24	9	13	3	13
香川	86	20	22	8	26	6	0
徳島	22	6	10	6	10	1	0
愛媛	90	29	14	7	16	4	0
高知	49	19	21	3	3	1	2
福岡	121	8	102	25	63	13	40
佐賀	29	2	19	0	3	2	0
長崎	65	11	16	6	12	3	30
熊本	132	46	21	3	16		41
大分	67	2	19	4	5	2	29
宮崎	30	4	16	3	10	1	4
鹿児島	111	24	30	5	24	4	0
沖縄	97	11	26	5	15	7	11
合計	7,033	1,097	3,058	826	1,809	359	1,037

３．泳力検定実施状況

		2020年度 (2020/4/1~2021/3/31)		2021年度 (2021/4/1~2022/3/31)		2022年度 (2022/4/1~2023/3/31)		2023年度 (2023/4/1~2024/3/31)		2024年度 (2024/4/1~2025/3/31)		2025年度 (2025/4/1~2026/3/31)	
都道府県		受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数
1	北海道	1,198	890	1,611	1,119	2,333	1,673	2,092	1,500	2,383	1,728	2,025	1,475
2	青　森	457	303	540	399	322	249	322	247	356	332	215	196
3	岩　手	182	160	383	342	525	435	399	357	449	370	302	259
4	宮　城	258	220	532	457	611	477	754	636	963	804	661	547
5	秋　田	3	3	0	0	4	4	1	1	1	1	12	12
6	山　形	61	61	83	83	53	53	49	46	81	68	45	37
7	福　島	1,161	885	1,154	765	1,016	743	1,035	740	1,110	815	725	538
8	茨　城	2,688	2,077	3,566	2,598	3,379	2,546	3,058	2,432	3,314	2,708	3,202	2,565
9	栃　木	266	208	481	396	899	726	777	670	839	679	901	720
10	群　馬	2,003	1,603	2,496	1,956	2,384	1,801	2,391	1,911	2,052	1,670	2,112	1,689
11	埼　玉	7,169	4,547	10,306	6,711	10,973	7,268	10,275	7,033	11,102	7,933	9,397	6,864
12	千　葉	2,593	1,287	3,036	1,329	3,540	1,896	3,214	1,964	2,567	1,661	2,216	1,685
13	東　京	8,298	7,806	4,612	4,072	8,608	8,192	10,128	9,713	10,522	10,066	8,811	8,387
14	神奈川	2,029	1,269	3,016	1,958	3,328	2,279	3,576	2,842	3,038	2,441	2,571	2,093
15	山　梨	219	210	7	7	231	204	137	128	141	135	190	189
16	長　野	110	89	140	120	114	99	200	167	186	161	65	58
17	新　潟	104	103	27	27	17	17	168	148	46	45	88	80
18	富　山	77	77	85	82	69	66	64	61	61	57	14	12
19	石　川	17	12	110	91	298	213	752	591	349	292	700	563
20	福　井	58	26	90	33	100	44	53	20	7	3	4	2
21	静　岡	993	899	1,351	1,182	1,435	1,258	1,399	1,256	1,264	1,187	1,233	1,128
22	愛　知	2,045	1,505	2,274	1,488	3,026	2,077	4,809	2,754	4,349	2,571	4,086	2,962
23	三　重	177	168	262	234	320	274	223	194	265	238	324	265
24	岐　阜	340	287	241	226	487	413	292	243	254	206	965	862
25	滋　賀	89	89	153	116	183	182	260	250	258	251	137	128
26	京　都	295	271	268	241	735	593	484	332	768	679	340	338
27	大　阪	467	369	1,105	895	810	656	1,089	941	648	519	305	261
28	兵　庫	778	630	1,647	1,189	1,492	1,134	1,763	1,392	874	727	802	702
29	奈　良	257	183	595	434	690	497	766	601	470	379	339	280
30	和歌山	291	259	314	287	380	342	386	333	346	303	209	176
31	鳥　取	0	0	23	23	0	0	151	133	0	0	0	0
32	島　根	0	0	0	0	103	102	96	93	87	87	0	0
33	岡　山	18	18	35	35	308	282	307	215	317	223	260	179
34	広　島	106	99	120	108	300	247	651	581	603	512	404	347
35	山　口	139	115	257	225	174	153	331	301	357	325	344	306
36	香　川	0	0	0	0	0	0	0	0	66	63	0	0
37	徳　島	0	0	0	0	6	5	30	25	331	316	0	0
38	愛　媛	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	高　知	0	0	75	60	58	41	102	86	37	34	0	0
40	福　岡	55	55	218	217	241	233	341	320	343	322	349	320
41	佐　賀	373	265	0	0	4	4	57	51	0	0	0	0
42	長　崎	16	14	1	0	0	0	76	70	187	155	36	23
43	熊　本	0	0	0	0	39	38	19	16	0	0	0	0
44	大　分	166	160	211	204	245	222	284	255	213	191	98	98
45	宮　崎	0	0	46	39	32	23	133	98	521	473	61	47
46	鹿児島	0	0	8	8	2	2	40	38	21	20	185	182
47	沖　縄	29	23	55	42	75	61	216	162	317	260	294	231
48	ベトナム	35	29	67	63	0	0	123	123	107	103	0	0
49	タイ	0	0	0	0	14	14	53	53	40	40	40	40
OWS検定		111	104	98	81	202	167	113	98	47	44	0	0
飛込検定		0	0	0	0	445	405	318	278	292	213	201	169
合　計		35,758	27,405	41,699	29,942	50,610	38,410	54,357	42,499	52,949	42,410	45,268	37,015

※2026年３月末までにご報告いただいた集計分となります。

４．地域会議報告

地　域	担当県	日　程	出席者		
北海道	札幌	10 月 18 日(土)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
九州	宮崎	10 月 25 日(土)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
関東	埼玉	11 月　1 日(土)	齋藤会長代行	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
北信越	新潟	11 月　8 日(土)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
東海	愛知	11 月 22 日(土)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
近畿	兵庫	11 月 23 日(日)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
中国	岡山	11 月 24 日(月)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
東北	岩手	11 月 29 日(土)	齋藤会長代行	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事
四国	徳島	12 月 13 日(土)	鈴木 会長	金子副会長兼専務理事	丸笹常務理事

<u>議　　題</u>

1. 歓迎の挨拶　　開催地　加盟団体長
2. 挨拶及び現況報告　　会長　鈴木　大地
   世界水泳選手権 2025（シンガポール）　競泳、飛込、水球、AS、OWS
3. 事業報告

（１）競技力向上事業関係
   2026 年度インターナショナル・ナショナル選手標準記録

（２）競技運営推進事業関係
   ① 2025 年度下期開催予定
   ② 2026 年度主要競技会開催予定
   ③ 2026 年度主要競技会標準記録（案）
   ④ 国スポ関係報告（滋賀 2025）
   ⑤ 令和 9 年度以降の全国中学校水泳競技大会開催方針
   ⑥ その他

（３）普及事業関係
   ① 日本スポーツマスターズ 2025
   ② 指導者養成事業関係
   ③ 泳力検定制度　推進状況
   ④「水泳の日」 報告

（４）総務関係
   ① 水泳ニッポン・中期計画 2017－2024（進捗報告）
   ② 水泳ニッポン・新時代構想 中期計画 2025－2032
   ③ 競技者登録状況
   ④ 2026 年度会議日程案
   ⑤ ガバナンスコード対応について
   ⑥ 名誉会長、名誉顧問、顧問、参与及び会賓に関する規程について
   ⑦ 評議員及び役員候補者選任規程について
   ⑧ その他
      ア．2025 アンチ・ドーピング最近の話題
      イ．スポーツ界における暴力行為根絶宣言
      ウ．倫理に関するガイドライン等

（５）その他
   ① 水泳三団体 総合補償制度 推進状況
   ② 全国 11 ブロック合宿・遠征について
   ③ コンプライアンスについて（今年度の事例報告）
   ④ 有功章推薦者について（表彰者名簿の共有）

⑤ 競泳用リザルトソフトウェア Ver.5.3 サポート期限のお知らせ
⑥ JAQUA ロゴピンバッジ販売のお知らせ
⑦月刊水泳の Web 化と発行回数の変更について

4. 各加盟団体の要望および意見
5. 来年度地域会議開催日程について
6. 質疑応答

2025 年度地域会議における要望・意見および質疑応答事項

北海道ブロック会議(2025 年 10 月 18 日）札幌

１．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会の継続について令和９年度より中体連との協議を進めながら日本水泳連盟主催大会として全国中学校水泳競技大会を継続することは伺っておりますが、地域の予選会の位置付け、費用負担（会場費・運営費等）はどうなるのか。

【回答】

地域大会の実施方法についてはまだ結論は出ていない。中体連の主催大会でなくなると中体連・開催市町村等の補助は難しくなると予想できる。特定の予選会を行わず、全国ジュニアオリンピックカップ方式での派遣エントリー方法も検討している。

２．加盟団体等、地域団体が指定管理等の構成団体に入れるか。

【回答】

東京アクアティクスセンターのように東京都水泳協会が構成団体に参加しているケースもあります。

３．ロサンゼルスオリンピックで採用される 50m特種目の地方大会でのあり方を伺いたい

【回答】

主要大会での実施方法もまだ検討中である。決定後、早めに回答させていただきます。

４．ＳＥＩＫＯ競泳用リザルトソフトウェアの予算的に維持が難しい。クラウド化等により更新しやすい環境をつくれないか。

【回答】

ＳＥＩＫＯと引き続き、協議して参ります。

５．学校水泳授業の継続に向けて小中学校への指導者の派遣や教職員向けに指導研修を開催しているが、教職員の研修への参加がなかった。水泳授業への関心を教職員が持っていただけるように日水連として働きかけをお願いしたい。

【回答】

児童の体験格差を解消するべく、水泳授業の維持継続を目指し、オリンピアンに協力いただいて水泳派遣授業「スイム・スマイルプロジェクト」の拡充を 2026 年度以降、行っていきます。また、継続して行政への働きかけを行っております。

九州ブロック会議(2025 年 10 月 25 日）宮崎

１．主要競技会における付添コーチの資格保有義務化について

2025 年度の競技会要項より、「2025 年度より、付添コーチの内少なくとも１名は、公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ指導者制度に基づき、競泳競技における公認水泳コーチ３以上の資格を有することを原則とする。資格義務付けの準備期間を 2029 年度までとし、2030 年度大会からは資格義務付け完全実施となります。」と追記がありました。日水連に問い合わせを行った結果、「2025 年度大会においては付添者（引率コーチ）に対して資格の有無は問わない」、「2030 年度からの付添者の資格保有義務化に向けて検討を進めて行く予定」と回答を得ています。

①付添コーチの公認水泳コーチ３以上の資格保有義務化は正式にはいつから実施されるのか

②資格保有義務化にあたり、付添コーチ全員が資格を保有している必要があるのか、複数名の付添コーチのうち少なくとも 1 名が資格を保有していればよいのか。

③付添コーチの保有資格の種類として、コーチ 3 以外の種類の資格も認める可能性はあるのか。

【回答】

①スポーツ庁「第三期スポーツ基本計画」を受け、優れた指導者の確保、選手の安全・安心確保に向けて、資格保有義務化を進めるための布石として 2025 年度要項からこのことを付記させて頂いております。ＪＳＰＯの公認スポーツ指導者資格取得義務化の方針にも準じて 2025 年度～2029 年度は公認指導者資格保有義務化に向けた移行措置期間とし、2030 年度での原則義務化を予定しております。

②出場団体の付添コーチの内、少なくても 1 名の資格保有でお願いします。

③10月６日に加盟団体長宛にメールにてご案内させていただきましたが、 当初「コーチ３以上」としておりましたが、上記のとおりＪＳＰＯ公認水泳指導者資格のすべてを対象要件としました。

２．超速のシステムの都道府県毎の取り扱いについて

各都道府県の事情に合わせて、システムを使用することは可能か。

福岡県の場合、２本増設、つまり各地区で１本はソフトを所有することは可能か。

【回答】

利用制限は設けておりませんので公認、非公認、複数同時開催等問題なくご利用になれます。

右記ＱＲよりダウンロードできます。

３．国スポ前の視察、役員指導等の日本水泳連盟からの派遣の人数についてＯＷＳ競技にて視察に３回、プレ大会１回、リハーサル大会１回が予定されており、ライフセービング協会も含めると都度５名程度の来県があります。２名分は日本水泳連盟負担と聞いておりますが、その他は宮崎県が交通費、宿泊費、食事代等負担となります。リハーサル大会は市の予算が多少出ますが、旅費規程にも限りがありますので、加盟団体負担が大きいです。経費負担等を明確にして頂きたいです。

【回答】

国スポ前の視察について、ＯＷＳ競技においては派遣の人数規定がありません。

・視察（2024年10月16日）：原委員長・ＪＬＡ石井が延岡市の費用にて実施

・審判講習会兼視察（2025年６月７日～８日）：亀田副委員長・渡辺が日水連の費用で実施。川原山・石井・綱嶋が審判講習会の講師として宮崎県水泳連盟の費用で派遣。
・プレ大会（2025年10月18日～19日）：川原山・渡辺が日水連の費用で実施。亀田・石井・綱嶋がプレ大会として宮崎県水泳連盟の費用で派遣。
・リハーサル大会（来年実施）
今後、国スポの視察について、派遣の人数規定を明確化していきます。

４．競技役員指導について
次世代の競技役員を育成するにあたり、全国大会等に勉強のため、派遣させていただきますが、指導のあり方をもう少し考えていただきたい。厳しくご指導いただくのはありがたい事ですが、若手が辞めてしまっては地方の努力の無駄です。競技会のあり方にも、それぞれの見解や指導で相違があり、戸惑いがあります。もう少し統一した見解で、大会運営指導をお願いしたい。
【回答】
指導者は、本人の成長を楽しみにしていたがお辞めになったことを知り、「自分の伝え方が悪かったのか…」とかなりショックと反省をしています。今回の注意点は、ビジョンに映し出されたタイミングと通告するタイミング、喋るだけでなく場内の状況などを確認しての通告についてだったようです。「これがこうだからダメでは無く、何故ダメなのかを自分で感じ取って、どう変えたら、もっと良くなるかを考えて欲しい」と思い伝えたそうです。取り方の違いがあったにせよ、今後このような事が起きないように競技委員会としても注意してまいります。

５．国民スポーツ大会における水球競技ブロック枠が他ブロックに比べて不公平感がある。参加都道府県及び参加機会の公平性の観点から出場枠（ブロック枠）の見直しを要望する。国民スポーツ大会では参加人数での制限があるため、単純に加都道府県を増やすことが難しければ１チームの選手数を減らすことで出場枠を増やせないか。
【回答】
ご意見として伺い、水球委員会に共有させていただきます。

６．国民スポーツ大会におけるＯＷＳ競技にて競泳とＯＷＳにて監督を兼ねられるようになり、派遣枠が減った。監督を兼ねる場合、別日程のために滞在期間が長くなり、費用負担が大きい。せめて監督者会議への参加をコーチ可にできないか。
【回答】
ご意見として伺い、日本スポーツ協会に共有させていただきます。

７．国民スポーツ大会の３巡目大会からブロック対抗での実施が検討されてると伺ったが本当か。
【回答】
意見としては出ていたが方針として決定されたものではありません。進展等ありましたら共有させていただきます。

８．国民スポーツ大会の水泳競技の「会期前」の表現はなんとかならないか。

【回答】

日本スポーツ協会に継続して意見としてあげさせていただきます。

９．新しい競技役員ユニフォームが丈が長かったりとサイズ感がおかしい。また、生産も滞っている状況も何とかならないか。

【回答】

他ブロックからも意見がありますのでミズノにご意見として共有させていただきます。

10．日本選手権（25m）の地方開催を検討していると伺っているが、開催内容や方針はどうなっているか。

【回答】

地方開催等検討しているが内容等については決まっております。共有できる情報等ありましたらお知らせいたします。

11．来年度のブロック合宿の担当が大分県となっている。長水路のプールがないが短水路にて合宿を検討しても良いか。

【回答】

各都道府県の現状にあわせていただいて問題ございません。

12．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催についての意見

【九州ブロックからの意見】

・中体連から日水連主催となった場合の予算面が心配である。
・ＪＯ同様に都道府県内大会での標準記録突破を条件とするのはどうか。
・県内予選会の県水連での単独開催は予算的に厳しく赤字となる。
・既存大会は参加費を徴収していないが、今後は難しい。
・部活動の地域移行の方針が見えない。
・指導資格を有しない選手個人の親がチーム登録して競技会に参加する可能性がある。
・所属学校の引率が無いと競技会に出れない場合がある。

関東ブロック会議(2025 年 11 月 1 日）埼玉

１．全国 JOC ジュニアオリンピック大会への OWS 競技追加について

世界水泳シンガポール大会にて初の金メダルも獲得し、競技として大変注目されている。オリンピックでのメダル獲得に向けて更なる競技の強化推進と普及の為にタイミングを逃さずにジュニア層へのアプローチとしてジュニアオリンピックを開催すべき。

【回答】

ＯＷＳ委員会にて来年度以降の大会開催に向けて検討中。特に開催時期については慎重に検討をしている。方針を固めて 12～1 月にＪＯＣへの申請および必要事項相談を行う予定。

２．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会の継続について

令和９年度より中体連との協議を進めながら日本水泳連盟主催大会として全国中学校水泳競技大会を継続することは方針として決まっている。地域の予選会の位置付け、費用負担（会場費・運営費等）等について各加盟団体より意見を伺った。

【回答】

・中体連の主催大会でなくなると中体連・開催市町村等の補助は難しくなると予想できる。運営費の負担が心配である。また、競技役員の派遣等でも県水連の負担も多くなり、大会の開催について不安がある。

・特定の予選会を行わず、全国ジュニアオリンピックカップ（以下ＪＯ）方式での派遣エントリー方法も案としてでているが、競技会の開催回数等も差異があるので各都道府県にて不平等が無いように検討はすべきである。ＪＯとの差別化も重要、長・短水路での開催方法もどうなるか。

・ＪＯとの差別化の為、１発勝負の予選会は維持したい。また、中学の教職員を関わらせるのであれば予選会は１大会の方が良い。

・全国大会に出場できる生徒は一握りである。地区大会や都道府県大会等を目指して頑張っている生徒も多数いるので各予選会は維持したい。

・文部科学省（スポーツ庁・文化庁）の発表した地域クラブ活動に関する認定制度についても研究し、対応等検討すべきである。（高校入試での評価含）

・都道府県での予選会実施について日本中体連経由で発信して欲しい

・スイミングクラブ（以下ＳＣ）対応が増えていった場合、ＳＣの負担も増え競技会のバッティングや各ＳＣの運営状況により、派遣コーチ等が維持されるか不安である。

・今まで通り、予選会を実施する。

・関東中学については全国中学突破者は出場できなかったが、地区予選、都県予選、関東予選、全国大会の順での実施指示も受けている。

北信越ブロック会議(2025 年 11 月 8 日）新潟

１．中体連の最新の動向について、日水連の対応方針、 また各ブロックの情報があれば共有してください。

【回答】

地域会議の議題「令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催方針」にてご報告させていただきます。

２．国民スポーツ大会参加資格（成年）について 学生については、ふるさと選手制度に合わせて、基本は 「出身地から出場」であると認識していますが、各競技で 徹底されているのでしょうか。 また、女子水球競技において、都道府県を転々とする選手についての見解はいかがでしょうか。

【回答】

「ふるさと選手」制度は水泳競技だけでなく、国スポ全競技に適応される制度です。各競技においてエントリーの際確認作業が行われております。水泳競技におきましては、確認作業が徹底され国スポ終了後、エントリーに関する違反行為は今まで１件もありませんでした。女子水球競技で、都道府県を転々としている選手につきましては、指摘を受けている選手がどのように「転々と」しているのか不明ですので回答しにくいのですが、大学卒業から勤務地への変更はあったと思います。それであれば正式な手続きで変更が可能ですので問題は無いかと思います。

３．事務局体制のさらなる強化広範かつ膨大な業務を遂行している連盟職員に感謝する一方で、様々な事案で停滞が生じていることも事実であり、スタッフの増強やＤＸ化を進めればどうでしょうか。

【回答】

日頃より、広範かつ膨大な業務を遂行されている加盟団体の皆様にも、心より敬意と感謝を申し上げます。多岐にわたる業務を限られた体制の中で支えていただいていることは、本連盟の活動を支える根幹であり、そのご尽力に深く感謝しております。本連盟事務局では、近年の業務量の増加や複雑化に伴い、いくつかの事案において対応の停滞が見受けられることも事実であり、これは事務局スタッフの負担が限界に近づいていることの表れとも受け止めております。こうした状況を踏まえ、事務局体制のさらなる強化策として、以下の２点を検討しております。

①スタッフの増員・専門人材の配置業務の分野ごとに専門性を持つ人材を配置することで、対応の迅速化と質の向上が期待されます。また、既存職員の業務負担軽減にもつながり、持続可能な体制構築に寄与するものと考えます。

② ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進業務の一部をデジタル化・自動化することで、事務処理の効率化が図れます。例えば、会員管理、申請受付、情報発信などの業務において、クラウドサービスや業務支援ツールの導入を検討することで、人的リソースの最適化が可能となります。現在、事務局内に検討委員会を立ち上げ議論しております。

４．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会の継続について

令和９年度より中体連との協議を進めながら日本水泳連盟主催大会として全国中学校水泳競技大会を継続することは方針として決まっている。地域の予選会の位置付け、費用負担（会場費・運営費等）等について各加盟団体より意見を伺った。

【北信越ブロックからの意見】

・全国中学校水泳競技大会の開催時期によっては、北信越ブロック大会も予選会として検討したい
・中体連の主催大会でなくなると中体連・開催市町村等の補助は難しくなると予想できる。運営費の負担が心配である。また、競技役員の派遣等でも県水連の負担も多くなり、大会の開催について不安がある。
・参加人数も減少しており、地域予選会も実施を見合わせた。県での予選会も参加人数が厳しい状況である。

・主催が日水連となった場合の今まで市町村行政等からいただいていた補助や助成がどうなるかが心配である。継続して受け取れるように検討してもらいたい

５．小中学校等の地域のプール施設の維持状況について、情報をお聞きしたい。

【回答】

・民間施設への水泳授業の移行が進んでいる。

・学校水泳授業を行う拠点プールとしての新設が検討されている。

・故障後のプールは改修を行わないと通知がきている。

・中学校の水泳授業はコロナ以降行われなくなった。

東海ブロック会議(2025 年 11 月 22 日）愛知

１．全国大会の引率者（コーチ３以上）について、緩和措置が取られたが、インターハイの場合、高校の引率教員は資格をもたないケースが考えられるが、その対策はいかがでしょうか。

【回答】

インターハイ、全国中学校水泳競技大会については資格保有義務化の対象となっておりません。

２．令和９年度以降の全国中学大会について、進捗状況をお伺いします。県予選会の要否、中体連の関わりなど準備が必要なため、要項の公表をお願いします。

【回答】

地域会議の議題「令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催方針」にてご報告させていただきます。

３．ＪＡＱＵＡのシャツに県名を入れることは可能でしょうか。

【回答】

オフィシャルシャツに県名をいれるのは業者都合により対応できません。

４．プール再公認のプレート、公認証は県事務局に送付され、事務局から施設に 再送付しています。配送料の負担軽減のため、貴連盟から直接、申請施設へ 送付していただき、県事務局へは確認書類をメール送信などの対応をお願い したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

【回答】

事務フローを改めて見直しました。「10 月分」より、下記のとおり手順を変更いたします。

・プレートについては、業者より 施設へ直送

・賞状については、事務局より 施設へ直送

・作業工程の簡素化と所要時間の短縮を図るため、事務フローを再構築いたします。

５． 水球の U16 桃太郎カップ、U17 かしわざき潮風カップのブロック予選会に補助金を出していただきたい。

【回答】

誠に遺憾ながら、現時点では本連盟の予算及び支援枠の都合により、対応が難しい状況です。

6．都道県水泳連盟の事務局担当者会議を年間に１度、ＺＯＯＭでも良いので開催していただきたい。

【回答】

日本水泳連盟の他の会議体も含め、検討させていただきます。

7． 12 月に鈴鹿スポーツガーデンで行われますナショナル合宿に県内指導者の見学についてコロナ以前は見学可能でしたが、現在は関係者のみとなっています。地方の指導者育成のためにも合宿見学の再開検討をお願いします。

【回答】

見学可能の方向性で競泳委員会と調整いたします。詳細は担当者とのやり取りで詰めていきたいと思います。

8．ＡＳの大会運営について、新ルールを適用して地区大会を開催することが困難な状況が続いています。今後、ＴＣ育成は進めていきますが、数年は時間を要する見通しのため、地区大会においてローカルルール適用など、緩和措置をご検討いただけないでしょうか。

【回答】

新ルール適用に関してのご理解、ご協力頂き、本当にありがとうございます。ご要望の「地区大会におけるローカル適用、緩和措置の検討」につきまして、現在のところ、ＴＣ・ジャッジの人数不足等による措置は考えておりません。地区大会の運営が厳しいことは重々承知しておりますが、標準得点のある予選会につきましては、本大会に準じた開催をお願いします。また、加盟団体単独開催が厳しい場合には、ブロックもしくは他都道府県との合同開催や派遣協力依頼をご検討いただけますと幸いです。2023 年ルール改正当初は本大会からの適用など緩和措置をとったこともあり、今後、何らかの措置をとることがあれば、国内にて同条件で開催できるように早めの通達を心がけてまいります。ローカル大会であれば要項での通知により、旧ルール適用または適用ルールの変更など、独自で工夫しての開催が可能です。実際に新旧ルールを混在させて大会を開催している加盟団体もありますので、工夫して開催いただければと思います。

9．【ＡＳ】各競技会や２０２５年度選考会の要項が出るのが遅く、要項が出ない事には エントリー作業に取り掛かれません。 特に 2025 年度選考会の要項は９月４日に発表され締め切りが９月１６日でした。 国スポもありエントリー作業ができなく、県水連との確認等考えると期日が少なく困った。要項は早く出して頂きたく提案させて頂きます。

【回答】

皆様へのお知らせが遅くなりご苦労をお掛けしております。　競技会、選考会、その他の事業につきまして、要項作成時に概ねの計画により「予定」早めに公表させていただくように善処いたします。

10. 【ＡＳ】大会日程について 変更などある場合は、決定されていなくても仮の予定でもいいので出来る限り早く、 共有して頂きたい。予選会の日程、プールの利用状況に支障がでる、またアスリート ファーストの日程で予選会がおこなえるように準備ができない。

【回答】

ＡＳ事業につきまして、皆様へのお知らせが遅くなりご苦労をお掛けしております。　競技会、選考会、その他の事業につきまして、要項作成時に概ねの計画により「予定」早めに公表させていただくように善処いたします。

11. コーチカード締切日について 現在、国内の試合は全て締切が大会開始 1 週間以上前。全ての大会とは言わないが、 日本選手権等の主要大会は国際大会と同じように前日までに書き直し、訂正ができる等の国際基準に合わせた大会は日本ではおこなわないのか？

【回答】

現在、コーチカードの締切日は外注（大会経費）と対応人員の都合により公式練習日の 1 週間前に設定しています。今後については大会規模に応じて検討を進めてまいります。

12. 本年度、チャレンジカップから JOC ジュニアオリンピックまでの期間が短い中、チャレンジ終了からＪＯコーチ締切日が短すぎる。チャレンジに出場した中学生以上の選手はチーム編成や出場種目も変更ある中、アブニア制限がある等大きなルーティン変更を要するにあたり難しい上、選手強化につながらない。大会ごとの日程を考慮しコーチカード締切日を考慮して頂きたい。

【回答】

現在、コーチカードの締切日は外注（大会経費）と対応人員の都合により公式練習日の 1 週間前に設定しています。今後については大会規模に応じて検討を進めてまいります。

13. ＪＯアブニア制限について 中高生において日本選手権、チャレンジカップにほとんどの選手が出場している中、 またＪＯ後の国スポはアブニア制限なく、ＪＯのみのアブニア制限は意味があるのか。　ＪＯのみアブニア制限をかけるというのは、ルーティン作成においても大きな比重を しめるので、中高生とくに高校生はなしにしていただきたい。

【回答】

若年層の低酸素状態が脳や身体に与える影響など世界的に答えが見つかっていない中で、国内では予選会を含めて初心者～上級者まで幅広い選手が出場している 2025 年度のＪＯにアプニア制限を設けました。2026 年度の対応は今年度の状況を踏まえ、要項案でお知らせできるように善処いたします。

14. バッジテストについて バッジテスト、検定員についても年齢基準などは付けないのか？ 内容もルール改正に伴い、見直しがいるのでは？ 大会参加基準についても 15 まであるのに選考会などはステージが現行でよいのか？

【回答】

基本的に検定員委嘱は、開催地もしくはブロック内検定員の方を主に、ＡＳ委員会内バッジテスト部が推薦・委嘱を行っており、検定員の年齢基準については、現時点では設定しておりません。検定内容は、現行のルール内での基礎技術として設定し、検定内容の変更による混乱が起こらないような改定のタイミングと内容になっております。選考会参加基準については、再考いたします。いただいたご意見を元に、検定員年齢基準、検定内容、選考会基準について、要不要を含め検討いたします。

15. 審判、ＴＣの資格、更新、昇格について TC に審判同様、級などあるようだが詳細を県水連ＡＳ委員会に教えてほしい。 審判、TC の更新と昇格についても現在どのようになってるか詳細を知りたい。

【回答】

審判員およびＴＣ資格について、皆様へのお知らせが滞っておりご不便をおかけしております。現在、競技役員登録との統合に向けての作業中ですが、大きく遅延しております。早急に対応をしてまいりますが、まだ時間をいただきたく、ご理解をお願いいたします。

ご不明点がございましたら審判部、もしくはＴＣ部の担当者にお問い合わせください。公式練習日の１週間前に設定しています。今後については大会規模に応じて検討を進めてまいります。

16. コーチ１養成講習会では、日本スポーツ協会の補助で講習会が開催されます。しかし、現在の規定では県のスポーツ協会が指定管理する施設では、その施設を借用しても補助対象になりません。以前お伺いした時は「利益の循環を防ぐため」と聞きました。岐阜県の室内の公認プールは、岐阜県スポーツ協会が指定管理する長良川スイミングプラザしかありません。その他のプールでは水深が浅く、講習や検定で必要なスタート技術を行わせることができません。よりよい指導者養成講習会のためにスポーツ協会が管理する施設でも補助対象とするよう日本水泳連盟から日本スポーツ協会へもう一度お願いをしてもらえると幸いです。

【回答】

「県スポーツ協会が指定管理する施設を使用した場合、コーチ１養成のＪＳＰＯ助成が受けられないという点につきまして、下記のとおり現行制度に基づいて整理し、ご説明申し上げます。

■説明（背景）

１．今回のご質問に関わる制度について

今回のご指摘は、ＪＳＰＯ委託講習会に限定して適用される制度“委託講習会に適用される経理処理基準”に基づく考え方の中で用いられる規定です。このため、事業の主体は「県スポーツ協会（＝委託団体）」となり、費用処理および助成の可否は県スポーツ協会の経理処理として扱われることから、指定管理施設に関する規定の適用は制度上やむを得ない という整理になります。（ここでは、県水連が費用負担の主体となる建付けにはなっていない認識です。）

２．岐阜県水泳連盟様の講習会が「独自主催」の場合一方で、岐阜県水連様が独自主催で講習会を実施されている場合には、ＪＳＰＯとの委託契約はないため、「委託経理処理基準」は適用外となるという整理になります。

■今後について

３．上記整理を踏まえて

上記を前提としつつも、実際に講習会開催についてお困りごとがございます際は、日本水泳連盟（地域指導者委員会および事務局）にても状況を確認整理し、必要に応じて関係団体との調整を試みることも可能かと考えます。つきましては、可能な範囲で以下のような情報をご提供いただけますと幸いです。

４．ご提供いただきたい内容（例）

・講習会の実施が困難となっている状況や具体的な理由

・経緯が分かるメール等の資料等

日本水泳連盟としても普及事業内の重要な指導者養成事業として、また今後の水泳を取り巻く環境の変化も念頭に、必要に応じ可能な限りバックアップさせていただきたいと考えております。

17．優秀登録団体の推薦についての案内がまだ届いていないがどうなっているか？

【回答】

ご案内は作成できているので早急にご連絡させていただきます。大変申し訳ございません。

18．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催についての意見

【東海ブロックからの意見】

・中体連から日水連主催となった場合の予算面が心配である。

・ＪＯ同様に都道府県内大会での標準記録突破を条件とするのも検討できる。

・既存大会は参加費を徴収していないが、今後は難しい。

・現状の都道府県予選大会を実施したい。

・ＪＯとの差別化が必要。

・予選会が都道府県水泳連盟の主催となっても県中体連の協力は取り付ける。

近畿ブロック会議(2025 年 11 月 23 日）兵庫

１．競技役員の新しいユニフォームについて、胸ポケット付きを希望します。またポロシャツのＯＵＴ用は見苦しく、またインカム配線等が邪魔になるので仕様変更が出来ないのか（ＯＵＴ着用は放熱の意味合いもあり、とは伝えてます）。

【回答】

日本水泳連盟が 100 周年を迎え今後の水泳連盟の在り方を考えて行く中で新しいユニフォーム作成が提案されました。

1.これまでのユニフォームには胸にポケットがありました、その最大　の理由は使用しない際のストップウォッチ入れるための物でした。しかし、現在多くの競技会でストップウォッチは使用されなくなり、多くは半自動グリップを採用しております。また、ポケットにネームプレートをはさみ止めてまいりましたが、個人情報の観点から 2026 年度より制作を行わない事にしました。

2.胸のポケットをなくすことで、ユニフォーム代金を安くすることが　できました。

3.今までは、ユニフォームの裾をスラックスの中に収めていましたが、日本水泳連盟競技会の国際水準化を目指し、多くの競技役員を海外競技会へ派遣してきましたが、どの競技会もポロシャツ裾は外に出す姿で行っておりました。

4.国内の競技会におきましても、若い競技役員の多くがデッキ執務を　終了すると、裾を外に出しカジュアルな姿になっていることが多く見受けられるようになりました。

以上が、胸のポケットとポロシャツの裾の外だしの経緯となります。

今後の課題としてインカムを持った際の見た目の問題は残りますが、新ユニフォーム完全移行が2028 年度としております。まずは、新ユニフォームへの移行を完成させることを目途としております。今回頂きました提案等につきましては、今後の課題として受け止めさせて　いただきたいと考えます。

２．日本版ＤＢＳ（子どもを性被害から守るための新しい制度）について、対応が必要と考えるが、日本水泳連盟としての見解、準備中であれば進捗をお聞かせください。

【回答】

2026 年 12 月に「日本版ＤＢＳ（こども性暴力防止法）」が施行されます。

犯罪事実確認の義務（法第４条）によると水泳指導者やスタッフが「教員等」に該当する場合、以下のタイミングで性犯罪歴の確認が必要となる可能性があります。

・新規採用時：業務開始前に「犯罪事実確認書」により性犯罪歴の有無を確認。

・施行時現職者：法施行日から３年以内に確認を完了。

・継続勤務者：前回の確認から５年を経過する年度内に再確認。

急な欠員等で即時確認が困難な場合は、６か月以内に確認を行い、それまでの間は該当者を「特定性犯罪事実該当者」とみなして必要な措置を講じる必要があります。また、相談体制や情報管理体制、就業規則等の改定も必要になりますので本連盟としても関係者に向けて周知していきたいと思います。あわせて新たな取り組みや暴力相談窓口での運用等についても顧問弁護士との定例会にて対応についての詳細を継続して相談していきたいと思います。

補足ですが、日本版ＤＢＳは、学校・認定こども園・保育所などの、学校教育法や児童福祉法などに基いて認可を受けている事業者については、こども性暴力防止法にもとづき日本版ＤＢＳの対象となります。一方、認可外保育施設や学習塾などについては、認定制とし、認定を受けた事業者についてのみ、日本版ＤＢＳの対象となります。

水泳の指導者の中で子どもたちに関わる人が、性犯罪に関与したかどうかを日本版 DBS で確認するのは任命権者や雇用主になります。学校の教員や外部指導者であれば教育委員会や学校法人になり義務化されています。一方でスイミングスクールやスポーツクラブであれば確認するのは雇用主になりますが、上記のように認定制であり、事業主がこども家庭庁に申請して法務省の認可が必要になります。いずれにしても本連盟が子どもに関わる個々の指導者の犯罪歴を確認することはできません。また犯罪歴は性被害を未然に防ぐ情報ですが、同時に高度な個人情報になります。指導者を任用または雇用する立場にない本連盟が日本版ＤＢＳを活用して関与することにおいては、法的な観点や個人情報の取り扱いから難しいものと考えます。

【再追加・質問】

各学校、スイミングスクール、スポーツ団体にて認定を受け対応していくことはわかるが、競技会で主催者が把握できない中で役員として対象者が携わる可能性も否めない。競技役員に関する規程や手帳等に抑止・注意喚起として記載しておく必要も検討する必要があると考える。

【再追加・回答】

頂いたご意見も含め、来年度の 12 月制度施行に向けて引き続き、検討してまいります。

３．Ｂ級審判がＡ級に上がるとき、例えばＢ級３年目に昇級した場合、現状では１年後に再テストが必要。現在の任期に関係なく、取得から４年とすべきではないか。

【回答】

１．公認競技審判員の基礎は、公認競技役員資格保有者であること。

２．公認競技役員更新前に公認審判員資格をＣ級からＢ級へ更新すると公認競技役員更新を失念し、公認審判員の更新だけ行う事態が生じた。

例）鹿児島特別国体の際、公認審判員資格は保有していたが、公認競技役員資格が失効していた方を審判員として推薦された。

３．競泳競技審判員の資格票は、既に表裏一体のプラスチックカード形式で、公認競技役員資格と公認審判員資格が示されている。しかし、多種目では公認競技役員資格と公認審判員資格が別々であったり、紙の資格票であったりとまばらであった。そこで、日本水泳連盟の公認競技役員資格票と公認審判員資格票を、2028 年度より競泳の資格票同様にする方向で競技委員会で周知している。完成形としては、１枚の表を公認競技役員資格、裏面を公認審判員資格と考える。

４.公認審判員資格面に競泳・飛込・水球。ＡＳ・ＯＷＳ各競技資格の保有状況を示せるよう（自動車免許証に類似）現在検討中である。以上の経緯をご理解いただきたい。

４．2027 年度以降の全国中学校体育大会（全中大会）の実施競技から水泳が外れることを受け、中学生が対象の代替大会を開催する方針とのことであるが、進捗をお聞かせください。

【回答】

本日の議題「令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催方針」にて回答とさせていただきます。

【近畿ブロックからの意見】

・中体連から日水連主催となった場合の予算面が心配である。
・ＪＯ同様に都道府県内大会での標準記録突破を条件とするのも検討できる。
・既存大会は参加費を徴収していないが、今後は難しい。施設使用料として徴収しているケースもある。
・現状の都道府県予選大会を実施したい。
・ＪＯとの差別化が必要。
・予選会が都道府県水泳連盟の主催となっても県中体連の協力は取り付ける。
・全国に進める選手は一部であり、部活動に参加している大半の生徒が各都道府県の予選大会を目標にしている選手も多いことを留意する必要がある。

５．基礎水泳指導員取得時、講義時間の短縮により、心肺蘇生法（CPR）が必要でなくなっているが、どの課目よりも優先すべきではないか。見解をお聞かください。

【回答】

ご指摘の通り、心肺蘇生法（ＣＰＲ）は水泳指導現場において極めて重要な技能であり、全ての指導者が習得すべき内容であると認識しております。

しかしながら、資格取得課程の見直しにおいては、限られた講義時間の中で水泳指導に必要な技術・理論・安全管理等を網羅する必要があり、やむを得ず一部の内容を外部研修や継続教育に委ねる方針を採ることとなりました。

ＣＰＲについては、以下の理由により資格取得時の必須項目から外す判断をいたしました。

・既存の救命講習制度との重複
　消防署や赤十字等が提供する救命講習が広く普及しており、そちらでの履修を推奨することで、より専門的かつ実践的な学習が可能と判断しました。
・資格取得後の実務現場での研修で履修を想定
　資格取得後も指導者として活動された場合、定期的な研修受講は必須です。
　ＣＰＲを含む最新の安全管理技能の習得機会は確保できるものと考えます。
・講義時間の制約と指導技術の優先資格取得希望者に対しては、まず水泳指導の基本技術と安全配慮の意識を定着させることを優先し、ＣＰＲは別途履修を促す形としました。もちろん、CPRの重要性は変わるものではなく、指導現場においては必須の知識・技能であることに変わりありません。一度限りの実技講習ではなく、今後は、資格取得者に対してCPR講習の斡旋等による実効性のある仕組みの導入を検討してまいります。

６．インターナショナル・ナショナル選手標準記録の突破対象大会について対象大会を追加することはできないのか。

【回答】

頂いたご意見を競泳委員会に確認・相談させていただきます。

7．全国 11 ブロック代表海外遠征の派遣対象を以前のように高校生も対象にできないか。参加する高校生のモチベーションが非常に下がっていて今後の参加について懸念がある。対象を中学生のみにした理由もしっかりと説明会でお話しいただきたい。

【回答】

予算との兼ね合いもありますが、より良い合宿および遠征となるように競泳委員会と今後の実施形態も含め相談させていただきます。

中国ブロック会議(2025 年 11 月 24 日）岡山

1．（公財）日本水泳連盟各委員会から連絡、伝達方法の確認です。

現状、直接委員会より各委員長へメール連絡が届くこと多く、各県水泳連盟事務局経由での連絡、伝達方法に統一していただけるよう要望いたします。

【回答】

関係各所へのタイムリーなご案内の周知のため、加盟団体各委員会の委員長および加盟団体事務局の２ヶ所にメールを送付させていただく方法で対応を検討させていただければと思います。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

2．日本選手権や全国ＪＯ大会の申込書類の提出方法の追加について現在の申込方法は郵送である。メールもしくはＦＡＸによる提出も可能にしていただきたい。郵送では到着に時間がかかるし、送料も発生する。山口県ではＪＯ予選の申込は日本水泳連盟の締め 切りにぎりぎり間に合う日程で組んでおり、とりまとめや提出時に錯綜する。提出方法を追加していただけると助かる。ちなみに、山口県では今現在競泳の全ての大会の提出帳票をメールによるＰＤＦファイルの提出にしており、特に支障なく進めている。

【回答】

本件につきましては、競技委員会にて確認を行いました。

「 競泳」をベースとした確認になりますが、現在、日本選手権・日本選手権（25m）・Ｊａｐａｎ Ｏｐｅｎ の各大会については、すべて ウェブスミスによる申込手続きとなっており、紙ベースでの申込は不要となっております。なお、金銭授受に関する「確認書」につきましては、加盟団体と本連盟事務局との間でのみ紙ベースでのやり取りを行っており、現状ではＦＡＸでの提出となっております。今後は、メールアドレスを明記のうえ、事務局および実行委員会宛にＰＤＦで受領できるよう整備を進めてまいります。また、飛込・アーティスティックスイミング（ＡＳ）・水球・オープンウォータースイミング（ＯＷＳ） についても、書面および郵送でのやり取りを削減し、メールによる PDF 添付提出を原則とする方向で、エラー防止およびセキュリティ対策を兼ねた運用改善を検討してまいります。

３．アーティスティックスイミング（ＡＳ）より

日程、集合時間、解散時間の要項への記載について全国大会の会議日程等については、要項に記載いただきご配慮いただいていることに大変感謝しております。その他の選考会やコーチキャンプ、ユース合宿についても集合時間、解散時間を要項に記載いただけると、交通機関や宿泊所の手配に大変助かりますので、ご検討いただきたいです（競技部以外である審判部等も）

【回答】

ＡＳ事業につきまして、開催地より遠方からお越しいただく方々には交通機関や宿泊所の手配にご苦労をお掛けしております。

競技会、選考会、その他の事業につきまして、要項作成時に概ねの計画により「予定」として時間を記載するように善処いたします。参加人数が確定してからスケジュール・会場・人員手配等を確認し、最終的に決定した時間をスケジュール表や二次要項等で通知させていただくため、予定時間が変更となる場合もありますことをご理解いただきたくお願いいたします。

４．温暖化による地方予選会への対応について

年々、猛暑が厳しくなり、地方の屋外プールでの予選会の開催は選手や競技役員への負担が大きく、天候への対応など厳しさを増しています。時期をずらしたり、夜間開催など、今後の方針について日本水泳連盟のお考えを伺いたいです。

【回答】

温暖化による競技会の開催時期変更については、単なるスケジュール調整ではなく、スポーツの持続可能性と安全性を守るための構造的な対応が求められています。開催時期の再設計、屋内施設の整備と活用、競技時間の柔軟化等を念頭におき、競技委員会と相談、議論して参ります。

５．指導者資格義務化について今後の方針等具体的なお話を伺いたい。

【回答】

指導者資格取得までのカリキュラムやコーチ１～４のそれぞれの資格の立て付け等検討すべき課題がございます。地域指導者委員会、競技力向上コーチ委員会、教師委員会の３委員会にて継続して打ち合わせを実施いたします。

６．スポーツ団体ガバナンスコードについて地方競技団体、加盟団体も義務化とする方針はあるのか

【回答】

各加盟団体の組織の状況も踏まえ、義務化を推進する予定はございません。

７．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催についての意見

【中国ブロックからの意見】

・ＪＯ同様に既存の都道府県内大会での標準記録突破を条件としたい。

・予選会をＪＯ方式とする場合、大会数を指定して公平性を保つ必要がある。

・現状の都道府県予選大会を実施したい。

・ＪＯとの差別化が必要。
・予選会が都道府県水泳連盟の主催となっても県中体連の助成や協力は取り付ける。
・全国に進める選手は一部であり、部活動に参加している大半の生徒が各都道府県の予選大会を目標にしている選手も多い。
・水球競技の開催の検討を希望する

東北ブロック会議(2025 年 11 月 29 日）岩手

１．全国中学水泳大会廃止後の代替大会等の早期設定について

標記については、以前より課題となっておりますが、東北中体連からも全国中学廃止に併せて東北中学水泳大会を廃止と東北中体連自体の解散などの連絡が来ております。東北水泳連合でも今後、連盟主体の東北規模の中学生大会の設定が出来るのかなど各種協議を進めていくにあたり、標記大会の開催動向も重要な案件となります。ついては、今後の大会設定等（時期、規模、開催地）について出来る限り早期に情報を頂きたく要望いたします。

２．全国中学校水泳競技大会の件ですが、2029 年以降の大会の具体的な実施計画の進展を教えてください。また、従来の予選会にあたる県大会の実施の方向性がどのように進展しているのか。また実施に当たり県水泳連盟が行うのか、中体連が行うのか等、また全国統一感はあるのでしょうか？さまざまな憶測や各県により、もう県中学校大会の実施をしないなどの案があるなどその辺の情報もお知らせください。

３．全国中学の代替大会の見通しについて教えていただきたいです。

【回答】

令和９年度以降も、日本水泳連盟主催にて全中大会を継続する。開催継続にあたっては「学校教育活動の一環としての大会」という位置づけ維持することを前提としており、日本中体連と協議を進めながら要項案策定中。

開催時期については現行とおり８月中旬、規模は現行参加者数約 900 名規模、または上限 1,200 名の範囲で検討、開催地は全国中学校体育大会開催地域（ブロック）にとらわれず、開催２年前を目途に候補地を選定・調整予定。

本年地域会議において、令和９年度大会以降の参加資格の設定、各都道府県予選大会、ブロック大会の在り方について意見聴取し要項案に反映する。各都道府県の予選大会については、各地の中体連の存続含めて状況は様々である。県中体連が予選大会を主催しない地域においては、県水泳連盟での予選大会運営は経済面・マンパワー確保面で難しい地域もある。その場合の予選大会は、既存の県水連主催大会を予選大会や県中学選手権大会に指定する、または複数県で合同予選大会・地区中学校大会を開催するなど、それぞれの事情に合わせて多様な形態を容認する。

大切にしたいのは、県中学校大会、全国中学校大会を継続することにより、選手の成長著しい中学生期の参加意欲、継続意欲を低下させず、中学選手層の減少をもたらす　ことなく高校選手～大学選手～社会人選手へとつなぎ、水泳界の発展に寄与することであると考える。

４．水泳授業の廃止方向についての課題対応ついて

教員負担の軽減や指導スキルへの不安、老朽化施設の課題や維持管理などから水泳授業廃止等の方向性が話題になる場面が多いが、地方においてはその課題への対応が待ったなしである。日本水連ではこれまでも国への働きかけなどを進めてもらっているが、各自治体で間違った方向での判断がされる懸念も大きい。課題解決へ向けては、学習指導要領への明記は勿論、委託化・集約化の際などにも国での施設改修等の助成制度構築や指導者確保への伴奏支援、民間団体への補助制度など国・自治体を挙げた後押しが必要不可欠である。これらの課題対応について連盟として一層力点をおいて対応頂きたい。

【回答】

陸上運動とは異なり水の特性を体感することから始まる水泳は、体験無くして習得することは不可能である。すべての児童が等しく水泳体験ができる学校水泳授業は、家庭の経済面による体験格差を生まないことからも大切な機会である。

従来の水泳学習目的である身体的成長面、水辺の安全教育面での必要性を説くとともに、施設経費や教員の労務負担増などの諸課題もあり、その解決策も含め今後も提言をしてく所存である。

【水泳実技授業継続に向けて】

１．拠点校のプール整備（屋内温水化）と複数校での年間共同利用

２．公営プールの活用（教員の施設管理負担減、管理コスト減）

３．民間プールの活用（教員の施設管理負担減、管理コスト減）

４．授業拠点となる公共室内プール新設（各校の改修・管理コスト減）

５．民間水泳指導員の派遣活用（教員の指導経験不足の補助）

６．民間水泳教室への指導補助委託（教員の指導経験不足の補助）

水泳授業継続にあたっては、地域や民間との連携が進み、適切な補助指導員の育成・確保（公的水泳指導者資格の義務化）や、適正な委託費の保証についても必要な対策となる。各地域の現況も共有いただき、それを反映できるよう必要な機関への働きかけを続けて参ります。

５．国民スポーツ大会において参加人数の少ない都道府県ではＡＤカードの発行いただく枚数が足りなくなってしまう。コーチとトレーナーのＡＤカードの発行を別にして欲しい。

【回答】

ご意見として伺い、競技委員会に共有させていただきます。

６．老朽化しているプール設備の改修がままならない状況が続いている。プール公認のランクを定めて必要備品を商品名や品番まで明確化していただけると行政に交渉しやすいので対応をお願いしたい。

【回答】

ご意見として伺い、競技委員会、施設用具委員会に共有させていただき、対応を検討いたします。

７．行政とのスポーツに関する予算の折衝は厳しい状況である。今後、ルール変更等により大掛かりな設備更新はないと考えて良いか。

【回答】

計時システムの更新等以外は現状予定しておりません。

８．日本水泳連盟の周年誌の発刊はどうなっているか。

【回答】

校正中であり、年度内に発刊し、送付させていただきます。

お待たせいたしまして申し訳ございません。

９．大会会場での熱中症対応に大変苦慮した。高体連のガイドラインもあるが日水連としても現状に合わせて再度整備して欲しい。

【回答】

競技委員会、医事委員会にご意見共有させていただきます。

10．悪質なＳＮＳ投稿によるトラブルやパワハラ事案の対応に苦慮した。事例に応じた対処方法等について日本水泳連盟に具体的なアドバイスをお願いしたい。

【回答】

トラブルに応じた助言ができるように顧問弁護士等とも対応方法を検討いたします。

11．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催についての意見

【東北ブロックからの意見】

・アウトプールの為、予決の実施が厳しい

・ＪＯ同様に県内大会での標準記録突破を条件とするのは賛成である。

・県内予選会は継続していきたい。

・東北ブロック大会は開催しない方針で中体連より報告があった。

・日本水泳連盟の方針が確定後、予選会等も含め方針を検討していきたい。

・全中に関する情報をもっと共有していただきたいご意見として伺い、競技委員会に共有させていただきます。

四国ブロック会議(2025 年 12 月 13 日) 徳島

１．各委員会宛のメールアドレスが整備されておりましたら、開示いただけると大変助かります。

【回答】

今のところ各委員会宛のメールアドレスはございません。ご質問等ございましたら、HP 連盟情報に記載されております日本水泳連盟代表メールアドレスの方に、〇〇委員会宛と明記の上お問い合わせください。

２．令和９年度以降の全国中学校水泳競技大会開催についての意見

【四国ブロックからの意見】

・無償登録となる中学生も他の大会に出場できるように調整が必要である。
・固定開催となるのか、持ち回りになるのかの方針をお聞きしたい。
・県予選は収支が常に赤字であり、県水連にて補填している。今後、参加費の徴収や有償登録も検討している。
・中学生の有償登録化を日本水泳連盟として後押ししてもらいたい。
・部活動の地域移行の県内ルールが厳しく、現状学校以外は２チーム程度しか参加していない。
・同じ中学校で全国大会で入賞した際に学校で出場した子は校内で表彰され、スイミングで出場した子は表彰対象外となった。
・アウトプールの為、予決の実施が厳しい
・ＪＯ同様に県内大会での標準記録突破を条件とするのは賛成である。
・ＪＯ同様の予選会方式だと差別化が無くなる、一発勝負の経験を中学でさせるのは貴重だ。
・県内予選会は継続していきたい。

5．表彰関係

（1）2025年度有功章

NO	推薦団体	氏名	ふりがな
1	(一財)北海道水泳連盟	木谷　琢睦	きたに　たくちか
2	(一社)青森県水泳連盟	山形　宏	やまがた　ひろし
3	(一社)岩手県水泳連盟	大上　利博	おおかみ　としひろ
4	(一財)宮城県水泳連盟	笠井　学	かさい　まなぶ
5	(一社)秋田県水泳連盟	黒澤　貢	くろさわ　こう
6	(一社)山形県水泳連盟	田中　愛久	たなか　あいひさ
7	(一社)福島県水泳連盟	渡部　洋一	わたなべ　よういち
8	(一社)茨城県水泳連盟	今井　学	いまい　まなぶ
9	(一社)栃木県水泳連盟	鹿野　文久	かの　ふみひさ
10	(一社)群馬県水泳連盟	古瀬　衛	ふるせ　まもる
11	(一社)埼玉県水泳連盟	山岸　勲	やまぎし　いさお
12	(一社)千葉県水泳連盟	照内　則雄	てるうち　のりお
13	(公財)東京都水泳協会	浦中　和義	うらなか　かずよし
14	(公財)東京都水泳協会	竹村　知洋	たけむら　ともひろ
15	(一社)神奈川県水泳連盟	細田　秀明	ほそだ　ひであき
16	(一社)神奈川県水泳連盟	山村　良一	やまむら　りょういち
17	(一社)山梨県水泳連盟	中山　文仁	なかやま　ふみひと
18	(一社)長野県水泳連盟	伊藤　秀幸	いとう　ひでゆき
19	(一財)新潟県水泳連盟	松木　保	まつき　たもつ
20	(一社)富山県水泳連盟	田邊　茂	たなべ　しげる
21	(一社)石川県水泳協会	瀧上　彰	たきがみ　あきら
22	(一財)福井県水泳連盟	上野　彰久	うえの　あきひさ
23	(一社)静岡県水泳連盟	高井　俊祐	たかい　としすけ
24	(一社)愛知水泳連盟	佐藤　郁男	さとう　いくお
25	(一社)愛知水泳連盟	神林　俊江	かんばやし　としえ
26	(一社)三重県水泳連盟	山下　絹子	やました　きぬこ
27	(一社)岐阜県水泳連盟	興梠　信彦	こうろぎ　のぶひこ
28	(一社)滋賀県水泳連盟	武田　智雄	たけだ　ともお
29	(一社)京都水泳協会	西村　良子	にしむら　りょうこ
30	(一財)大阪水泳協会	大平　英一	おおひら　えいいち
31	(一財)大阪水泳協会	吉村　道和	よしむら　みちかず
32	(一社)兵庫県水泳連盟	西川　昌宏	にしかわ　まさひろ
33	(一社)和歌山県水泳連盟	森本　浩文	もりもと　ひろふみ
34	(一財)鳥取県水泳連盟	別府　淳	べっぷ　あつし
35	(一財)島根県水泳連盟	本田　一勇	ほんだ　かずお
36	NPO法人 岡山県水泳連盟	田口　直樹	たぐち　なおき
37	(一財)広島県水泳連盟	胡　泰志	えびす　やすし
38	(一財)山口県水泳連盟	御手洗　泉	みたらい　いずみ
39	(一社)香川県水泳協会	齊藤　功	さいとう　いさお
40	(一社)徳島県水泳連盟	南　隆尚	みなみ　たかひさ
41	(一社)愛媛県水泳連盟	藤野　貴央	ふじの　たかお
42	(一社)高知県水泳連盟	瓶子　笑里佳	へいし　えりか
43	(一社)福岡県水泳連盟	寺松　恭雄	てらまつ　やすお
44	(一社)佐賀県水泳連盟	森　ルミ子	もり　るみこ
45	(一社)長崎県水泳連盟	湯川　幸太郎	ゆがわ　こうたろう
46	(一社)熊本県水泳協会	赤崎　慎哉	あかさき　しんや
47	(一社)大分県水泳連盟	洲　雅明	すが　まさあき
48	(一財)宮崎県水泳連盟	松田　正之	まつだ　まさゆき
49	(一社)鹿児島県水泳連盟	前田　環	まえだ　たまき
50	(一社)沖縄県水泳連盟	稲福　喜一郎	いなふく　きいちろう
51	(一社)日本スイミングクラブ協会	戸田　誠治	とだ　せいじ
52	(一社)日本マスターズ水泳協会	吉田　英雄	よしだ　ひでお
53	(公財)日本水泳連盟 飛込委員会	坂田　和也	さかた　かずや
54	(公財)日本水泳連盟 水球委員会	潮崎　正一	しおさき　しょういち
55	(公財)日本水泳連盟 アーティスティックスイミング委員会	松本　日女子	まつもと　ひめこ
56	(公財)日本水泳連盟 医事委員会	半谷　美夏	はんがい　みか
57	(公財)日本水泳連盟 アンチ・ドーピング委員会	清水　顕	しみず　けん
58	(公財)日本水泳連盟 競技委員会	菅谷　和孝	すがたに　かずたか
59	(公財)日本水泳連盟 学生委員会	田嶋　恭江	たじま　やすえ
60	(公財)日本水泳連盟 総務委員会	荻野　浩明	おぎの　ひろあき
61	(公財)日本水泳連盟 情報システム委員会	鬼頭　宏和	きとう　ひろかず
			以上　61名

（２）選手およびコーチの表彰

①最優秀・優秀選手賞

（最優秀選手）

・オープンウォータースイミング

梶本　一花	（かじもと　いちか）	22	同志社大学（４年）・枚方スイミングスクール

（優秀選手）

・競泳

松本　周也	（まつもと　しゅうや）	25	ひまわりネットワーク株式会社
村佐　達也	（むらさ　たつや）	19	中央大学（１年）・イトマン東京
今福　和志	（いまふく　かずし）	18	四條畷学園高等学校（３年）・ 枚方スイミングスクール
深沢　大和	（ふかさわ　やまと）	25	東急株式会社・ 東急スイミングスクールあざみ野
渡辺　一平	（わたなべ　いっぺい）	29	トヨタ自動車株式会社
松下　知之	（まつした　ともゆき）	20	東洋大学（２年）・スウィン宇都宮スイミングスクール
牧野　航介	（まきの　こうすけ）	21	東洋大学（３年）
西川　我咲	（にしかわ　あさき）	19	東洋大学（１年）・ ＫＬスポーツ春日井スイミングスクール
成田　実生	（なりた　みお）	19	明治大学（１年）・スポーツクラブ　ルネサンス
鈴木　聡美	（すずき　さとみ）	35	ミキハウス
平井　瑞希	（ひらい　みずき）	19	TOKIO インカラミ・アリーナつきみ野スポーツクラブ
小堀　倭加	（こぼり　わか）	25	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・ 相模原市水泳協会
池本　凪沙	（いけもと　なぎさ）	23	イトマン東京
難波　実夢	（なんば　みゆ）	23	ＪＳＳ東京
高橋　美紀	（たかはし　みき）	30	林テレンプ株式会社・アリーナつきみ野スポーツクラブ
松山　　陸	（まつやま　りく）	24	株式会社サイサン・ガスワン
谷口　　卓	（たにぐち　たく）	24	GSTR GRAND PRIX
森　　拓海	（もり　たくみ）	22	国士舘大学（４年）・コナミスポーツ
楠田　夢乃	（くすだ　ゆめの）	20	中央大学（２年）・藤村スイムスクール

・飛込

玉井　陸斗	（たまい　りくと）	19	立命館大学（１年）・滋賀・立命館ダイビングクラブ
大久保　柊	（おおくぼ　しゅう）	29	昭和化学工業株式会社・東京スイミングセンター
三上紗也可	（みかみ　さやか）	25	日本体育大学大学院・米子ダイビングクラブ

・水球

稲場　晴香	（いなば　はるか）	23	滋賀県スポーツ協会・秀明大学水球クラブ
有馬　優美	（ありま　ゆうみ）	28	宮崎県スポーツ協会・Violet stars
稲場　朱里	（いなば　あかり）	28	株式会社電算システム・秀明大学水球クラブ

浦　　映月	（うら　えるな）	23	宮崎県スポーツ協会・ ブルボンウォーターポロクラブ柏崎
河口　華子	（かわぐち　かこ）	26	公益財団法人　山口県スポーツ協会 NSSU Water Polo Club
設樂ひかる	（したら　ひかる）	26	(株)イカイ・NSSU Water Polo Club
砂邊　亜衣	（すなべ　あい）	23	滋賀県スポーツ協会・秀明大学水球クラブ
関根　桜彩	（せきね　さあや）	23	滋賀県スポーツ協会・秀明大学水球クラブ
大坪　莉子	（おおつぼ　りこ）	21	秀明大学（３年)・秀明大学水球クラブ
西山　風花	（にしやま　ふうか）	25	NSSU Water Polo Club
井上　萌々	（いのうえ　もも）	23	株式会社電算システム・秀明大学水球クラブ
小林　真穂	（こばやし　まほ）	20	秀明大学（２年)・秀明大学水球クラブ
野田　茉波	（のだ　まなみ）	26	宮崎県スポーツ協会・Violet stars
福田　星香	（ふくだ　しょうか）	20	日本体育大学（２年)・NSSU Water Polo Club
蜷川　百音	（にながわ　ももね）	23	NSSU Water Polo Club

・アーティスティックスイミング

比嘉　もえ	（ひが　もえ）	18	四天王寺高等学校（３年)・ 公益社団法人　井村アーティスティックスイミングクラブ
佐藤　友花	（さとう　ともか）	24	ジョイフルアスレティッククラブ
小林　　唄	（こばやし　うた）	23	ホクト株式会社・長野アーティスティックスイミングクラブ
藤井　萌夏	（ふじい　もか）	21	中京大学（３年)・ザ、クラブ　ピア・８８
川瀬　由華	（かわせ　ゆうか）	24	センコーグループホールディングス株式会社 公益社団法人　井村アーティスティックスイミングクラブ
相高　花帆	（あいたか　かほ）	18	淑徳巣鴨高等学校（３年)・ ミキハウス東京アーティスティックスイミングクラブ
白波瀬菜桜	（しらはせ　なお）	18	国士舘高等学校（３年)・国士舘 AS クラブ
内田　桜子	（うちだ　さくらこ）	20	早稲田大学（２年) ミキハウス東京アーティスティックスイミングクラブ
熊谷日奈多	（くまがい　ひなた）	24	公益社団法人　井村アーティスティックスイミングクラブ

（最優秀コーチ）

・オープンウォータースイミング

太田　伸	（おおた　しん）		枚方スイミングスクール

（特別賞）

・飛込

坂井　　丞	（さかい　しょう）	33	ミキハウス
金戸　　凜	（かねと　りん）	22	日本大学（４年)・セントラルスポーツ
西田　玲雄	（にしだ　れお）	25	岡三リビック株式会社・大阪水泳学校

②東京運動記者クラブ水泳分科会新人賞

村佐　達也　　中央大学（１年)・イトマン東京

③アリーナスプリント賞

（男子）	第１位	松本　周也	ひまわりネットワーク株式会社
	第２位	難波　暉	新東工業株式会社豊川製作所 四日市スイミングクラブ
	第３位	中村　克	浜学園 スウィン大宮スイミングスクール
（女子）	第１位	池江　璃花子	横浜ゴム株式会社 スポーツクラブルネサンス
	第２位	平井　瑞希	TOKIO インカラミ アリーナつきみ野スポーツクラブ
	第３位	神野　ゆめ	ミキハウス・中京清泳会

④スポーツ関係団体表彰

（ア）日本スポーツ賞（読売新聞社）

競技団体別最優秀賞	梶本　一花	同志社大学（４年）・ 枚方スイミングスクール

（イ）テレビ朝日ビッグスポーツ賞（テレビ朝日）

ビッグスポーツ賞	梶本　一花	同志社大学（４年）・ 枚方スイミングスクール
ビッグスポーツ新人賞	村佐　達也	中央大学（１年）・ イトマン東京

⑤日本記録賞

長水路日本記録賞

（男子）

松本　周也	村佐　達也	今福　和志	田渕　海斗
谷口　卓	大橋　信	光永　翔音	松山　陸
松元　克央	難波　暉		

（女子）

梶本　一花	高橋　美紀	鈴木　聡美	平井　瑞希
池本　凪沙			

短水路日本記録賞

（男子）

谷口　卓	五味　智信

（女子）

平井　瑞希

（３）優秀団体および個人の表彰

① 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会　優秀クラブ・団体（夏季大会）

（ア）最優秀クラブ（夏季大会）

埼玉：スウィンみよしスイミングスクール　　福岡：大野城ＳＣ

栃木:西那須インターナショナルスイミングクラブ

（イ）優秀クラブ（夏季大会）

茨城:イーグルイトマンスイミングスクール古賀

埼玉：セントラルスポーツ桶川北本　　千葉：ＪＳＳスイミングスクールおゆみ野

長野：大町スイミングスクール　　富山：ナントスイミングクラブ

三重：あすなろスイミングスクール四日市　　滋賀：水口スポーツセンター Well・Be

滋賀：いずみ２１　能登川校　　愛媛：フィッタ松山

② 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会　優秀クラブ・団体（春季大会）

（ア）最優秀クラブ（春季大会）

埼玉：おざわスイミングスクール　　千葉：セントラルフィットネスクラブ 24 館山

神奈川：長津田スイムクラブ　　大阪：枚方スイミングスクール星田

福岡：はるおかスイミングスクール原　　福岡：イトマンスイミングスクール大宰府校

福岡：はるおかスイミングスクール水巻

（イ）優秀クラブ（春季大会）

福島：ジーラックスイミングクラブ　　茨城：リリースポーツクラブ

茨城:イーグルイトマンスイミングスクール古賀　　千葉：ＪＳＳスイミングスクールおゆみ野

神奈川：セントラルスポーツ新川崎　　愛知：サンスポーツクラブ羽根

愛知：パルスイミング西尾　　滋賀：水口スポーツセンター Well・Be

京都：ＨＯＳ　ＯＧＵＲＡ　　福岡：はるおかスイミングスク―ル和白

福岡：はるおかスイミングスクール小倉　　沖縄：沖縄スイミングスクール糸満校

③ 記念事業並びに栄章規程による優秀団体表彰（第 21 条 1 項）

鰺ヶ沢スイミングクラブ　　JSS 秋田スイミングスクール

下妻スポーツクラブ　　トピレックスイムクラブアヤセ

スウィンみよしスイミングスクール　　曽谷セントラルスポーツクラブ

上越水泳協会　　魚津スイミングクラブ

佐久水泳協会　　ｻﾝながらスイミングくらぶ

R スイミングクラブ富士　　いなべ水泳協会

東邦高等学校　　枚方スイミングスクール

西宮水泳協会　　橿原市水泳連盟

山口市小郡水泳連盟　　ファイブテン新居浜

コナミスポーツクラブ高知　　ビートスイミングクラブ

スポーツプラザＡＣＥ　　ピュアスポーツ福島東

スウィン館林スイミングスクール

④ 記念事業並びに栄章規程による優秀団体表彰（第 21 条２項）

イトマンスイミングスクール札幌麻生校	郡山スウィンスイミングスクール
古河あかやまスイミングスクール	ナガイスイミングスクール玉村校
大教スイミングスクール蓮田校	埼玉スウィンスイミングスクール鷲宮
スウィン大宮スイミングスクール西校	東松山スイミングスクール
スウィン大宮スイミングスクール本校	柏洋スイマーズ南増尾スクール
公益財団法人東京都水泳協会	特定非営利活動法人コミュニティネット SSC 大泉
イトマンスイミングスクール横須賀校	一般社団法人　石川県水泳協会
東部スイミングスクール	東川高校
ビートスイミングクラブ名古屋守山プール	イトマンスイミングスクール神戸御影校

≪印刷・出版物≫

月刊水泳 585～596 号	各 7,000 部
競泳競技規則競技役員(競泳)の手引き 2023（増刷）	3,000 冊
公認アーティスティックスイミング TC の手引き 2025(2026.2)	300 冊
プール公認規則 公認プール施設要項 2025(2025.4.1 施行)	200 冊

≪諸会議・行事≫

1.専門委員会・特別委員会

評議員会(定時 1 回、臨時 1 回)	2 回	地域指導者委員会	11 回
理事会	3 回	競技力向上コーチ委員会	11 回
常務理事(定時 11 回、臨時 1 回)	12 回	水泳教師委員会	11 回
委員長会議	11 回	生涯スポーツ委員会	12 回
財務委員会	1 回	日本泳法委員会	13 回
競泳委員会	12 回	アスリート委員会	5 回
飛込委員会	11 回	総務委員会	4 回
水球委員会	12 回	広報委員会	7 回
AS 委員会	12 回	施設用具委員会	11 回
OWS 委員会	12 回	情報システム委員会	11 回
競技委員会	11 回	アンチ・ドーピング委員会	4 回
国際委員会	4 回	資格審査会	2 回
医事委員会	6 回	特別強化委員会	11 回
科学委員会	10 回		

2.その他（会議）

日本選手権競泳実行委員会	2 回	JO 実行委員会	12 回
日本選手権 AS 実行委員会	4 回	予算ヒアリング	24 回

3.コーチ会議

競泳　強化コーチ会議	10/4	JSOS ３階会議室ハイブリッド
飛込　強化コーチ会議	10/11	JSOS 日本水泳連盟事務局分室ハイブリッド

4.学生

全国代表者会議	11 回

5.その他

全国競技委員長会議	4/6	JSOS ３階会議室ハイブリッド
全国加盟団体長会議	9/14	滋賀クサツエストピアホテル
委員総会	12/10	JSOS 会館内 14 階岸清一メモリアルルーム
感謝の夕べ	1/26	品川プリンスホテル
全国情報システム委員長会議	2/21	JSOS 会館内 14 階岸清一メモリアルルーム
公認推薦企業懇親会	3/5	日本青年館

≪慶弔関係≫

（敬称略）

（慶）

なかざわ　ゆきお 中澤　幸男	(一財)宮城県水泳連盟 名誉顧問・元会長	旭日中綬章 （地方自治体推薦）	2025年4月29日
たなか　のぶひろ 田中　信宏	(一社)群馬県水泳連盟・会長	旭日双光章 （業界団体推薦）	2025年4月29日
だんの　せいいち 檀野　晴一	(一社)京都水泳協会・名誉会長	旭日双光章 （業界団体推薦）	2025年4月29日
しみず　まさあき 清水　雅明	(一社)高知県水泳連盟・副会長	瑞宝双光章 （業界団体推薦）	2025年4月29日
ふくだ　ゆたか 福田　豊	(公財)日本水泳連盟・参与 (一社)富山県水泳連盟・名誉顧問	旭日双光章 （地方自治体推薦）	2025年11月3日
たかき　たつみ 高木　辰巳	(一社)佐賀県水泳連盟 元会長	旭日双光章 （業界団体推薦）	2025年11月3日
ば　ば　まさかず 馬場　正和	(一財)新潟県水泳連盟 顧問・元副会長	旭日単光章 （業界団体推薦）	2025年11月3日
こたに　ただし 小谷　正	(公財)日本水泳連盟・参与 (一社)埼玉県水泳連盟・副会長	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 （業界団体推薦）	2025年10月16日
とりい　ひろふみ 鳥居　裕史	(公財)日本水泳連盟・参与 (一社)静岡県水泳連盟・名誉会長	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 （業界団体推薦）	2025年10月16日

（弔）

			逝去月日(享年)	
まえだ おさむ 前田　治	(一社)兵庫県水泳連盟	会友	2024年10月4日	(82)歳
よしむた　はるお 吉無田　春男	(公財)日本水泳連盟	会賓	2025年3月5日	(85)歳
まきの ひろあき 牧野　泰明	(一財)広島県水泳連盟	元常務理事	2025年4月15日	(76)歳
うすい　まさひこ 臼井　雅彦	(一社)三重県水泳連盟	元会長	2025年4月24日	(84)歳
きむら もとい 木村　基	(公財)日本水泳連盟 (一社)高知県水泳連盟	会賓 参与	2025年5月3日	(87)歳
よこやま やすし 横山　泰	(一社)静岡県水泳連盟	顧問	2025年5月26日	(91)歳
てらだ ゆういち 寺田　雄一	(一社)静岡県水泳連盟	参与	2025年5月27日	(88)歳
かわぐち こう 川口　浩	(一社)滋賀県水泳連盟	顧問	2025年6月20日	(90)歳
のぐち つよし 野口　剛	(一財)新潟県水泳連盟	副会長兼専務理事	2025年7月29日	(71)歳
くわばら けいじ 桑原　圭司	(一財)新潟県水泳連盟	元副会長	2025年8月4日	(88)歳
なりた　まゆみ 成田　真由美	(公財)日本水泳連盟	元アスリート委員	2025年9月5日	(55)歳
なかだ としお 中田　敏雄	(一社)神奈川県水泳連盟	参与	2025年9月8日	(70)歳
いずみ かつたか 出水　勝隆	(一社)鹿児島県水泳連盟	名誉顧問	2025年9月15日	(80)歳

みやた　やすひで 宮田　　靖　英	(一社)富山県水泳連盟	顧問	2025 年 9 月 25 日	(67)歳
こでら　まさよし 小寺　正宣	(一社)滋賀県水泳連盟	顧問	2025 年 10 月 13 日	(83)歳
はせがわ　じゅんぞう 長谷川　純 三	(一社)日本スイミングクラブ協会	元副会長	2025 年 11 月 12 日	(101)歳
しろま　けんきち 城間　堅 吉	(一社)沖縄県水泳連盟	顧問・元副会長	2025 年 11 月 15 日	(90)歳
やまが　もとお 山鹿　素雄	(一社)神奈川県水泳連盟	実業団委員会会長	2025 年 12 月 6 日	(92)歳
すぎもと　みやこ 杉本　宮子	(公財)日本水泳連盟	競技力向上コーチ委員	2025 年 12 月 20 日	(71)歳
ふじもと　たかあき 藤本　尚 章	(公財)日本水泳連盟 (一財)山口県水泳連盟	参与 理事長	2026 年 1 月 16 日	(73)歳
あきやま　じゅん 秋山　　惇	(公財)日本水泳連盟	元参与・元財務委員	2026 年 2 月 6 日	(90)歳
すえひろ　あきと 末弘　昭人	(公財)日本水泳連盟	参与・元飛込委員長	2026 年 3 月 4 日	(76)歳